

栗東市就職氷河期世代 実態把握のためのアンケート調査

報告書

令和3（2021）年12月

商工観光労政課

目次

I 調査概要

調査の目的	1
調査の対象	1
調査の実施主体	1
調査の方法	1
調査の期間	1
回収結果	1
調査結果の表示方法と留意点	1

II 就職氷河期世代全体の調査結果

要旨	2
国との比較	13
設問別の集計結果	14

III 支援対象者の調査結果

支援対象者の考え方	49
支援対象者別の調査結果	
①無業者	51
②不本意非正規	56
③低収入正規職員	61
④潜在的支援者：非正規	65
⑤潜在的支援者：専業主婦	71

IV 資料

アンケート調査票	74
----------	----

I 調査概要

○調査目的：就労状況や生活状況、支援・事業ニーズから課題等を分析し、必要な支援事業を検討する基礎資料とするため

○調査対象： 無作為に選ばれた、満 34 歳以上 50 歳以下の方 1,800 人
(令和 3 年 7 月 15 日時点で本市の住民基本台帳に登録のあった方)

※就職氷河期世代とは

概ね 1993 年（平成 5 年）から 2004 年（平成 16 年）に学校卒業期を迎えた世代を指します（2020 年 4 月 1 日時点において大卒で概ね 38 歳から 49 歳、高卒で概ね 34 歳から 45 歳に相当）。

（「厚生労働省就職氷河期世代活躍支援プラン」（令和元年 5 月 29 日「2040 年を展望した社会保障・働き方改革本部」とりまとめ）より）

○実施主体：栗東市商工観光労政課 労政・就労推進係

○調査方法：郵送調査

○調査期間：令和 3 年 7 月 27 日（火）から同年 8 月 18 日（水）

○回収結果：実回収総数 711 （回収率 39.5%）
有効回答数 711

○調査結果の表示方法と留意点

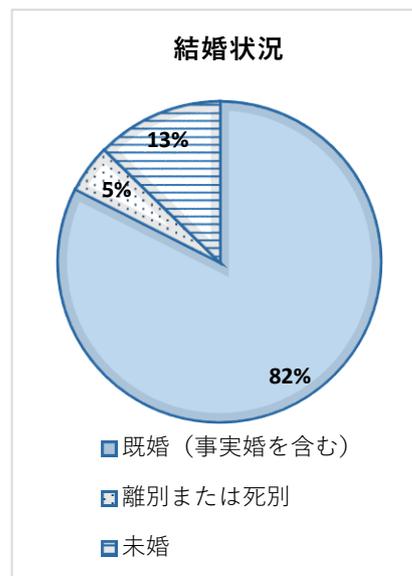
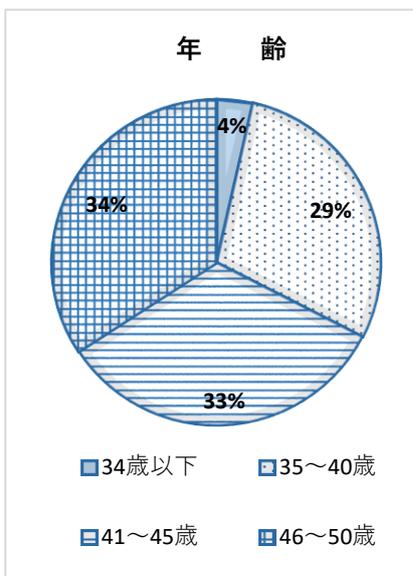
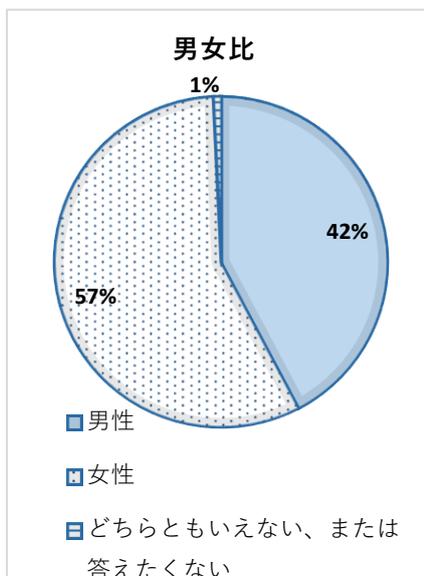
1. 比率は、原則として各設問の総回答数（不明を含む）に対する百分率で表しています。
2. 設問別集計結果（14 頁）の割合表示は、小数点 3 位を四捨五入しているため、百分率の合計が 100%にならない場合があります。
3. 図表の見出しや回答の選択肢は、紙面の都合上、趣旨が変わらない程度に簡略化して記載していることがあります。
4. 本文中の「現在働いている方」は、問 1 でア 正規の職員・従業員～カ 自家営業の手伝い（家族従事者）を選んだ方、「現在働いていない方」は問 1 でキ 専業主婦・専業主婦～ケ 無職を選んだ方を示しています。
5. 本調査全体の回収総数は 711 ですが、設問により回答対象者が異なることから、設問によって総数が異なります。
6. 複数回答可の設問については、選択された選択肢すべての数を総数としています。
7. 図表中の「無効」は、無回答の他、選択肢より 1 つだけ選択すべきところを複数選択しているなど、回答者の意思が不明であるものを含みます。

II 就職氷河期世代全体の調査結果

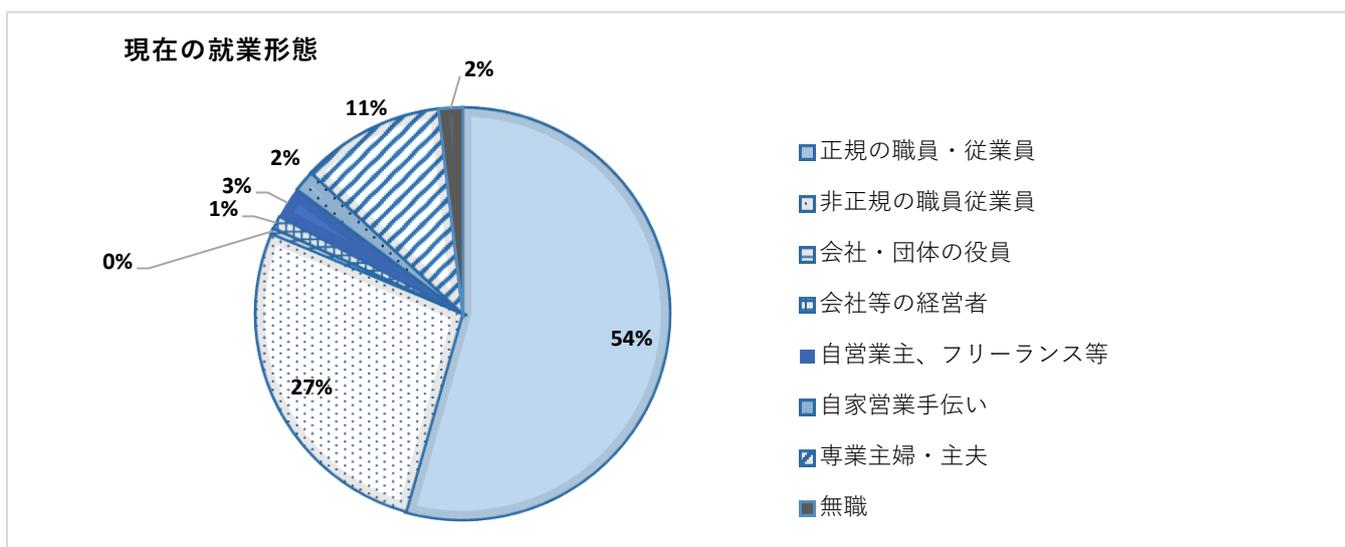
要旨

全体

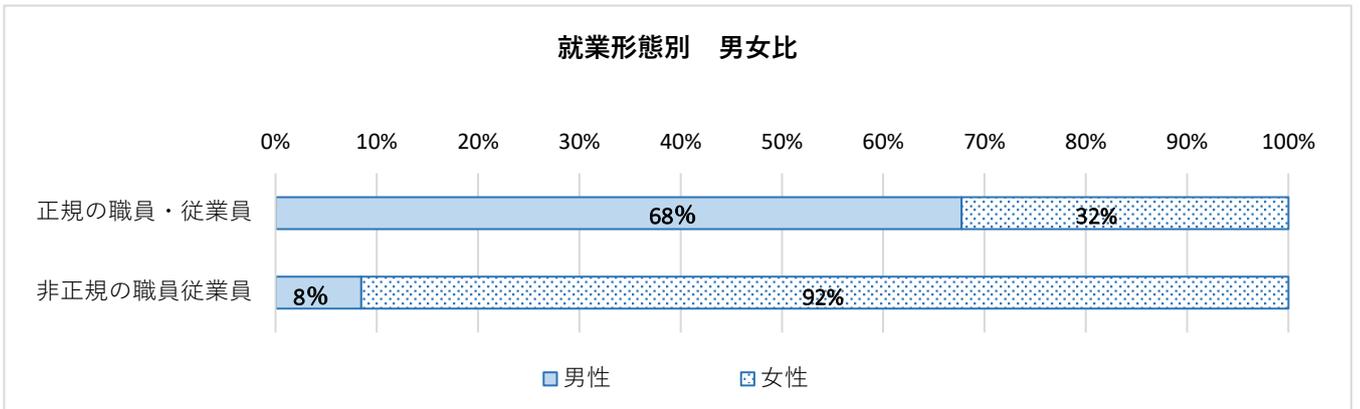
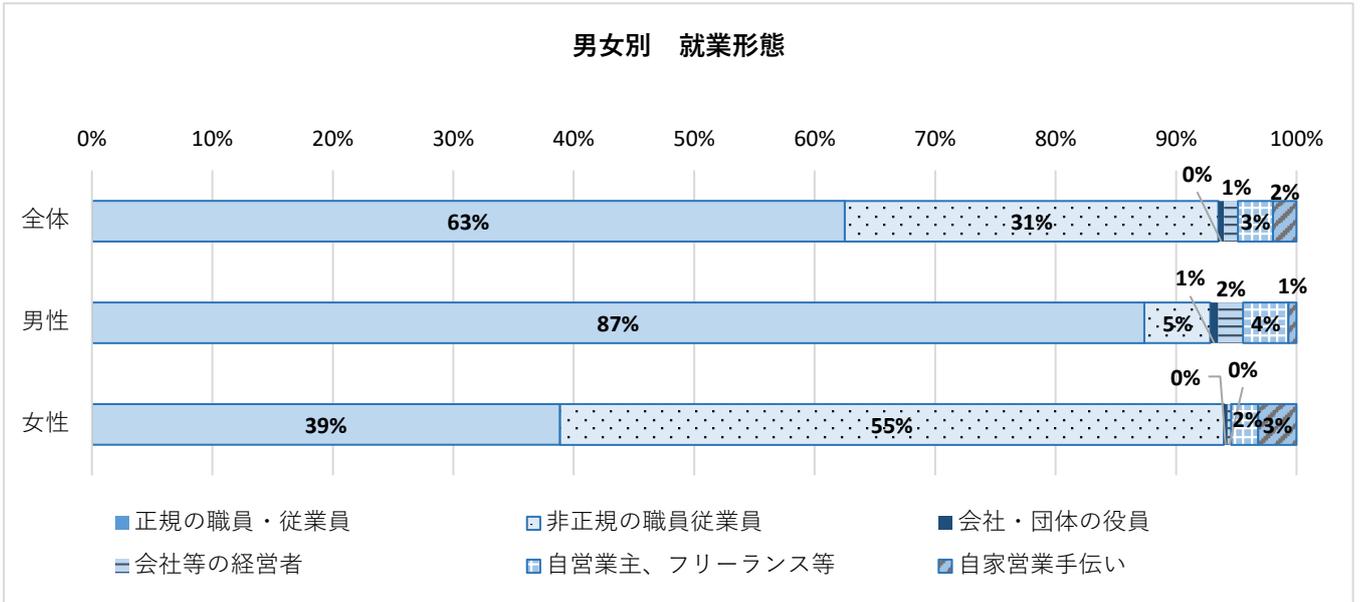
総回答数 711 名



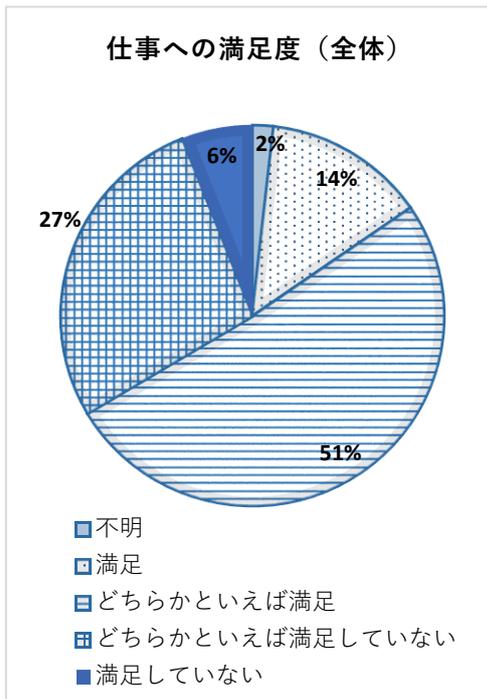
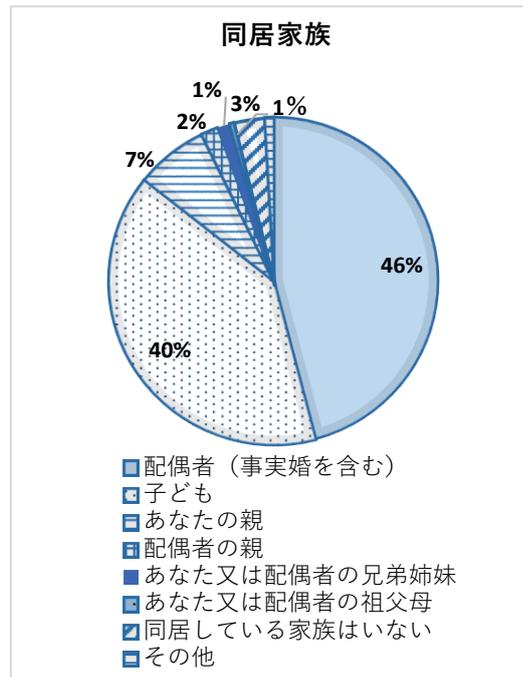
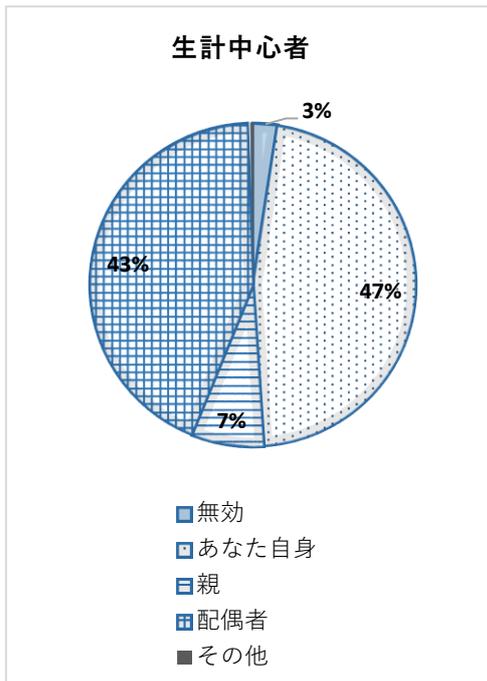
全体の回答率は39.5%。男女別では、女性の回答率が高い。



正規の職員および非正規の職員を合わせて、就労している人が80%を超えている。

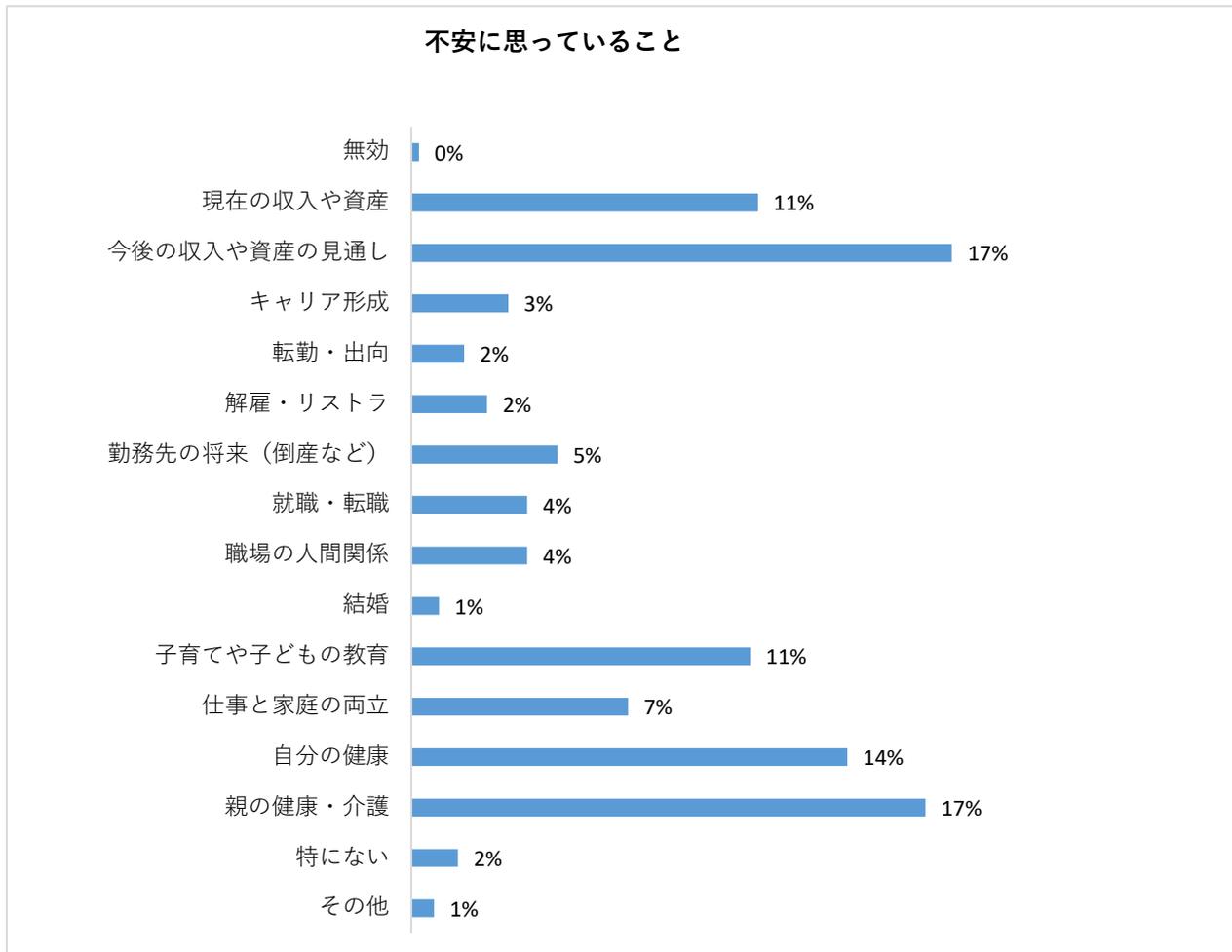


グラフ「男女別就業形態」および「就業形態別男女比」のとおり、男性と女性での就業形態の差が顕著である。



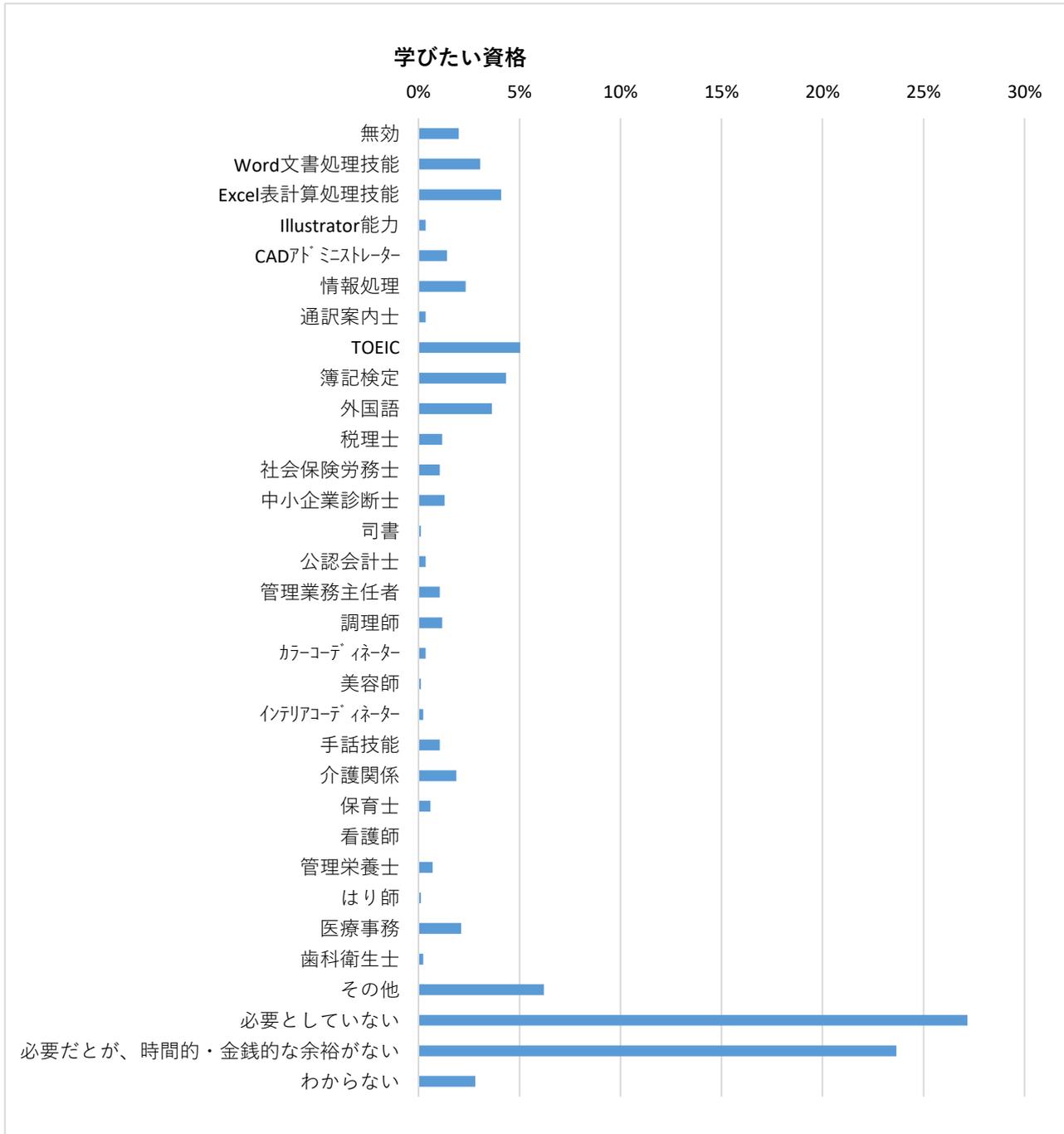
仕事への満足度について、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせて65%を越えている。

将来への不安



「今後の収入は資産の見通し」17%と「親の健康・介護」17%の割合が高い。

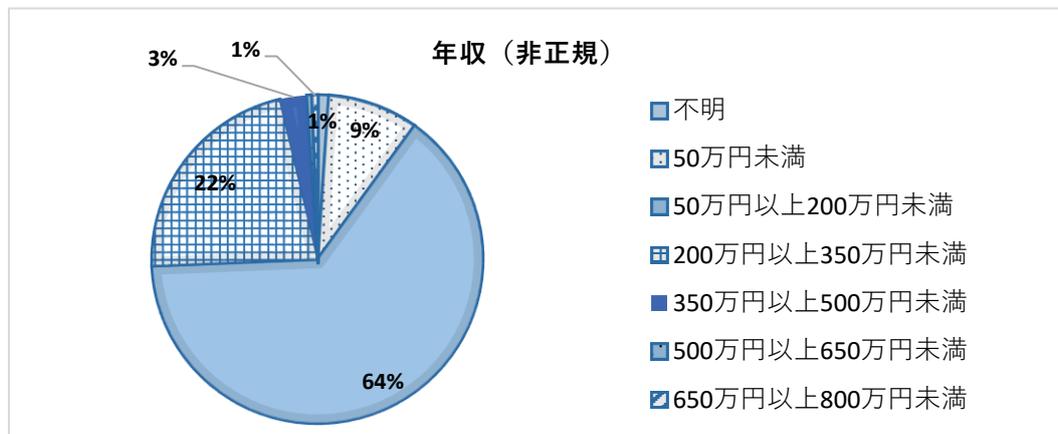
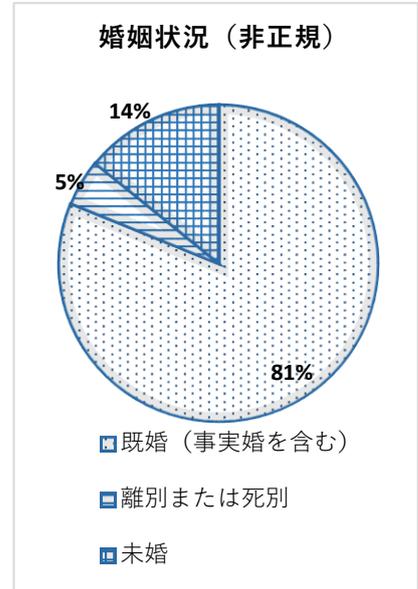
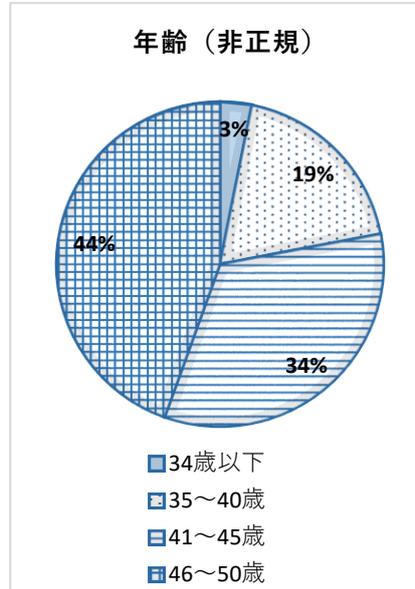
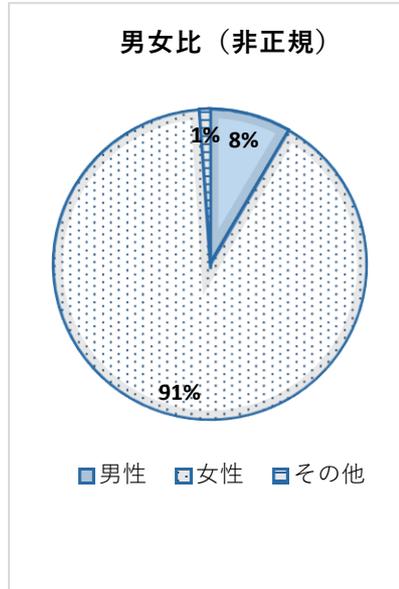
学びたい資格



「必要としていない」、「必要だが、時間的・金銭的な余裕がない」の割合が高い。

非正規の職員・従業員

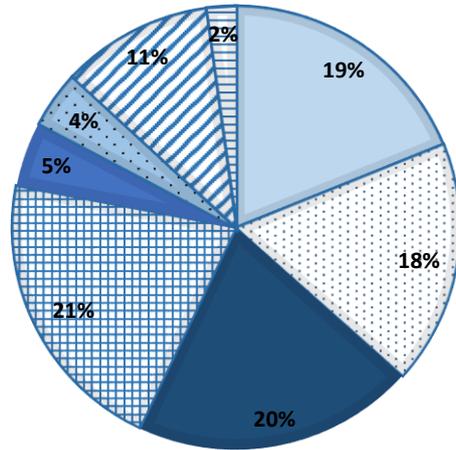
「非正規の職員・従業員数 191 名」



非正規の職員・従業員の90%以上が女性である。

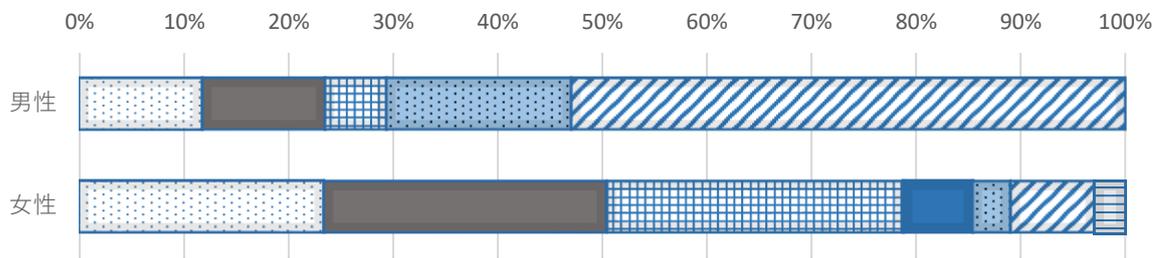
年収は50万円以上～200万円未満が最も高い割合を占める。

非正規の就業形態を選択した理由 (非正規)



- 無効
- 自分の都合の良い時間に働きたいため
- 家計の補助・学費等を得たいため
- 家事・育児・介護等と両立しやすいため
- 通勤時間が短いため
- 専門的な技能等を活かせるため
- 正規の職員・従業員の仕事に就けなかったため
- その他

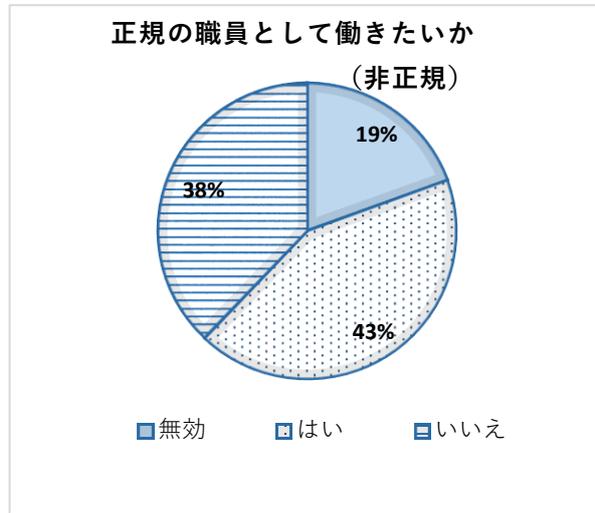
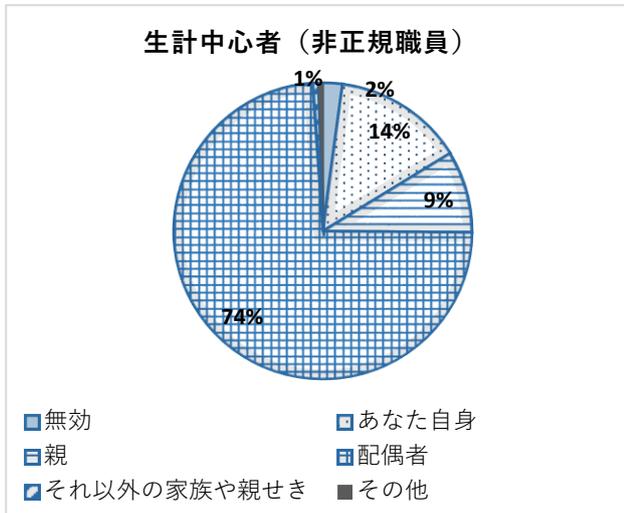
現在の就業形態を選択した理由 【男女別比率】 (非正規)



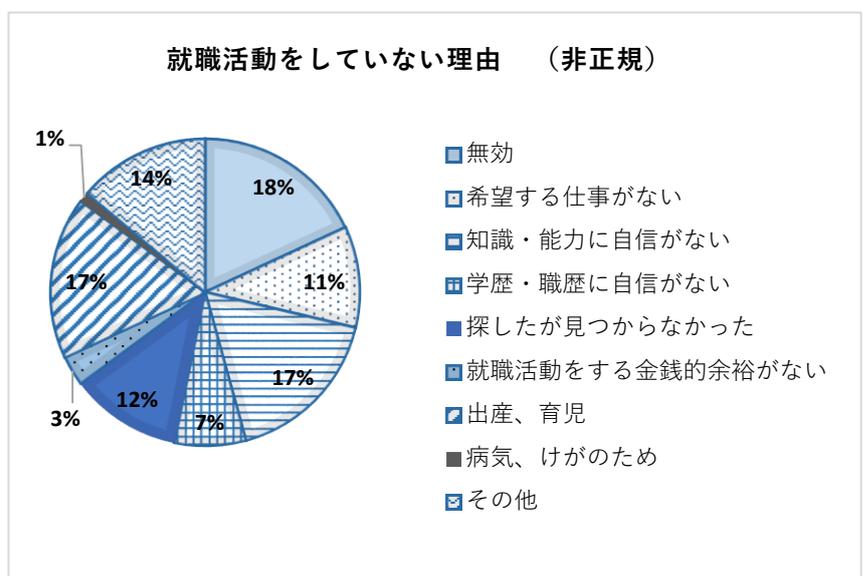
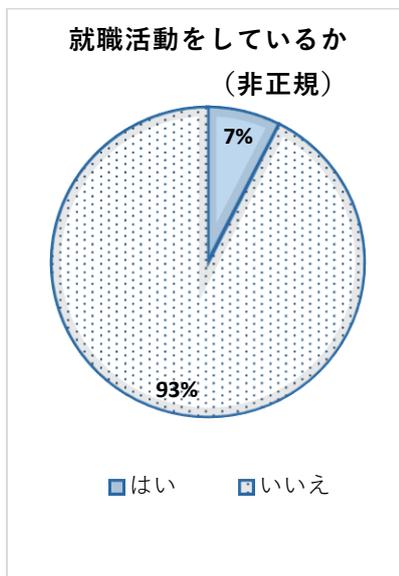
- 自分の都合の良い時間に働きたいため
- 家事・育児・介護等と両立しやすいため
- 専門的な技能等を活かせるため
- その他
- 家計の補助・学費等を得たいため
- 通勤時間が短いため
- 正規の職員・従業員の仕事に就けなかったため

非正規の就業形態を選択した理由については、男女で大きな違いがある。

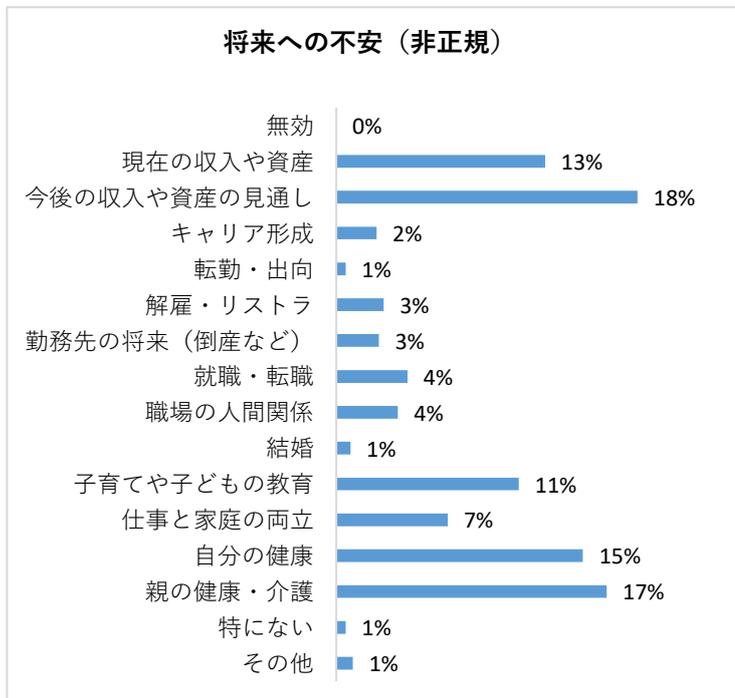
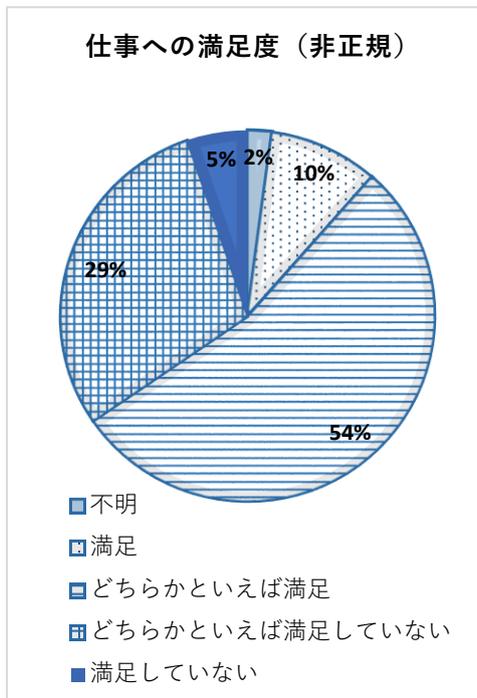
男性の非正規職員の50%以上が「正規の職員・従業員の仕事に就けなかったため」と回答している。



74%が生計中心者は「配偶者」と回答しており、家計の補助的な役割を果たしていると思われる。ただし、14%は「自身」または「親」である。



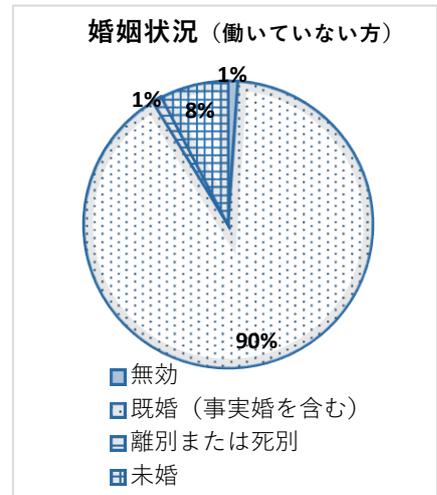
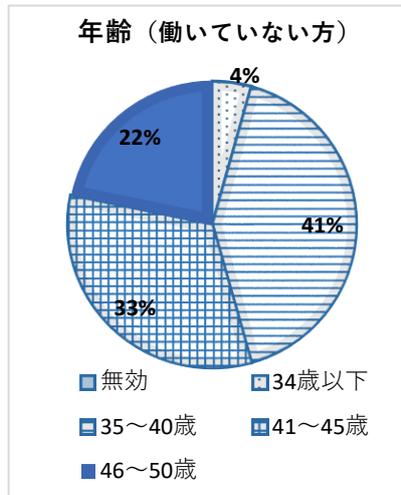
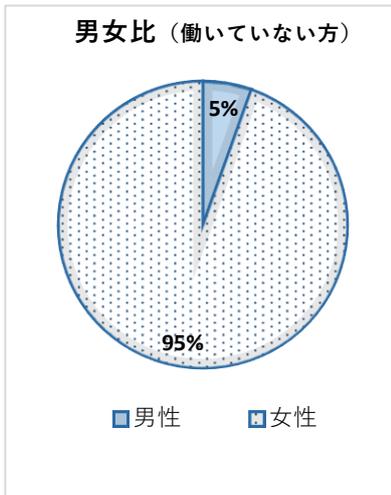
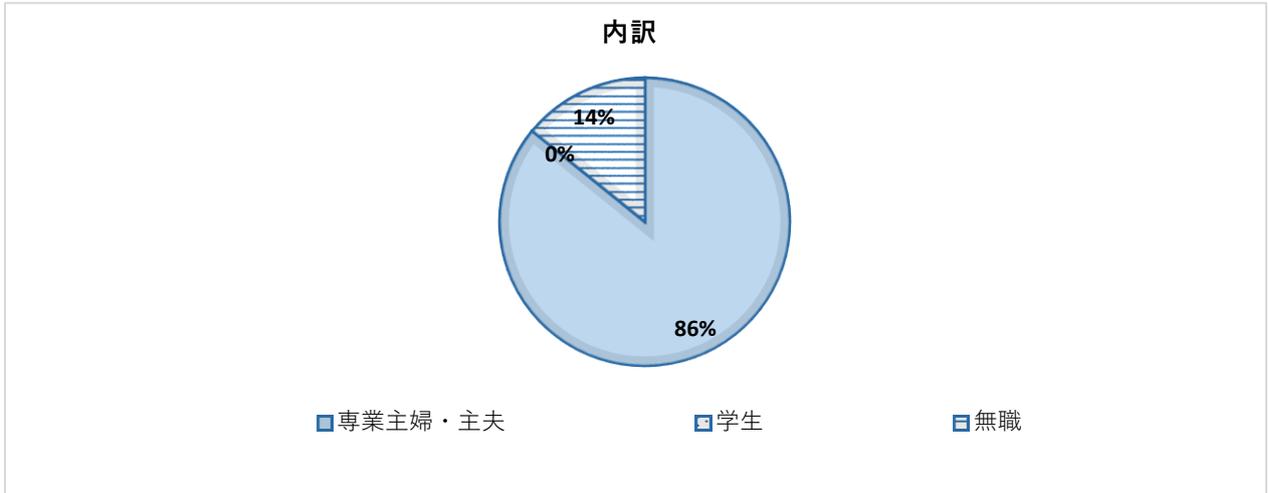
43%が「正規の職員として働きたい」と考えているが、そのうち就職活動をしているのは7%にとどまり、さまざまな事情により就職活動を行えていない。



「仕事への満足度」、「将来への不安」は、全体と比較して大きな差はない。

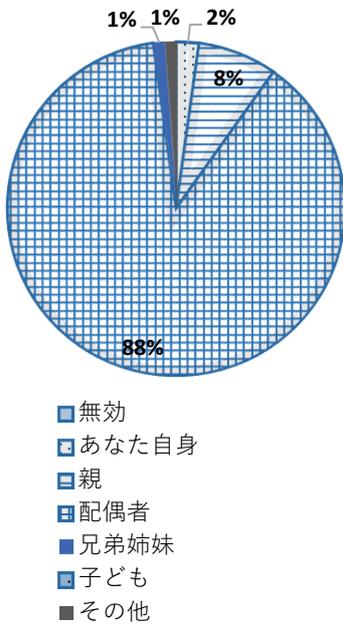
現在働いていない方（専業主婦・専業主夫、学生、無職）

「現在働いていない方の数 92名」

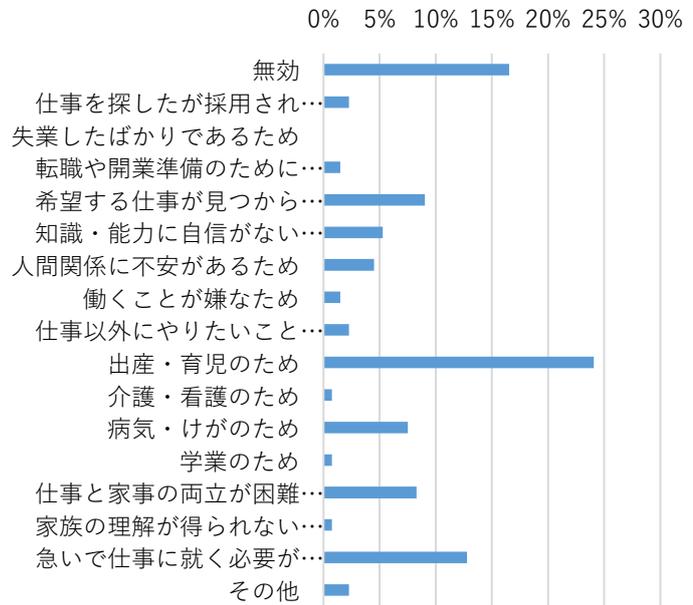


現在働いていない方のうち、86%が「専業主婦・主夫」である。

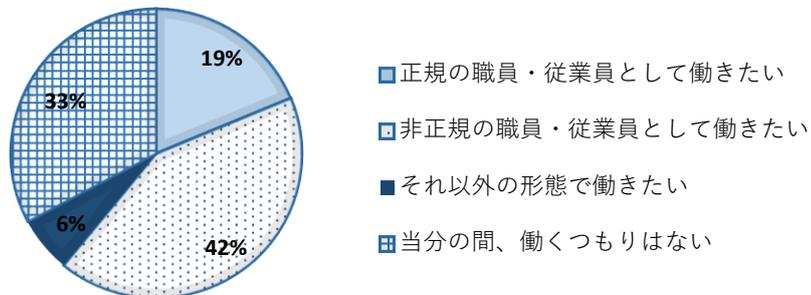
生計中心者（働いていない方）



働いていない理由（働いていない方）



今後の就労意欲（働いていない方）

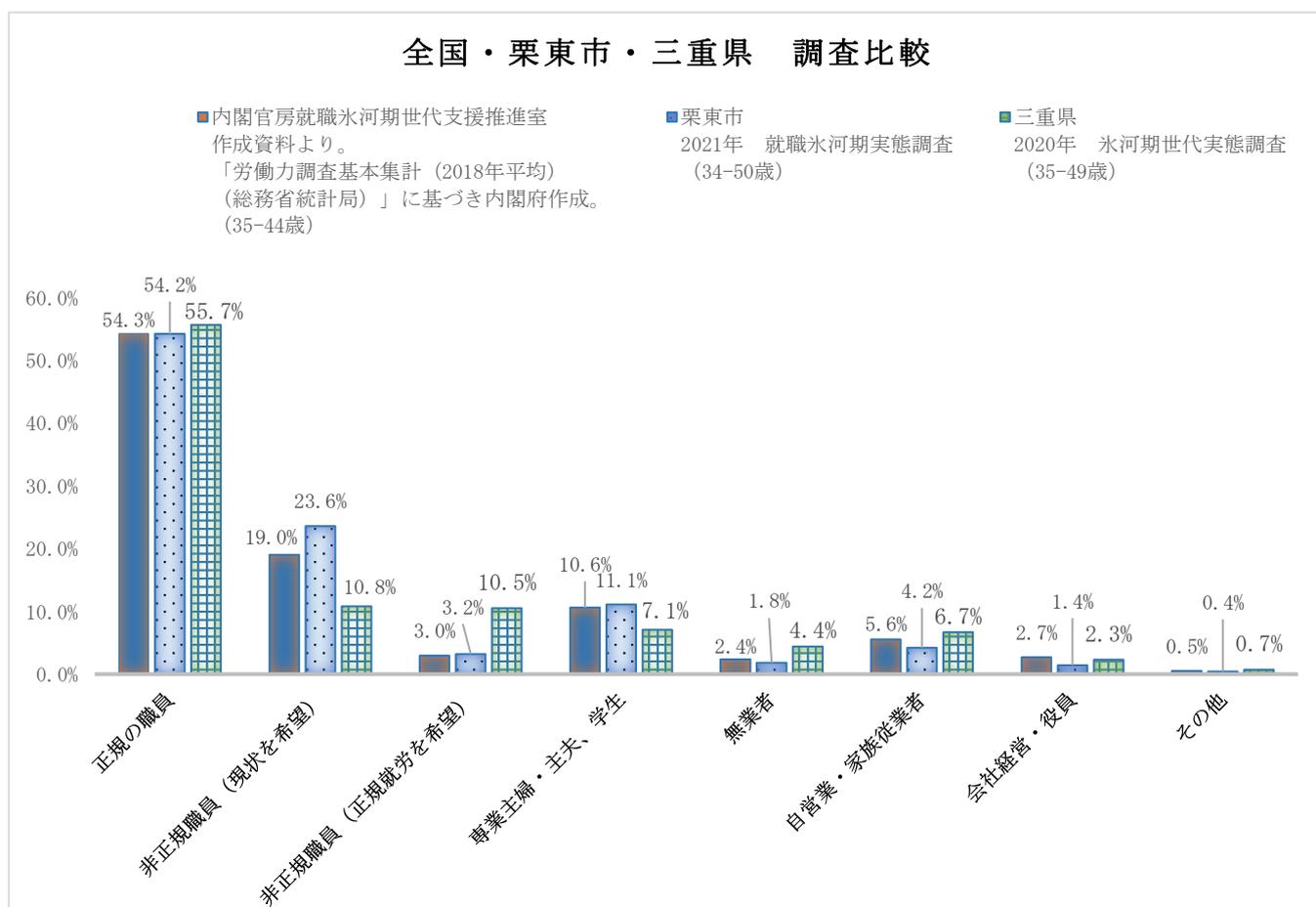


働いていない理由は「出産・育児のため」の割合が高い。

今後の就労意欲については、「非正規の職員・従業員として働きたい」割合が高い。

国や他地域との比較

総務省実施「労働力調査」および三重県実施「就職氷河期世代の実態調査」の調査結果との比較は以下のとおり。ただし、実施年度や対象年齢、調査内容に相違があることから、参考程度となる。



本市の特徴

1. 非正規の職員・従業者で働く者のうち、現状での就労を希望する者の比率が高い。
2. 無業者の比率が低い。
3. 会社経営、役員の割合が低い。

（引用）内閣官房就職氷河期世代支援推進室作成資料より。「労働力調査基本集計（2018年平均）（総務省統計局）」に基づき内閣府作成。

三重県 2020 年「就職氷河期世代の実態調査」 満 34 歳以上 49 歳以下の県民

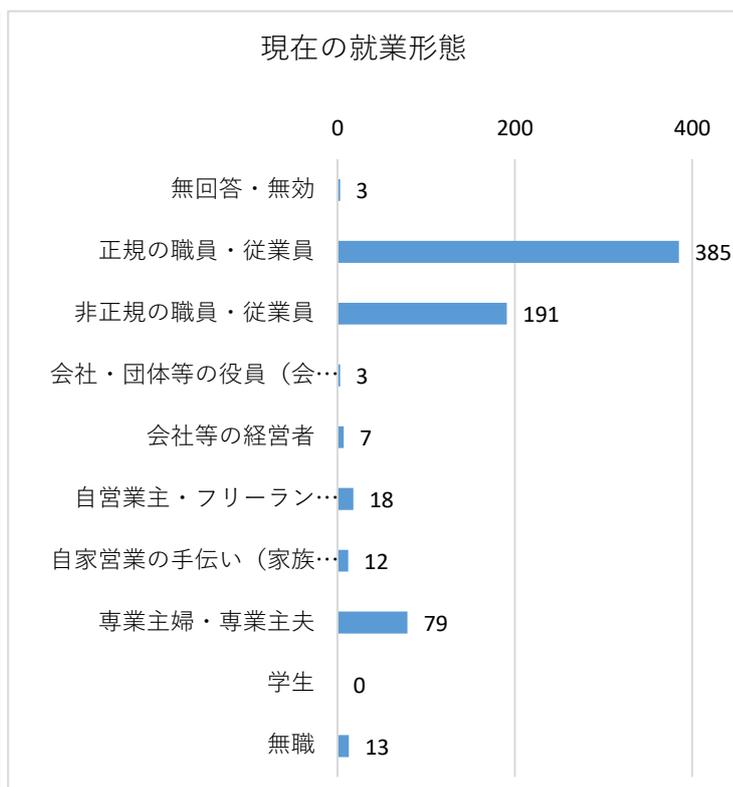
設問別の集計結果

[すべての方を対象とした設問] (問1～問2)

問1 あなたの現在の就業形態は何ですか。(○は1つだけ)

全体 (総数 711 件)

項目	回答数	割合
無回答・無効	3	0.42%
正規の職員・従業員	385	54.15%
非正規の職員・従業員	191	26.86%
会社・団体等の役員 (会社等の経営者を除く)	3	0.42%
会社等の経営者	7	0.98%
自営業主・フリーランス、 家庭内の賃仕事 (内職)	18	2.53%
自家営業の手伝い(家族 従業員)	12	1.69%
専業主婦・専業主夫	79	11.11%
学生	0	0.00%
無職	13	1.83%



問2 あなたは現在、副業(内職等も含む)がありますか、または複数の職業に就いていますか。
(○は1つだけ)

全体 (総数 711 件)

無回答・無効	21	2.95%
はい	47	6.61%
いいえ	643	90.44%



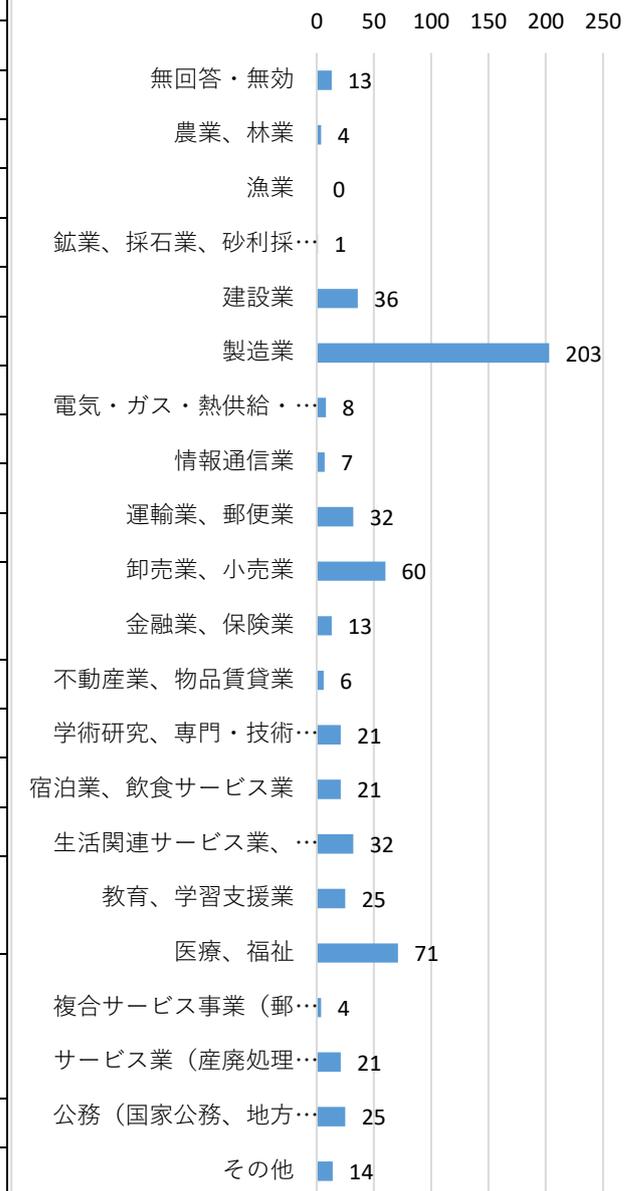
[働いている方を対象とした設問] (問3～問7)

問3 あなたのお仕事の業種は何ですか。(○は1つだけ)

全体 (総数 617 件)

無回答・無効	13	2.11%
農業、林業	4	0.65%
漁業	0	0.00%
鉱業、採石業、砂利採取業	1	0.16%
建設業	36	5.83%
製造業	203	32.90%
電気・ガス・熱供給・水道業	8	1.30%
情報通信業	7	1.13%
運輸業、郵便業	32	5.19%
卸売業、小売業	60	9.72%
金融業、保険業	13	2.11%
不動産業、物品賃貸業	6	0.97%
学術研究、専門・技術サービス業	21	3.40%
宿泊業、飲食サービス業	21	3.40%
生活関連サービス業、娯楽業	32	5.19%
教育、学習支援業	25	4.05%
医療、福祉	71	11.51%
複合サービス事業 (郵便局・協同組合等)	4	0.65%
サービス業 (産廃処理業、自動車整備業、宗教等の他に分類されないもの)	21	3.40%
公務 (国家公務、地方公務)	25	4.05%
その他	14	2.27%

現在の仕事の業種

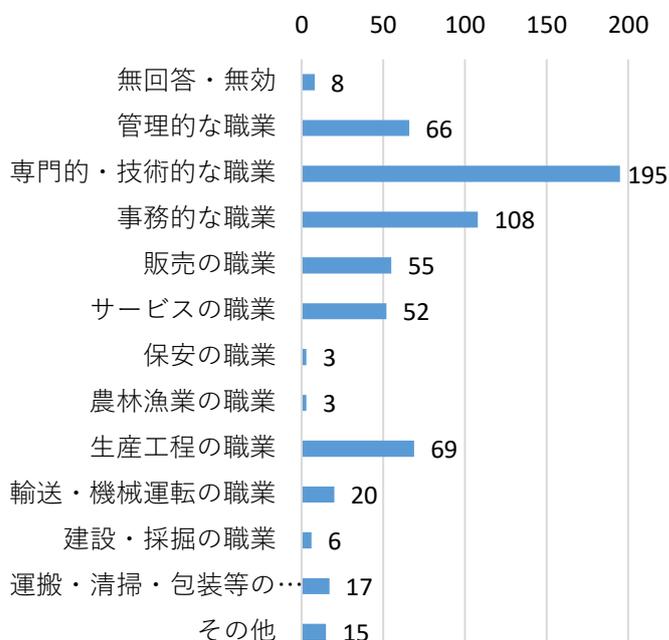


問4 あなたの職種は何ですか。(〇は1つだけ)

全体 (総数 617 件)

無回答・無効	8	1.30%
管理的な職業	66	10.70%
専門的・技術的な職業	195	31.60%
事務的な職業	108	17.50%
販売の職業	55	8.91%
サービスの職業	52	8.43%
保安の職業	3	0.49%
農林漁業の職業	3	0.49%
生産工程の職業	69	11.18%
輸送・機械運転の職業	20	3.24%
建設・採掘の職業	6	0.97%
運搬・清掃・包装等の職業	17	2.76%
その他	15	2.43%

現在の仕事の職種

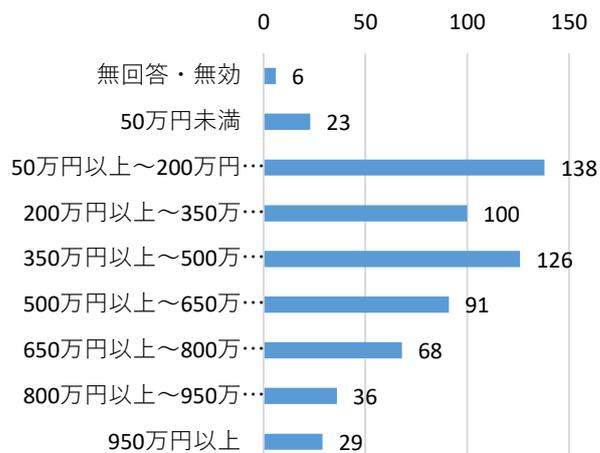


問5 あなたの1年間のおおよその収入金額 (ボーナスや臨時収入、副業等を含む税引き前の金額) をお答えください。

全体 (総数 617 件)

無回答・無効	6	0.97%
50万円未満	23	3.73%
50万円以上～200万円未満	138	22.37%
200万円以上～350万円未満	100	16.21%
350万円以上～500万円未満	126	20.42%
500万円以上～650万円未満	91	14.75%
650万円以上～800万円未満	68	11.02%
800万円以上～950万円未満	36	5.83%
950万円以上	29	4.70%

年収

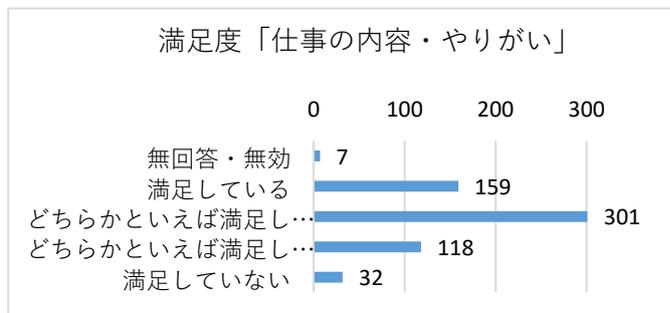


問6 現在の仕事にどの程度満足していますか。

全体（総数 617 件）

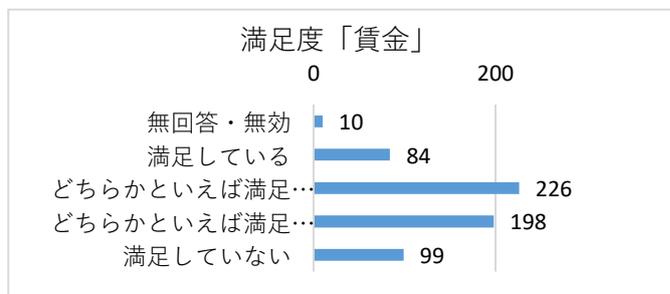
「仕事の内容・やりがい」

無回答・無効	7	1.13%
満足している	159	25.77%
どちらかといえば満足	301	48.78%
どちらかといえば満足していない	118	19.12%
満足していない	32	5.19%



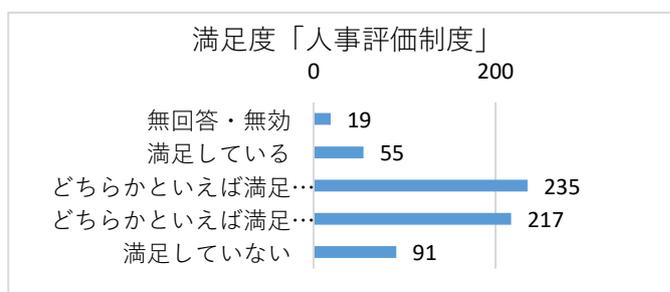
「賃金」

無回答・無効	10	1.62%
満足している	84	13.61%
どちらかといえば満足	226	36.63%
どちらかといえば満足していない	198	32.09%
満足していない	99	16.05%



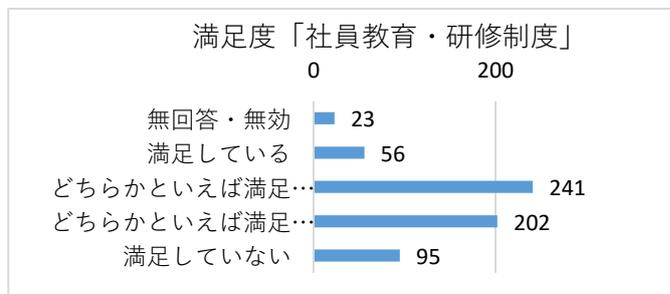
「人事評価制度」

無回答・無効	19	3.08%
満足している	55	8.91%
どちらかといえば満足	235	38.09%
どちらかといえば満足していない	217	35.17%
満足していない	91	14.75%



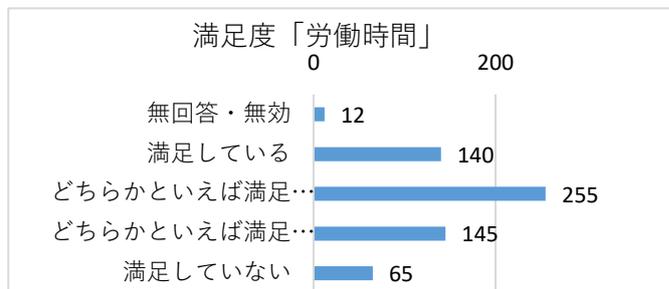
「社員教育・研修制度」

無回答・無効	23	3.73%
満足している	56	9.08%
どちらかといえば満足	241	39.06%
どちらかといえば満足していない	202	32.74%
満足していない	95	15.40%



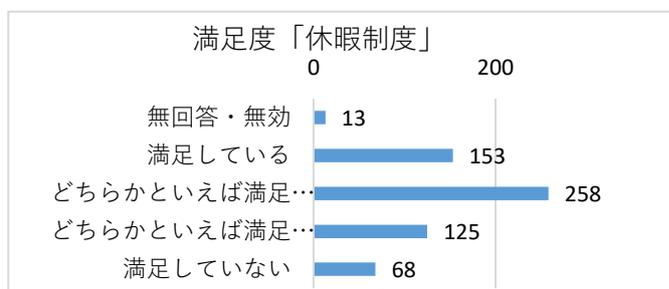
「労働時間」

無回答・無効	12	1.94%
満足している	140	22.69%
どちらかといえば満足	255	41.33%
どちらかといえば満足していない	145	23.50%
満足していない	65	10.53%



「休暇制度」

無回答・無効	13	2.11%
満足している	153	24.80%
どちらかといえば満足	258	41.82%
どちらかといえば満足していない	125	20.26%
満足していない	68	11.02%



「仕事と生活の両立」

無回答・無効	10	1.62%
満足している	117	18.96%
どちらかといえば満足	290	47.00%
どちらかといえば満足していない	148	23.99%
満足していない	52	8.43%



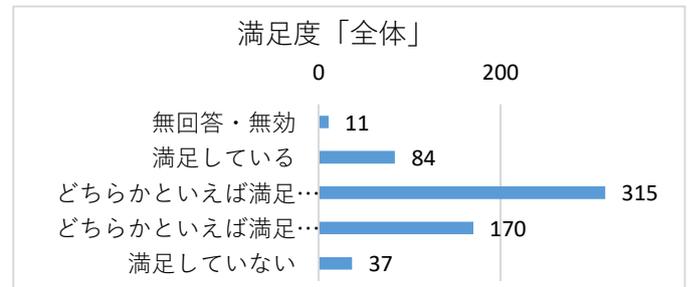
「福利厚生」

無回答・無効	15	2.43%
満足している	107	17.34%
どちらかといえば満足	223	36.14%
どちらかといえば満足していない	195	31.60%
満足していない	77	12.48%



「全体として」

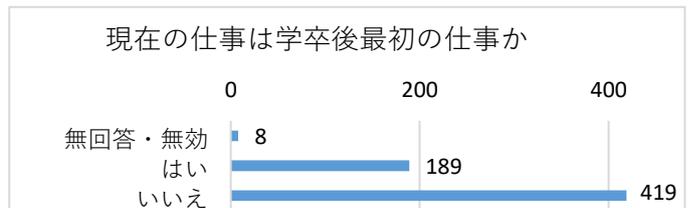
無回答・無効	11	1.78%
満足している	84	13.61%
どちらかといえば満足	315	51.05%
どちらかといえば満足していない	170	27.55%
満足していない	37	6.00%



問7 現在の仕事は、あなたが学校を卒業（または中退）して最初に就いた仕事ですか。

全体（総数 616 件）

無回答・無効	8	1.30%
はい	189	30.68%
いいえ	419	68.02%

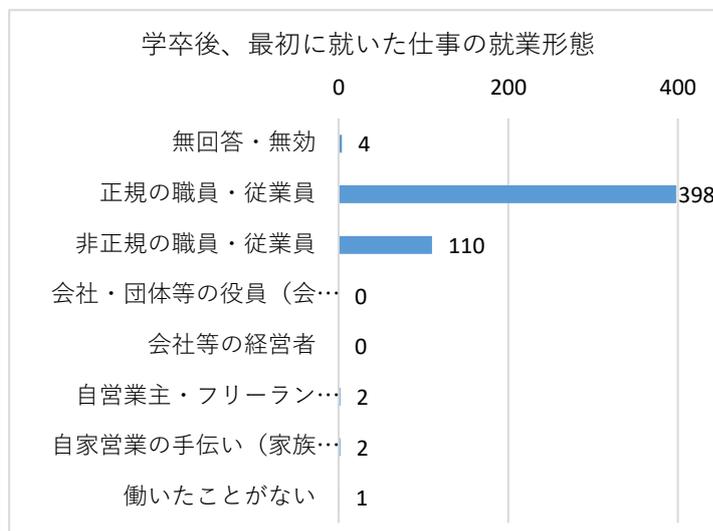


[離職・転職をしたところがある方を対象とした設問] (問8～問13)

問8 あなたが、学校を卒業（または中退）して最初に就いた仕事の就業形態は何ですか。

全体（総数 517 件）

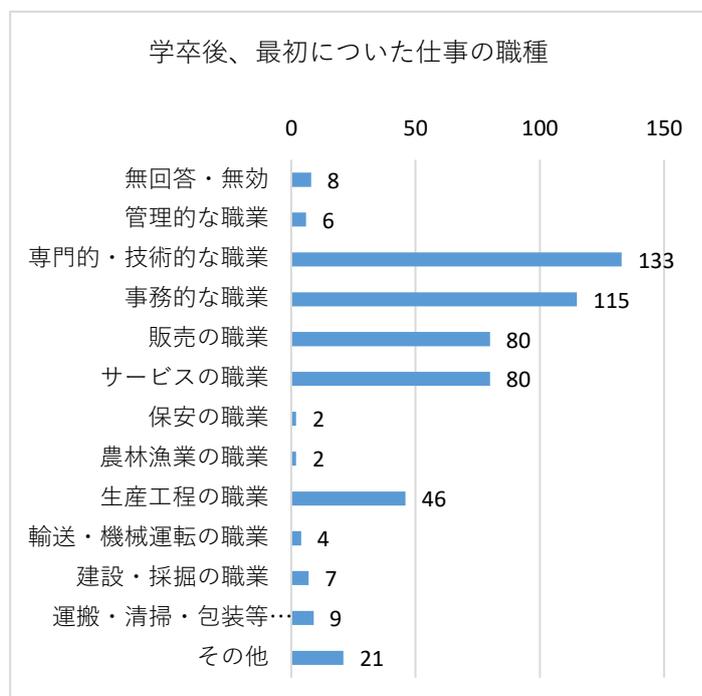
無回答・無効	4	0.77%
正規の職員・従業員	398	76.98%
非正規の職員・従業員	110	21.28%
会社・団体等の役員（会社等の経営者を除く）	0	0.00%
会社等の経営者	0	0.00%
自営業主・フリーランス、家庭内の賃仕事（内職）	2	0.39%
自家営業の手伝い	2	0.39%
働いたことがない	1	0.19%



問9 あなたが、学校を卒業（または中退）して最初に就いた仕事の職種は何ですか。

全体（総数 513 件）

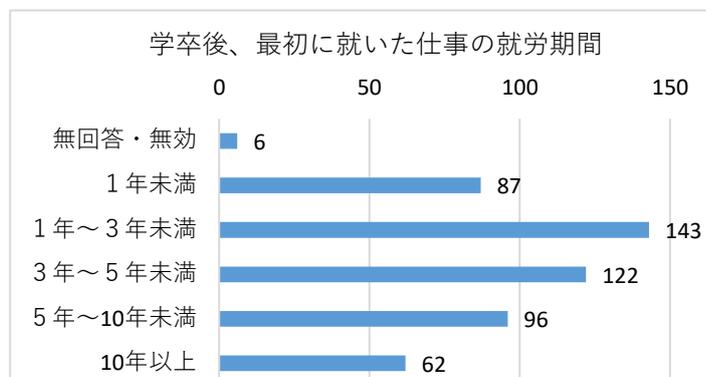
無回答・無効	8	1.56%
管理的な職業	6	1.17%
専門的・技術的な職業	133	25.93%
事務的な職業	115	22.42%
販売の職業	80	15.59%
サービスの職業	80	15.59%
保安の職業	2	0.39%
農林漁業の職業	2	0.39%
生産工程の職業	46	8.97%
輸送・機械運転の職業	4	0.78%
建設・採掘の職業	7	1.36%
運搬・清掃・包装等の職業	9	1.75%
その他	21	4.09%



問10 あなたが、学校を卒業（または中退）して最初に就いた仕事をされていた期間はどのくらいですか。

全体（総数 516 件）

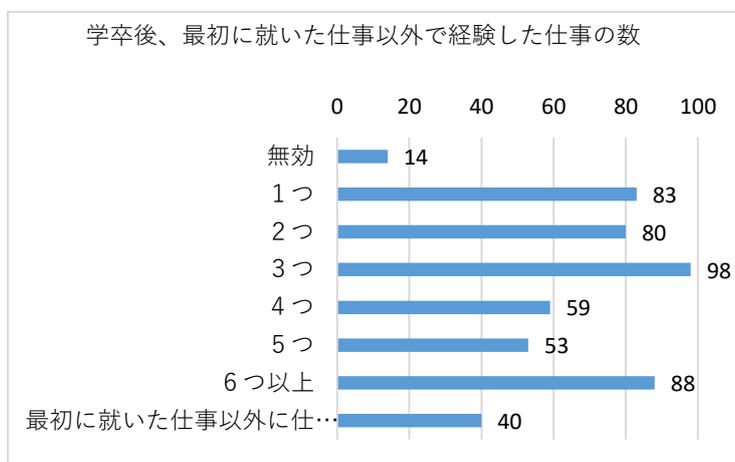
無回答・無効	6	1.16%
1年未満	87	16.86%
1年～3年未満	143	27.71%
3年～5年未満	122	23.64%
5年～10年未満	96	18.60%
10年以上	62	12.02%



問11 学校を卒業（または中退）して最初に就いた仕事以外で、あなたはいくつの仕事（パート、アルバイト等も含む）を経験しましたか。

全体（総数 515 件）

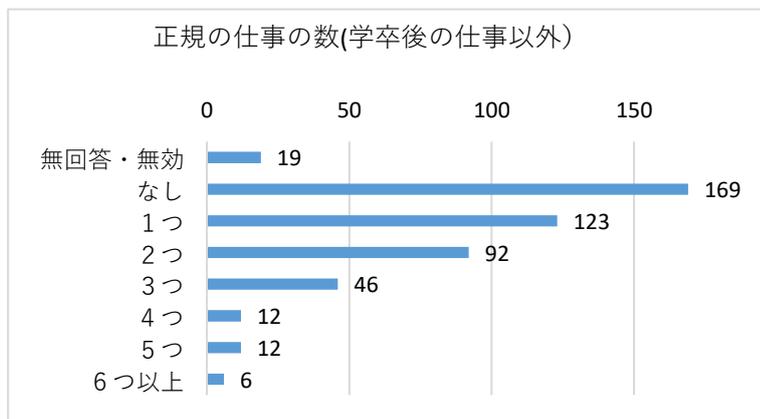
無効	14	2.72%
1つ	83	16.12%
2つ	80	15.53%
3つ	98	19.03%
4つ	59	11.46%
5つ	53	10.29%
6つ以上	88	17.09%
最初に就いた仕事以外に経験はない	40	7.77%



問12 学校を卒業（または中退）して最初に就いた仕事以外であなたが経験した仕事のうち、「正規の職員・従業員」の仕事の数はいくつですか。（〇は1つだけ）

全体（総数 479 件）

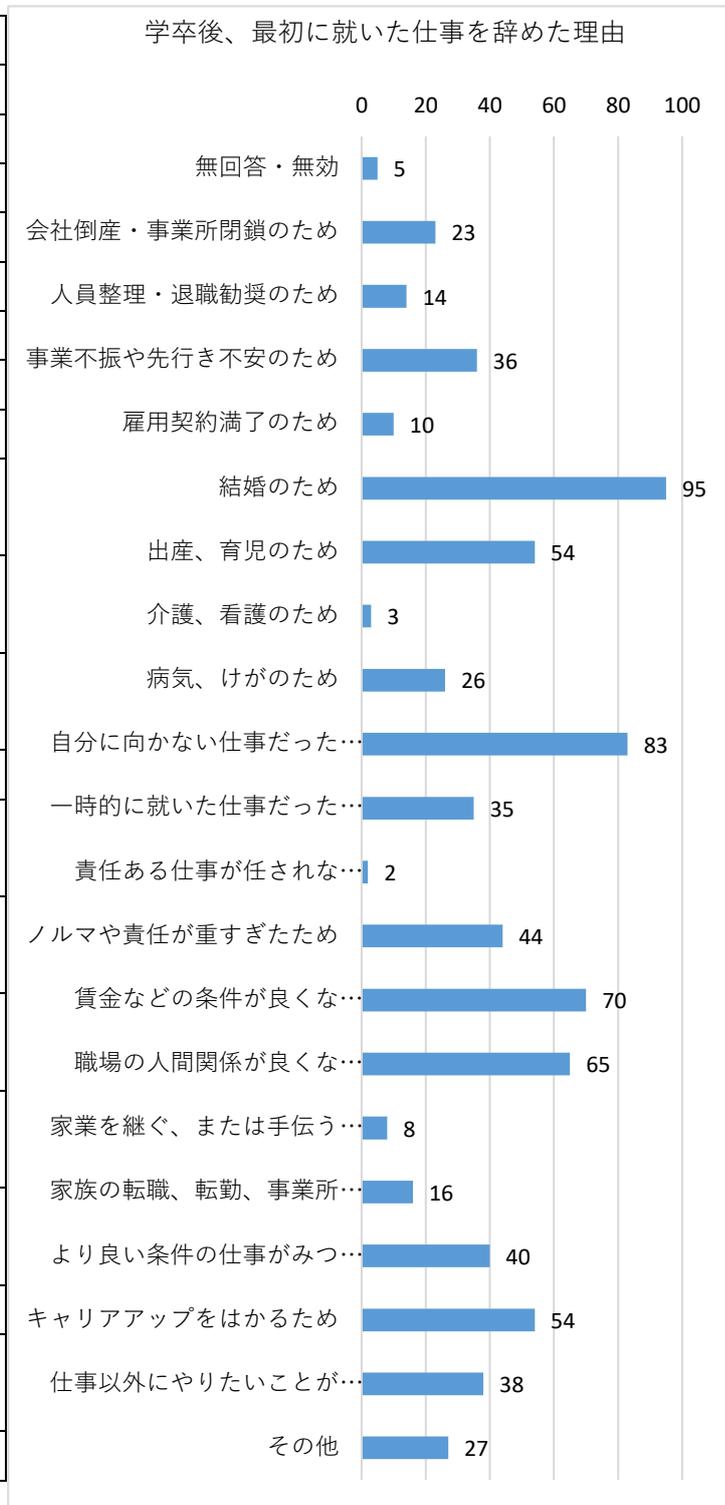
無回答・無効	19	3.97%
なし	169	35.28%
1つ	123	25.68%
2つ	92	19.21%
3つ	46	9.60%
4つ	12	2.51%
5つ	12	2.51%
6つ以上	6	1.25%



問13 あなたが、学校を卒業（または中退）して最初に就いた仕事を辞めた理由は何ですか。
 (〇はいくつでも)

全体（総数 748 件）

無回答・無効	5	0.67%
会社倒産・事業所閉鎖のため	23	3.07%
人員整理・退職勧奨のため	14	1.87%
事業不振や先行き不安のため	36	4.81%
雇用契約満了のため	10	1.34%
結婚のため	95	12.70%
出産、育児のため	54	7.22%
介護、看護のため	3	0.40%
病気、けがのため	26	3.48%
自分に向かない仕事だったため	83	11.10%
一時的に就いた仕事だったため	35	4.68%
責任ある仕事が任されなかったため	2	0.27%
ノルマや責任が重すぎたため	44	5.88%
賃金などの条件が良くなかったため	70	9.36%
職場の人間関係が良くなかったため	65	8.69%
家業を継ぐ、または手伝うため	8	1.07%
家族の転職、転勤、事業所の移転のため	16	2.14%
より良い条件の仕事が見つかったため	40	5.35%
キャリアアップをはかるため	54	7.22%
仕事以外にやりたいことが見つかったため	38	5.08%
その他	27	3.61%

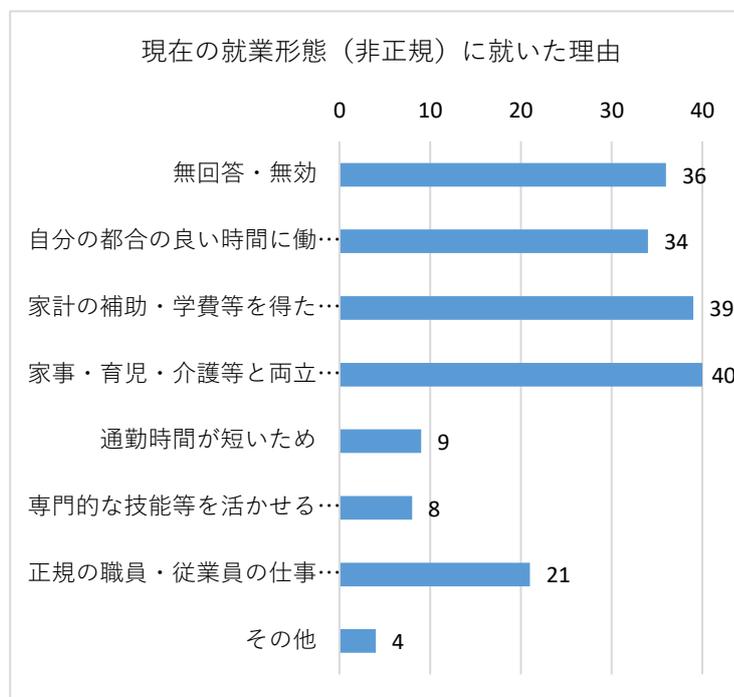


[現在、非正規として働いている方を対象とした設問] (問14～問21)

問14 あなたが、現在の就業形態に就いた主な理由は何ですか。

全体 (総数 191 件)

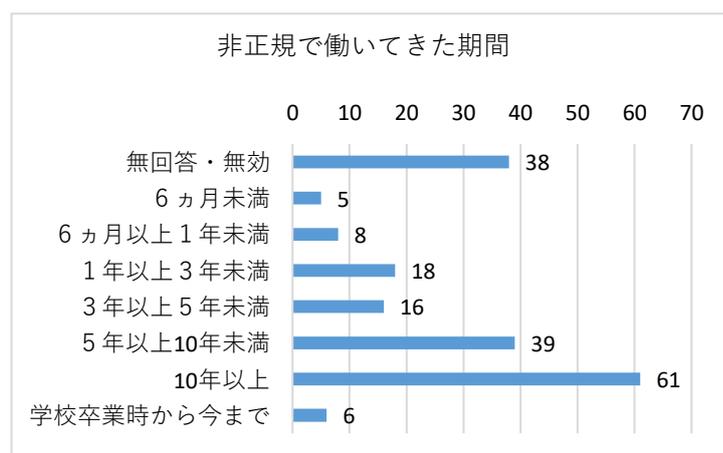
無回答・無効	36	18.85%
自分の都合の良い時間に働きたいため	34	17.80%
家計の補助・学費等を得たいため	39	20.42%
家事・育児・介護等と両立しやすいため	40	20.94%
通勤時間が短いため	9	4.71%
専門的な技能等を活かせるため	8	4.19%
正規の職員・従業員の仕事に就けなかったため	21	10.99%
その他	4	2.09%



問15 あなたが、非正規の職員・従業員として働いてこられた期間の合計はどのくらいですか。

全体 (総数 191 件)

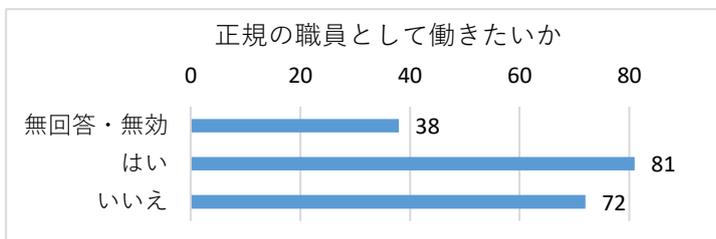
無回答・無効	38	19.90%
6ヵ月未満	5	2.62%
6ヵ月以上1年未満	8	4.19%
1年以上3年未満	18	9.42%
3年以上5年未満	16	8.38%
5年以上10年未満	39	20.42%
10年以上	61	31.94%
学校卒業時から今まで	6	3.14%



問16 あなたは、正規の職員・従業員として働きたいと思いますか。(○は1つだけ)

全体 (総数 191 件)

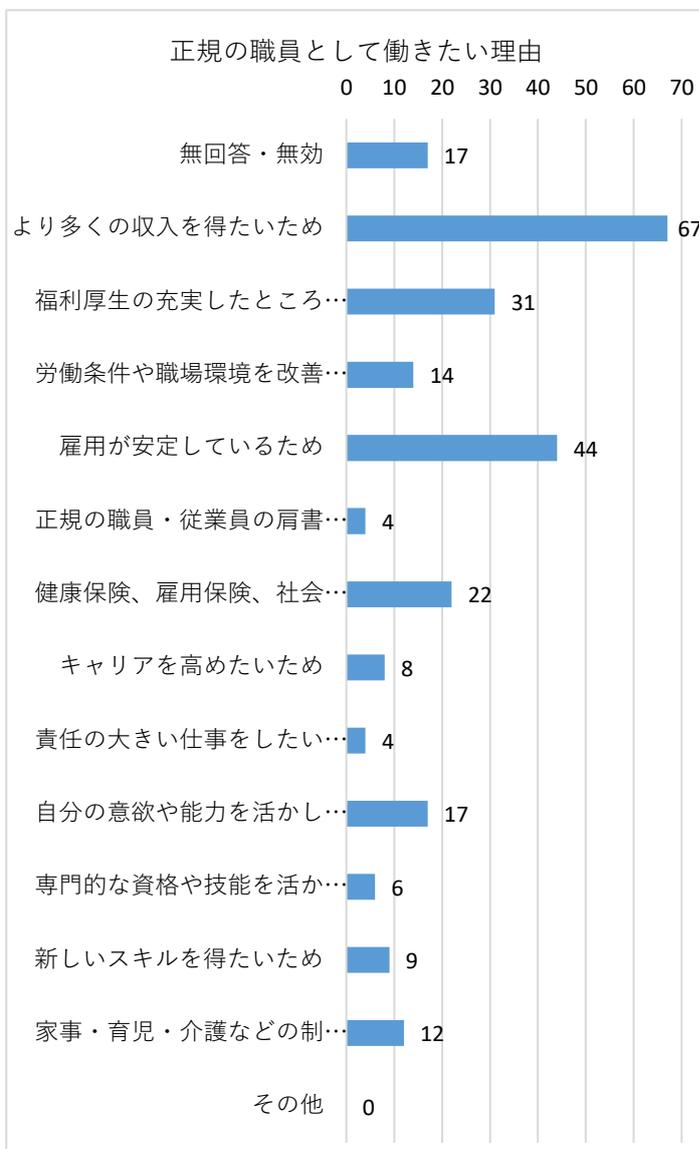
無回答・無効	38	19.90%
はい	81	42.41%
いいえ	72	37.70%



問17 あなたが、正規の職員・従業員として働きたい理由は何ですか。(複数回答)

全体 (総 255 数件)

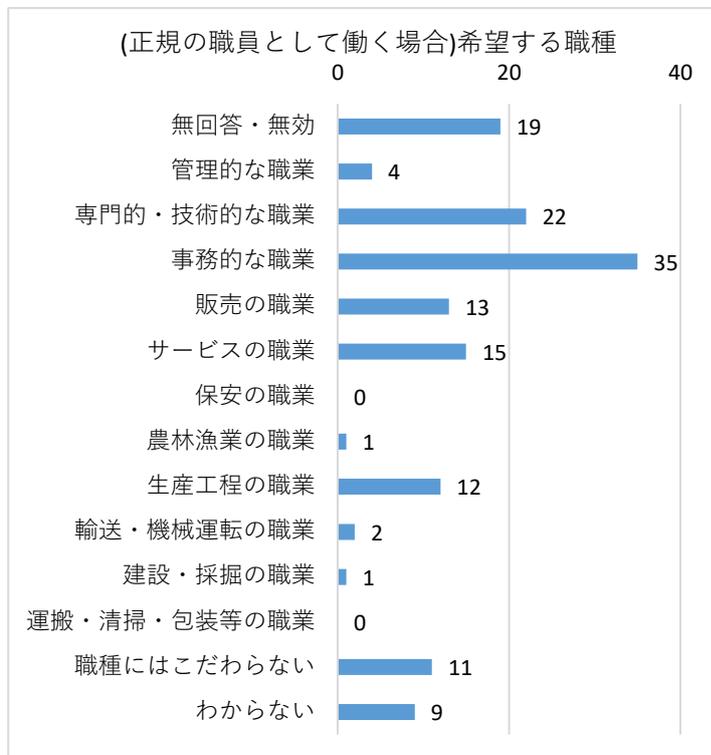
無回答・無効	17	6.67%
より多くの収入を得たいため	67	26.27%
福利厚生が充実したところで働きたいため	31	12.16%
労働条件や職場環境を改善したいため	14	5.49%
雇用が安定しているため	44	17.25%
正規の職員・従業員の肩書きがほしいため	4	1.57%
健康保険、雇用保険、社会保険に加入したいため	22	8.63%
キャリアを高めたいため	8	3.14%
責任の大きい仕事をしたいため	4	1.57%
自分の意欲や能力を活かしたいため	17	6.67%
専門的な資格や技能を活かしたいため	6	2.35%
新しいスキルを得たいため	9	3.53%
家事・育児・介護などの制約がなくなったため	12	4.71%
その他	0	0.00%



問18 あなたが、希望する職種は何ですか（複数回答）

全体（総数 144 件）

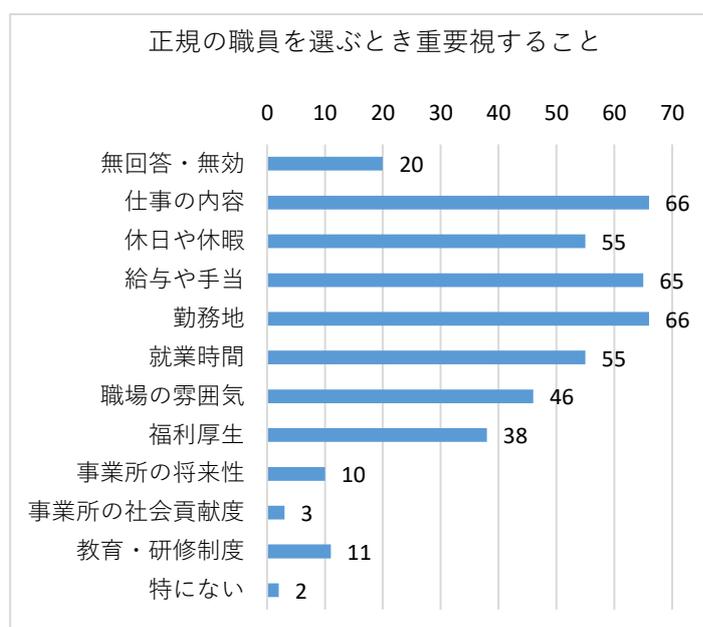
無回答・無効	19	13.19%
管理的な職業	4	2.78%
専門的・技術的な職業	22	15.28%
事務的な職業	35	24.31%
販売の職業	13	9.03%
サービスの職業	15	10.42%
保安の職業	0	0.00%
農林漁業の職業	1	0.69%
生産工程の職業	12	8.33%
輸送・機械運転の職業	2	1.39%
建設・採掘の職業	1	0.69%
運搬・清掃・包装等の職業	0	0.00%
職種にはこだわらない	11	7.64%
わからない	9	6.25%



問19 正規の職員・従業員として職を選ぶときに、どのようなことを重要視しますか（複数回答）

全体（総数 437 件）

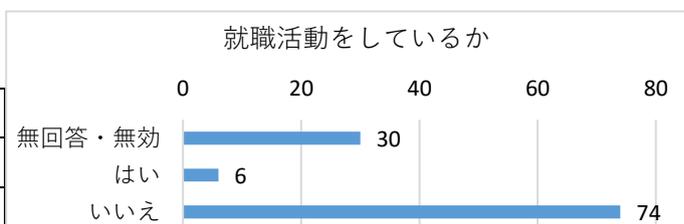
無回答・無効	20	4.58%
仕事の内容	66	15.10%
休日や休暇	55	12.59%
給与や手当	65	14.87%
勤務地	66	15.10%
就業時間	55	12.59%
職場の雰囲気	46	10.53%
福利厚生	38	8.70%
事業所の将来性	10	2.29%
事業所の社会貢献度	3	0.69%
教育・研修制度	11	2.52%
特にない	2	0.46%



問 2 0 あなたは、正規の職員・従業員として働くための就職活動をしていますか。

全体（総数 110 件）

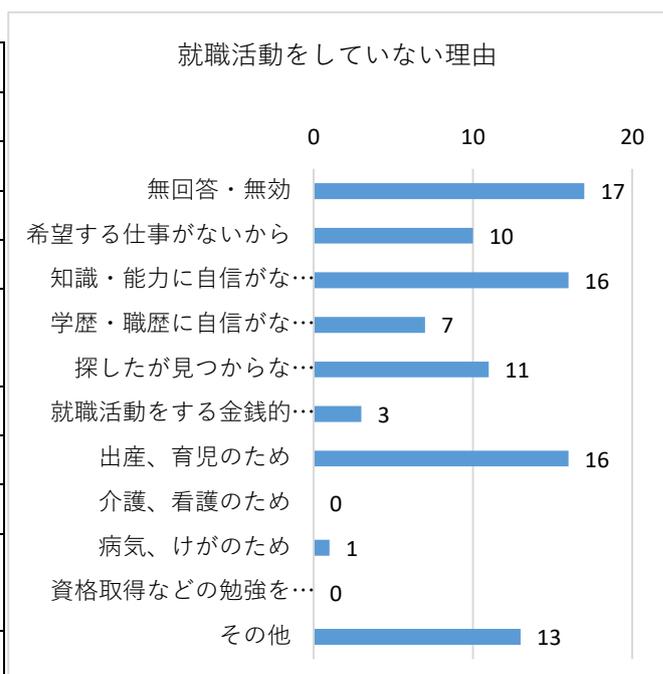
無回答・無効	30	27.27%
はい	6	5.45%
いいえ	74	67.27%



問 2 1 正規の職員・従業員の就労を希望しているが就職活動をしていない理由は。（複数回答）

全体（総数 94 件）

無回答・無効	17	18.09%
希望する仕事がないから	10	10.64%
知識・能力に自信がないから	16	17.02%
学歴・職歴に自信がないから	7	7.45%
探したが見つからなかったから	11	11.70%
就職活動をする金銭的余裕がないから	3	3.19%
出産、育児のため	16	17.02%
介護、看護のため	0	0.00%
病気、けがのため	1	1.06%
資格取得などの勉強をしているから	0	0.00%
その他	13	13.83%



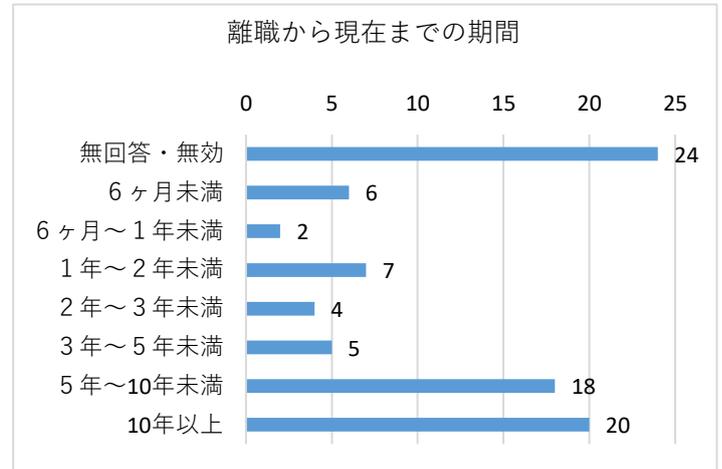
[現在働いていない方を対象とした設問]

(問22～問28) *専業主婦・専業主夫、学生、無職

問22 あなたが、前職を辞めてから現在までの期間はどのくらいですか。

全体 (総数 86 件)

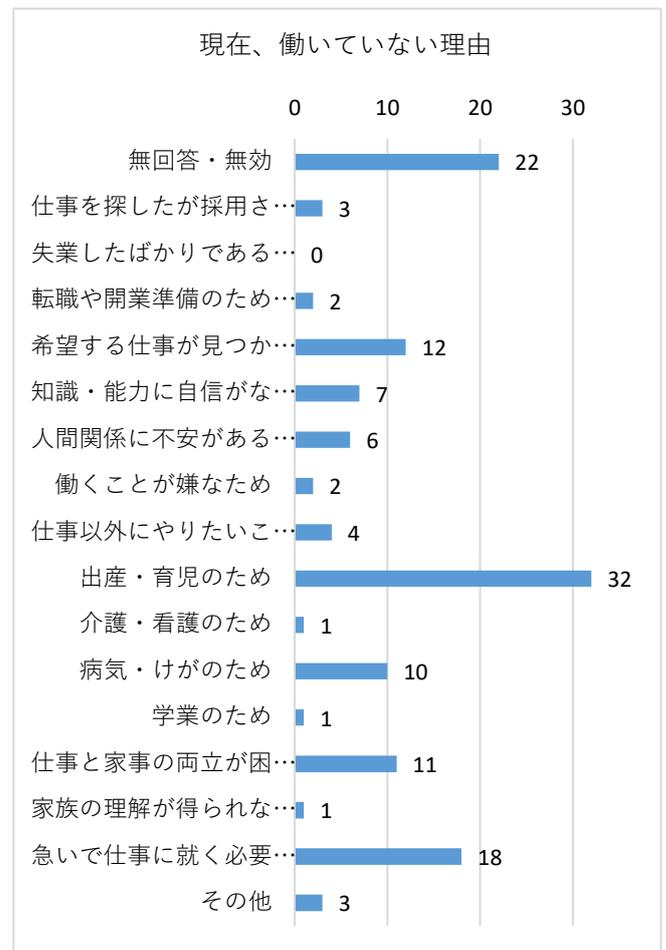
無回答・無効	24	27.91%
6ヶ月未満	6	6.98%
6ヶ月～1年未満	2	2.33%
1年～2年未満	7	8.14%
2年～3年未満	4	4.65%
3年～5年未満	5	5.81%
5年～10年未満	18	20.93%
10年以上	20	23.26%



問23 現在、あなたが働いていない理由は何ですか。(複数回答)

全体 (総数 135 件)

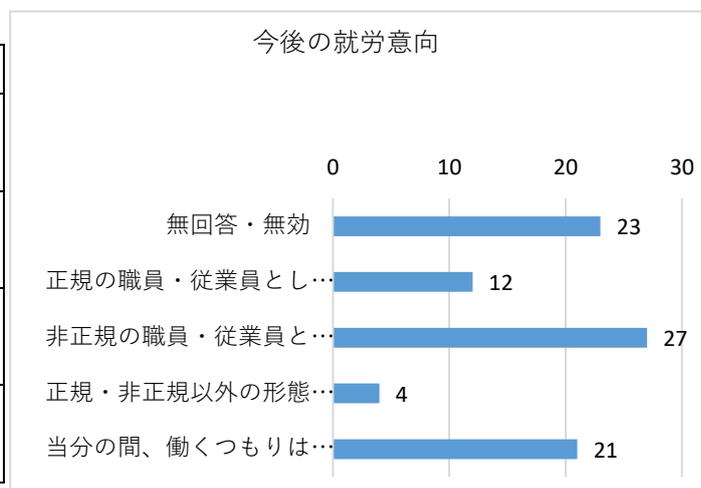
無回答・無効	22	16.30%
仕事を探したが採用されなかったため	3	2.22%
失業したばかりであるため	0	0.00%
転職や開業準備のために前職を辞めたばかりであるため	2	1.48%
希望する仕事が見つからないため	12	8.89%
知識・能力に自信がないため	7	5.19%
人間関係に不安があるため	6	4.44%
働くことが嫌なため	2	1.48%
仕事以外にやりたいことがあるため	4	2.96%
出産・育児のため	32	23.70%
介護・看護のため	1	0.74%
病気・けがのため	10	7.41%
学業のため	1	0.74%
仕事と家事の両立が困難なため	11	8.15%
家族の理解が得られないため	1	0.74%
急いで仕事に就く必要がないため	18	13.33%
その他	3	2.22%



問 2 4 あなたの今後の就労意向を教えてください

全体（総数 87 件）

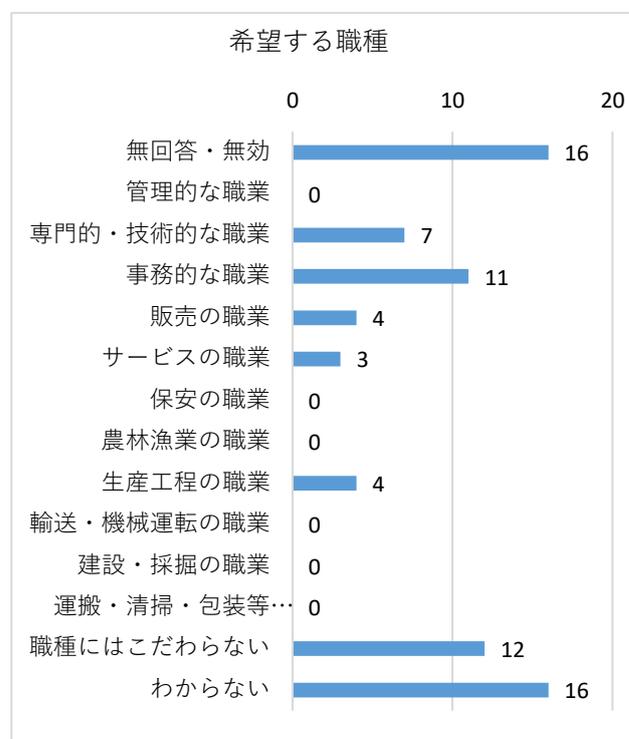
無回答・無効	23	26.44%
正規の職員・従業員として働きたい	12	13.79%
非正規の職員・従業員として働きたい	27	31.03%
正規・非正規以外の形態で働きたい	4	4.60%
当分の間、働くつもりはない	21	24.14%



問 2 5 あなたが、希望する職種は何ですか。（複数回答）

全体（総数 73 件）

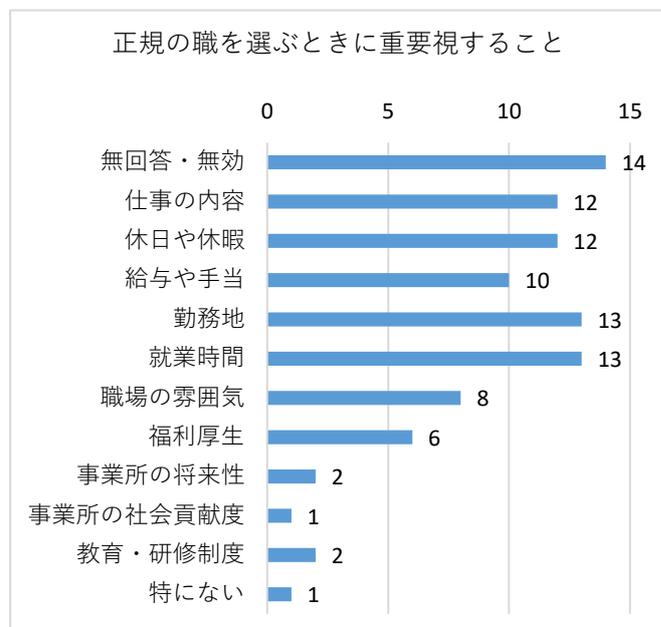
無回答・無効	16	21.92%
管理的な職業	0	0.00%
専門的・技術的な職業	7	9.59%
事務的な職業	11	15.07%
販売の職業	4	5.48%
サービスの職業	3	4.11%
保安の職業	0	0.00%
農林漁業の職業	0	0.00%
生産工程の職業	4	5.48%
輸送・機械運転の職業	0	0.00%
建設・採掘の職業	0	0.00%
運搬・清掃・包装等の職業	0	0.00%
職種にはこだわらない	12	16.44%
わからない	16	21.92%



問26 正規の職員・従業員として職を選ぶときに、どのようなことを重要視しますか（複数回答）

全体（総数 94 件）

無回答・無効	14	14.89%
仕事の内容	12	12.77%
休日や休暇	12	12.77%
給与や手当	10	10.64%
勤務地	13	13.83%
就業時間	13	13.83%
職場の雰囲気	8	8.51%
福利厚生	6	6.38%
事業所の将来性	2	2.13%
事業所の社会貢献度	1	1.06%
教育・研修制度	2	2.13%
特にない	1	1.06%



問27 あなたは、正規の職員・従業員として働くための就職活動をしていますか

全体（総数 26 件）

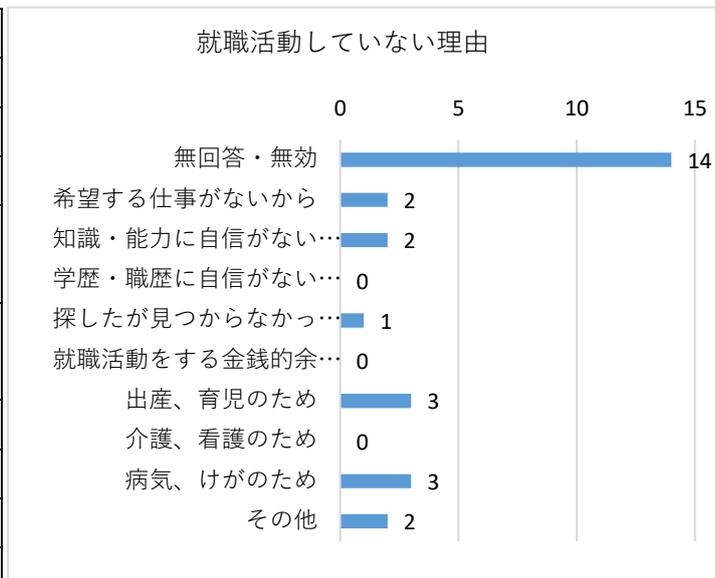
無回答・無効	13	50.00%
はい	3	11.54%
いいえ	10	38.46%



問 2 8 正規の職員・従業員の就労を希望しているが、就職活動をしていない理由はなぜですか

全体（総数 27 件）

無回答・無効	14	51.85%
希望する仕事がないから	2	7.41%
知識・能力に自信がないから	2	7.41%
学歴・職歴に自信がないから	0	0.00%
探したが見つからなかったから	1	3.70%
就職活動をする金銭的余裕がないから	0	0.00%
出産、育児のため	3	11.11%
介護、看護のため	0	0.00%
病気、けがのため	3	11.11%
その他	2	7.41%

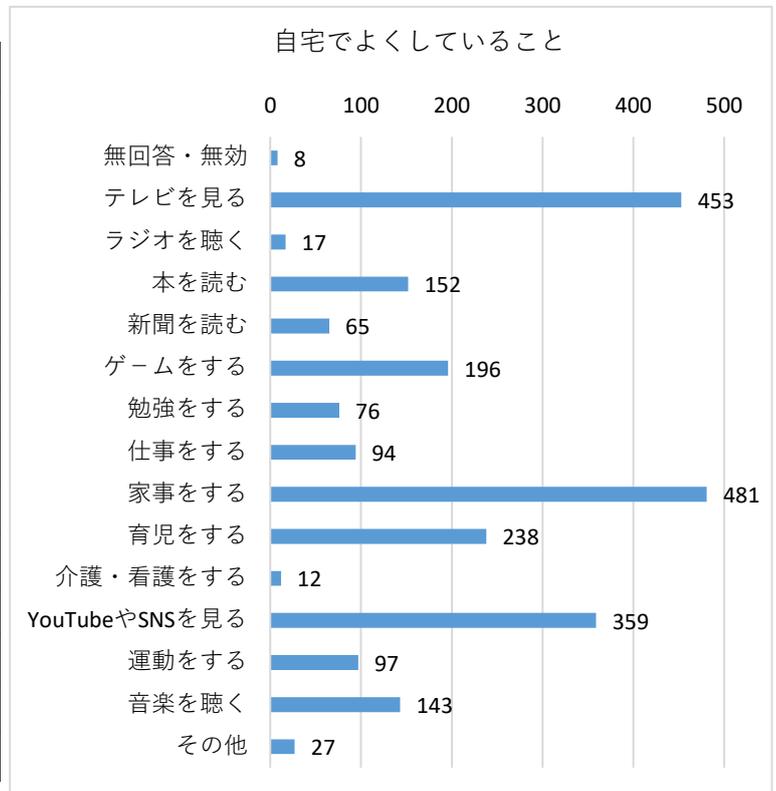


[すべての方を対象とした設問] (問29～49)

問29 あなたが、普段ご自宅にいるときによくしていることは何ですか (複数回答)

全体 (総数 2418 件)

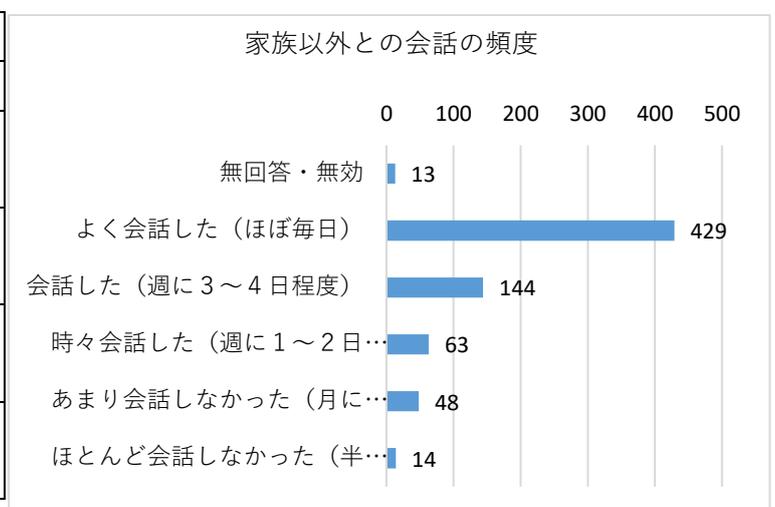
無回答・無効	8	0.33%
テレビを見る	453	18.73%
ラジオを聴く	17	0.70%
本を読む	152	6.29%
新聞を読む	65	2.69%
ゲームをする	196	8.11%
勉強をする	76	3.14%
仕事をする	94	3.89%
家事をする	481	19.89%
育児をする	238	9.84%
介護・看護をする	12	0.50%
YouTube や SNS を見る	359	14.85%
運動をする	97	4.01%
音楽を聴く	143	5.91%
その他	27	1.12%



問30 あなたは最近6ヶ月間に、家族以外の人と会話をしましたか。

全体 (総数 711 件)

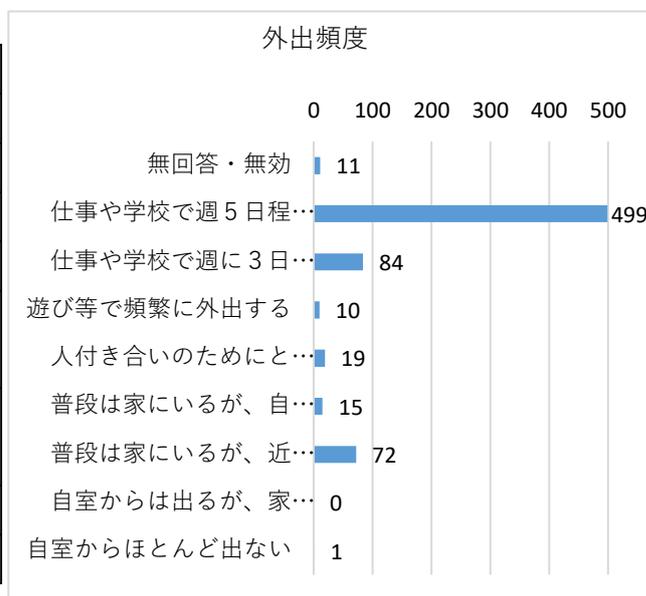
無回答・無効	13	1.83%
よく会話をした (ほぼ毎日)	429	60.34%
会話をした (週に3～4日程度)	144	20.25%
時々会話をした (週に1～2日程度)	63	8.86%
あまり会話しなかった (月に1～3日程度)	48	6.75%
ほとんど会話しなかった (半年に2～3日)	14	1.97%



問3 1 あなたは普段、どのくらい外出しますか

全体（総数 711 件）

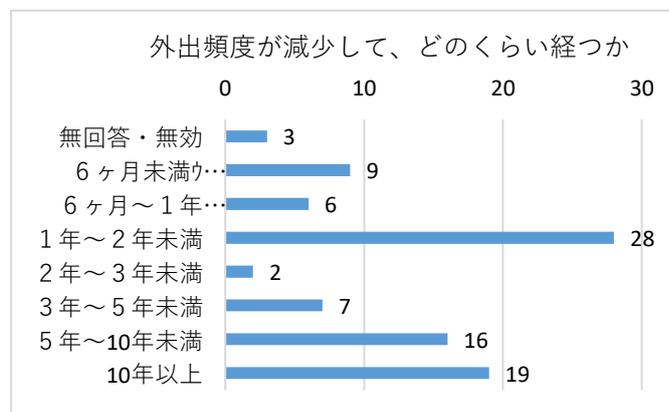
無回答・無効	11	1.55%
仕事や学校で週5日程度は外出する	499	70.18%
仕事や学校で週に3日～4日外出する	84	11.81%
遊び等で頻繁に外出する	10	1.41%
人付き合いのためにときどき外出する	19	2.67%
普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する	15	2.11%
普段は家にいるが、近所のコンビニ、スーパーなどには出かける	72	10.13%
自室からは出るが、家からは出ない	0	0.00%
自室からほとんど出ない	1	0.14%



問3 2 外出の頻度が減少して、どのくらい経ちますか

全体（総数 90 件）

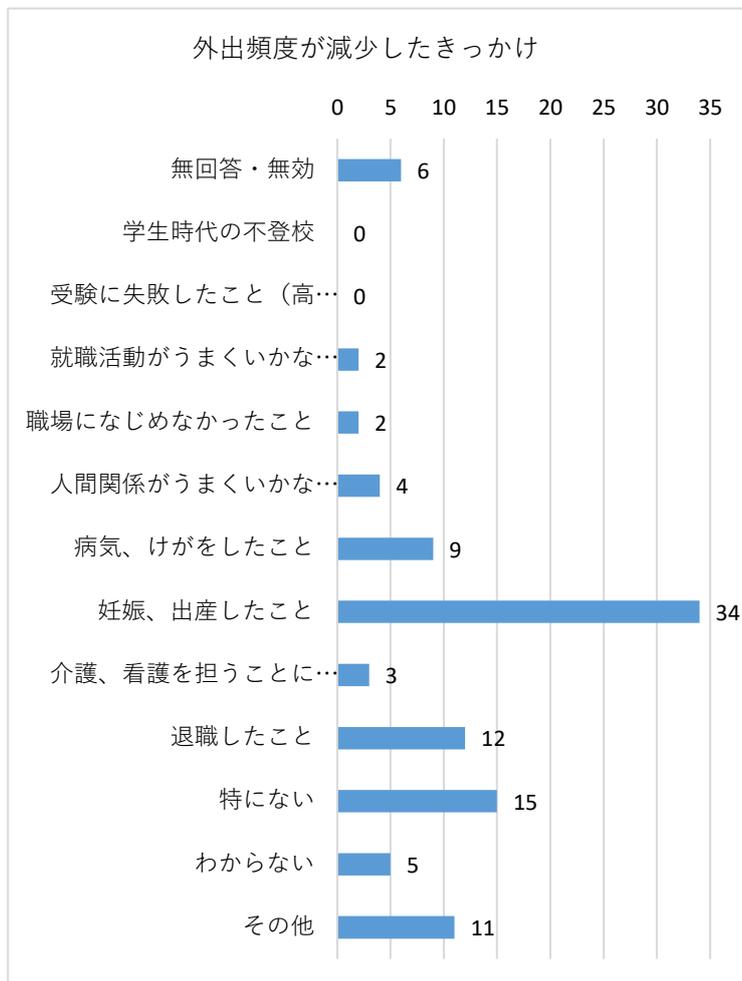
無回答・無効	3	3.33%
6ヶ月未満	9	10.00%
6ヶ月～1年未満	6	6.67%
1年～2年未満	28	31.11%
2年～3年未満	2	2.22%
3年～5年未満	7	7.78%
5年～10年未満	16	17.78%
10年以上	19	21.11%



問33 外出頻度が減少したきっかけは何ですか（複数回答）

全体（総数 103 件）

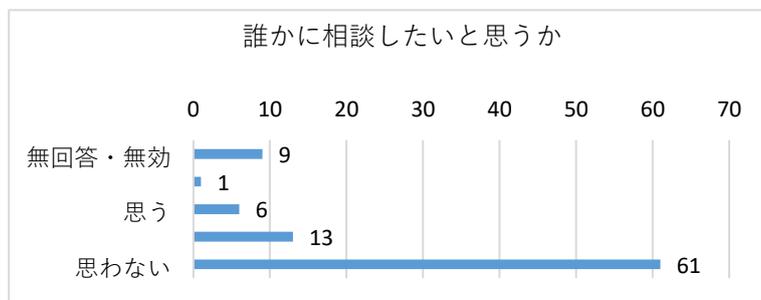
無回答・無効	6	5.83%
学生時代の不登校	0	0.00%
受験に失敗したこと（高校・大学等）	0	0.00%
就職活動がうまくいかなかったこと	2	1.94%
職場になじめなかったこと	2	1.94%
人間関係がうまくいかなかったこと	4	3.88%
病気、けがをしたこと	9	8.74%
妊娠、出産したこと	34	33.01%
介護、看護を担うことになったこと	3	2.91%
退職したこと	12	11.65%
特にない	15	14.56%
わからない	5	4.85%
その他	11	10.68%



問34 問31の状況について、だれか（支援機関含む）に相談したいと思いませんか。

全体（総数 90 件）

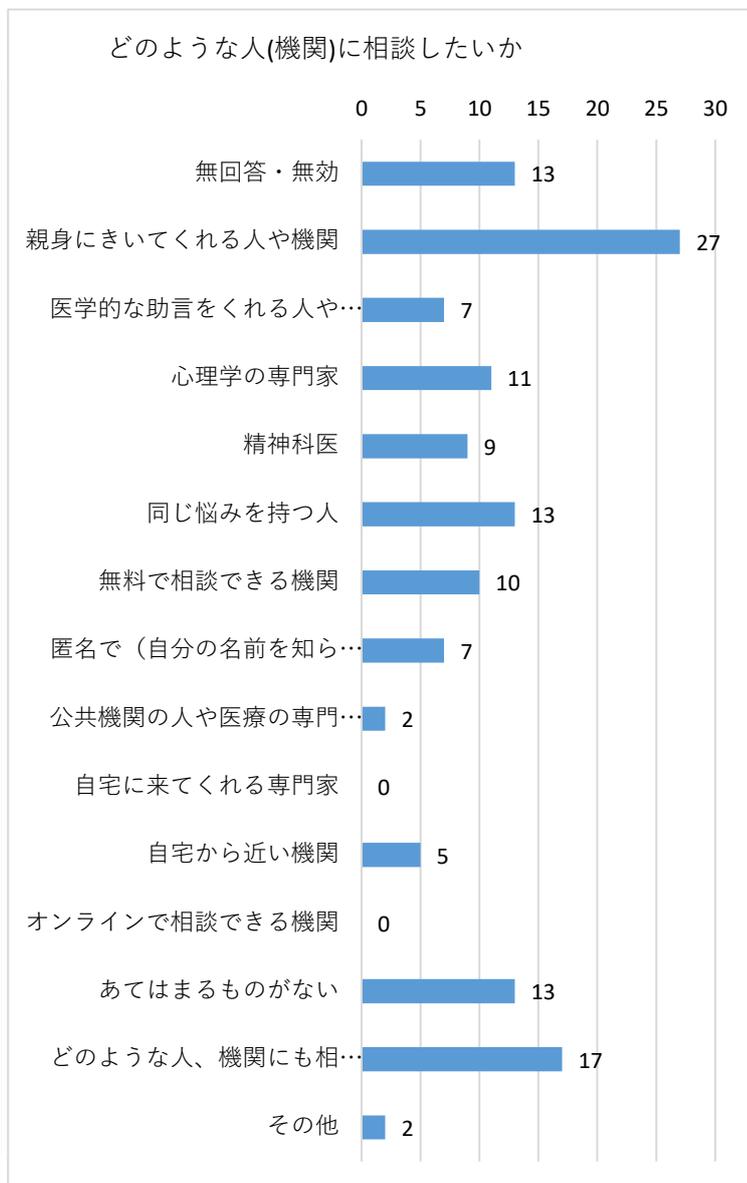
無回答・無効	9	10.00%
非常に思う	1	1.11%
思う	6	6.67%
少し思う	13	14.44%
思わない	61	67.78%



問35 どのような人（支援機関含む）に相談したいと思いますか（複数回答）

全体（総数 136 件）

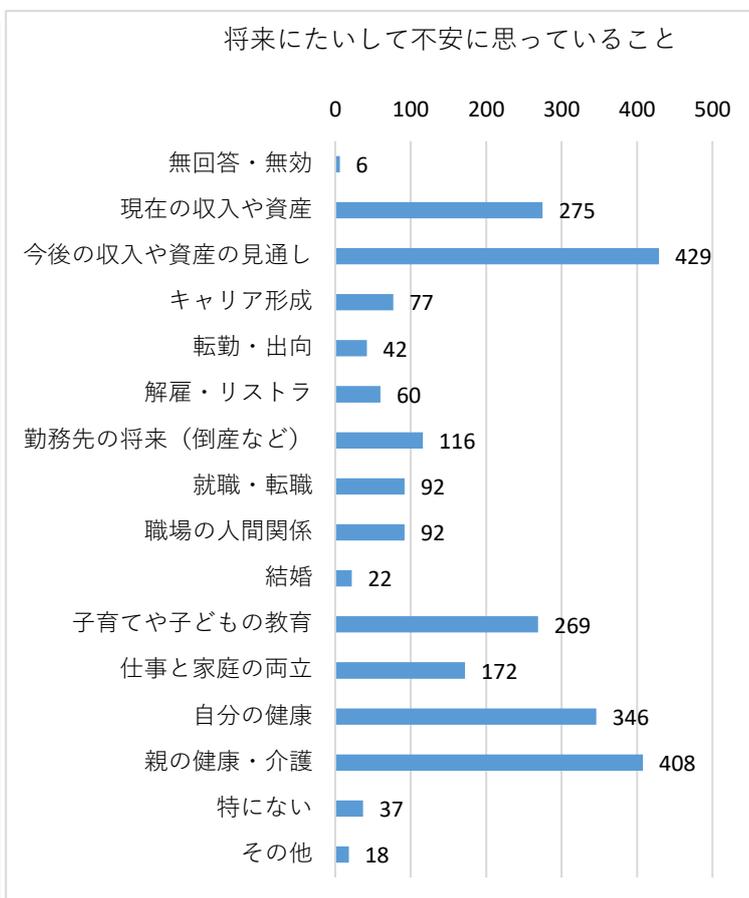
無回答・無効	13	9.56%
親身にきいてくれる人や機関	27	19.85%
医学的な助言をくれる人や機関	7	5.15%
心理学の専門家	11	8.09%
精神科医	9	6.62%
同じ悩みを持つ人	13	9.56%
無料で相談できる機関	10	7.35%
匿名で（自分の名前を知られずに）相談できる機関	7	5.15%
公共機関の人や医療の専門家でなく、民間団体(NPO等)機関	2	1.47%
自宅に来てくれる専門家	0	0.00%
自宅から近い機関	5	3.68%
オンラインで相談できる機関	0	0.00%
あてはまるものがない	13	9.56%
どのような人、機関にも相談したくない	17	12.50%
その他	2	1.47%



問36 あなたが、将来の生活も含めて今不安に思っていることは何ですか（複数回答）

全体（総数 2461 件）

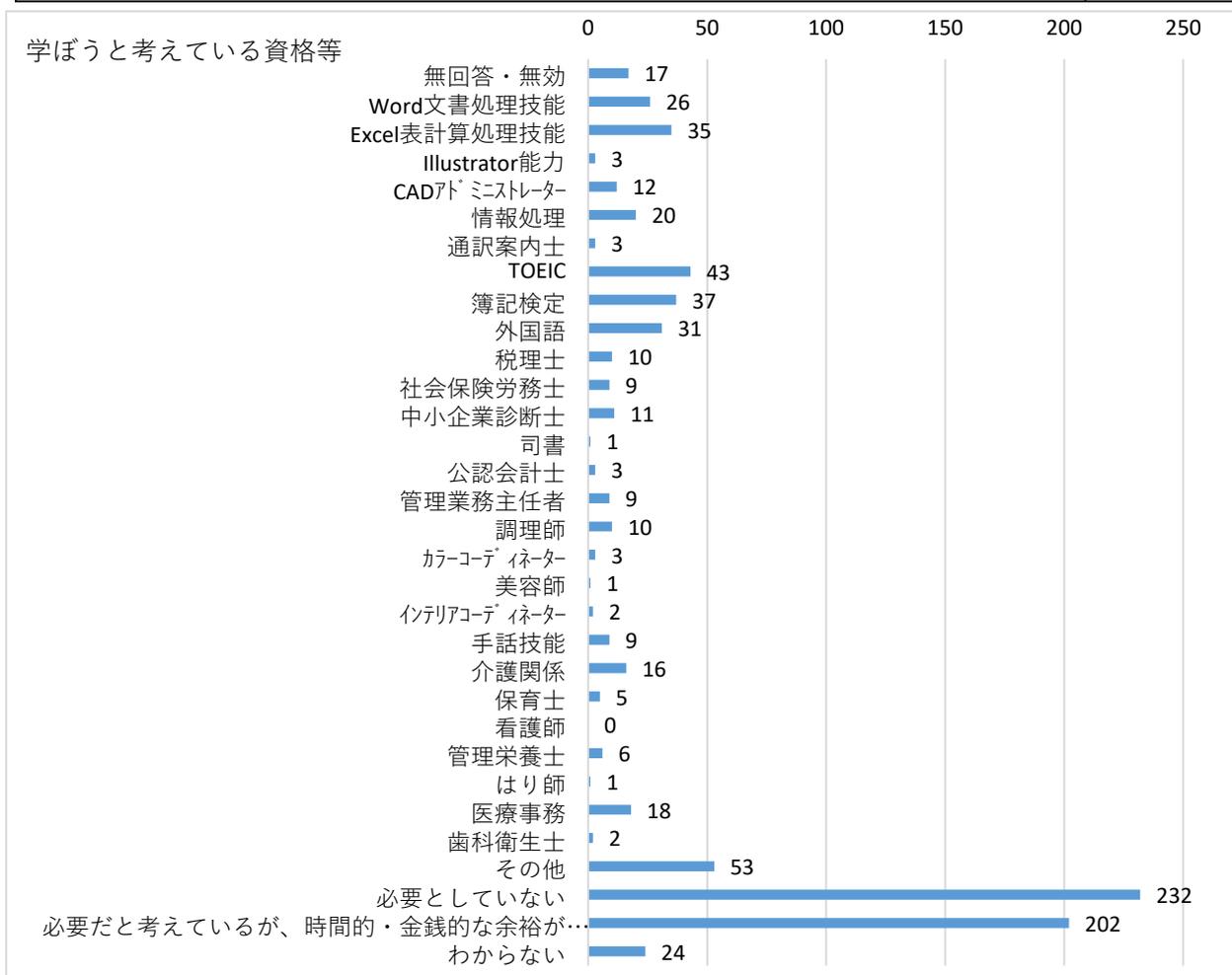
無回答・無効	6	0.24%
現在の収入や資産	275	11.17%
今後の収入や資産の見通し	429	17.43%
キャリア形成	77	3.13%
転勤・出向	42	1.71%
解雇・リストラ	60	2.44%
勤務先の将来（倒産など）	116	4.71%
就職・転職	92	3.74%
職場の人間関係	92	3.74%
結婚	22	0.89%
子育てや子どもの教育	269	10.93%
仕事と家庭の両立	172	6.99%
自分の健康	346	14.06%
親の健康・介護	408	16.58%
特にない	37	1.50%
その他	18	0.73%



問37 あなたが、就職や転職、キャリア形成のため、学ぼうと考えている資格、取得しようと考えている資格等がありますか（複数回答）

全体（総数件）857

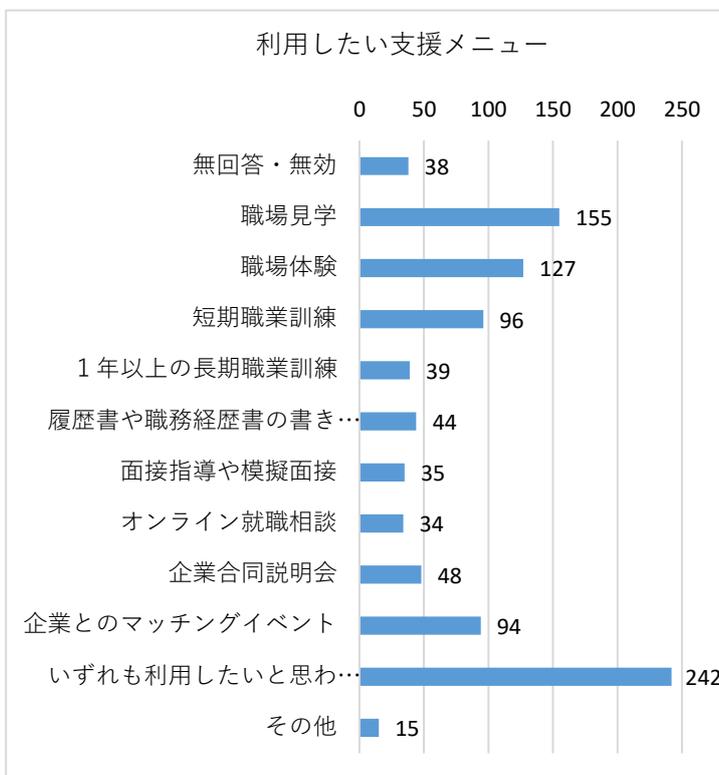
無回答・無効	17	税理士	10	手話技能	9
Word文書処理技能	26	社会保険労務士	9	介護関係	16
Excel表計算処理技能	35	中小企業診断士	11	保育士	5
Illustrator能力	3	司書	1	看護師	0
CADアドミニストレーター	12	公認会計士	3	管理栄養士	6
情報処理	20	管理業務主任者	9	はり師	1
通訳案内士	3	調理師	10	医療事務	18
TOEIC	43	カラーコーディネーター	3	歯科衛生士	2
簿記検定	37	美容師	1	その他	53
外国語	31	インテリアコーディネーター	2		
特になし（必要としていない）					232
特になし（必要だと考えているが、時間的・金銭的な余裕がない）					202
わからない					24



問38 あなたが、就職や転職のために利用したいと思う支援メニューはありますか（複数回答）

全体（総数 967 件）

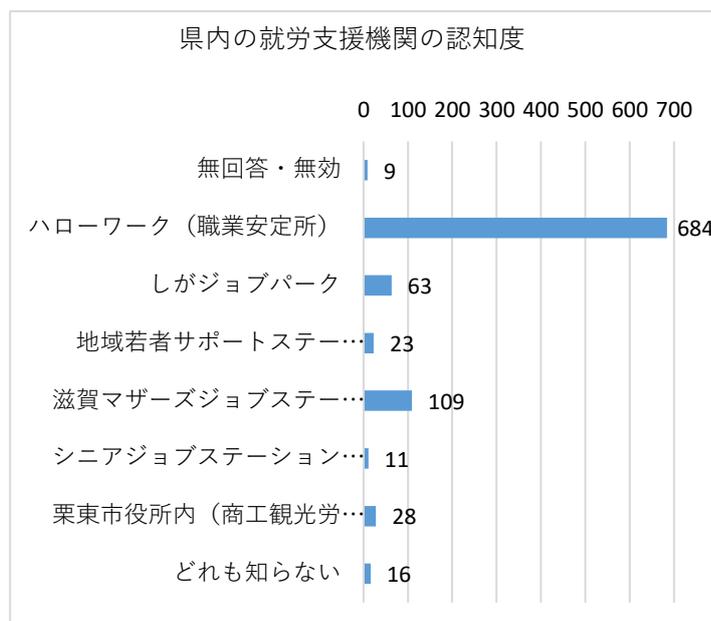
無回答・無効	38	3.93%
職場見学	155	16.03%
職場体験	127	13.13%
短期職業訓練	96	9.93%
1年以上の長期職業訓練	39	4.03%
履歴書や職務経歴書の書き方指導	44	4.55%
面接指導や模擬面接	35	3.62%
オンライン就職相談	34	3.52%
企業合同説明会	48	4.96%
企業とのマッチングイベント	94	9.72%
いずれも利用したいと思わない	242	25.03%
その他	15	1.55%



問39 あなたは、以下の就労支援機関をご存知ですか（複数回答）

全体（総数 943 件）

無回答・無効	9	0.95%
ハローワーク（職業安定所）	684	72.53%
しがジョブパーク	63	6.68%
地域若者サポートステーション	23	2.44%
滋賀マザーズジョブステーション	109	11.56%
シニアジョブステーション滋賀	11	1.17%
栗東市役所内（商工観光労政課他）	28	2.97%
どれも知らない	16	1.70%



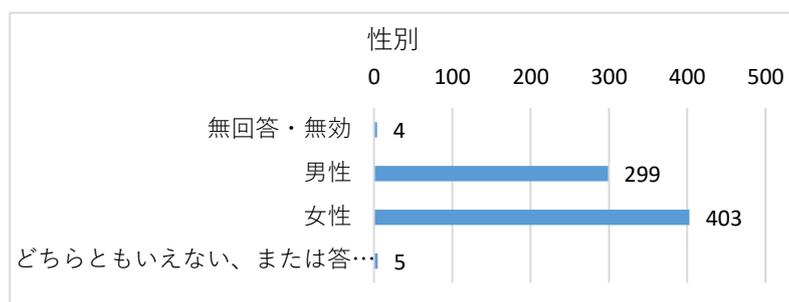
問 4 0 就職氷河期世代の就労支援に関するご意見

43 頁に掲載

問 4 1 性別

全体（総数 711 件）

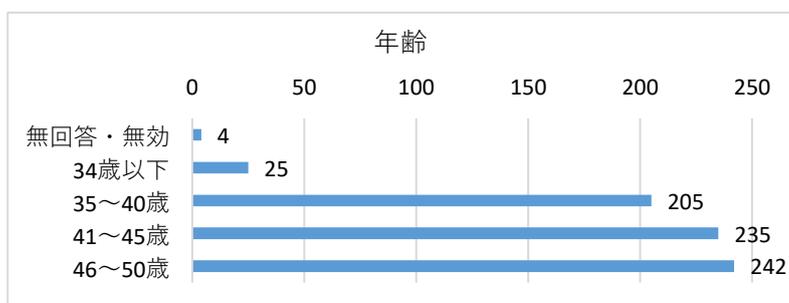
無回答・無効	4	0.56%
男性	299	42.05%
女性	403	56.68%
どちらともいえない、 または答えたくない	5	0.70%



問 4 2 年齢

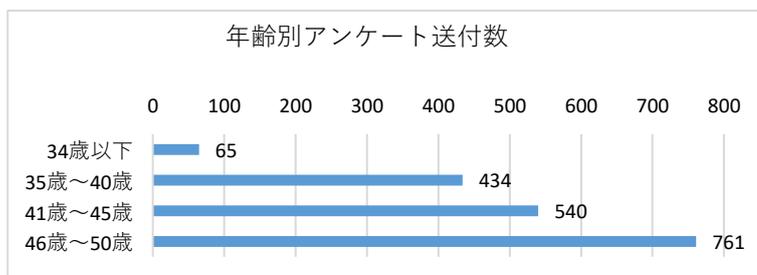
全体（総数 711 件）

無回答・無効	4	0.56%
34 歳以下	25	3.52%
35～40 歳	205	28.83%
41～45 歳	235	33.05%
46～50 歳	242	34.04%



（参考）年齢別アンケート送付数

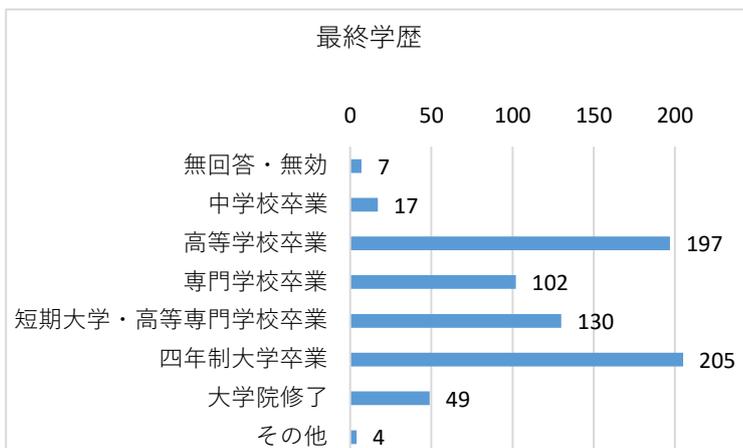
34 歳以下	65	3.61%
35 歳～40 歳	434	24.11%
41 歳～45 歳	540	30.00%
46 歳～50 歳	761	42.28%
計	1800	100%



問 4 3 最終学歴

全体（総数 711 件）

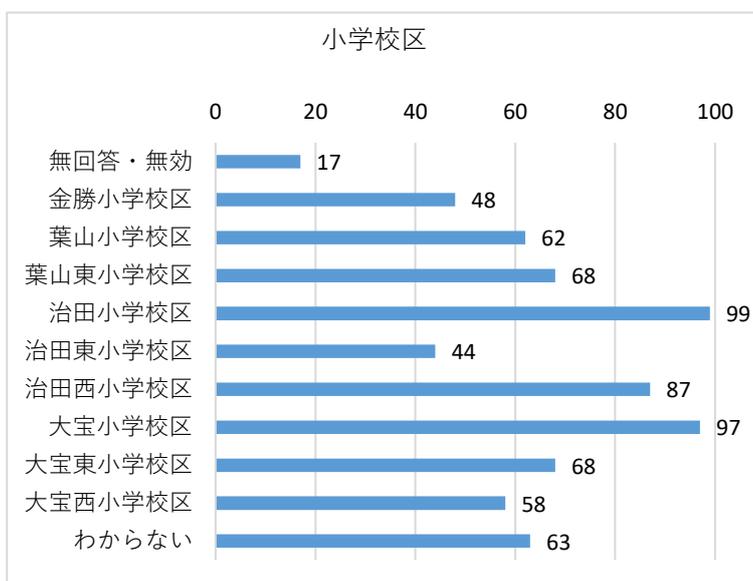
無回答・無効	7	0.98%
中学校卒業	17	2.39%
高等学校卒業	197	27.71%
専門学校卒業	102	14.35%
短期大学・高等専門学校卒業	130	18.28%
四年制大学卒業	205	28.83%
大学院修了	49	6.89%
その他	4	0.56%



問 4 4 住まいの小学校区

全体（総数 711 件）

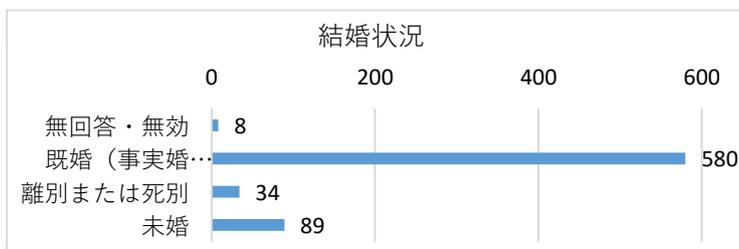
無回答・無効	17	2.39%
金勝小学校区	48	6.75%
葉山小学校区	62	8.72%
葉山東小学校区	68	9.56%
治田小学校区	99	13.92%
治田東小学校区	44	6.19%
治田西小学校区	87	12.24%
大宝小学校区	97	13.64%
大宝東小学校区	68	9.56%
大宝西小学校区	58	8.16%
わからない	63	8.86%



問 4 5 既婚未婚

全体（総数 711 件）

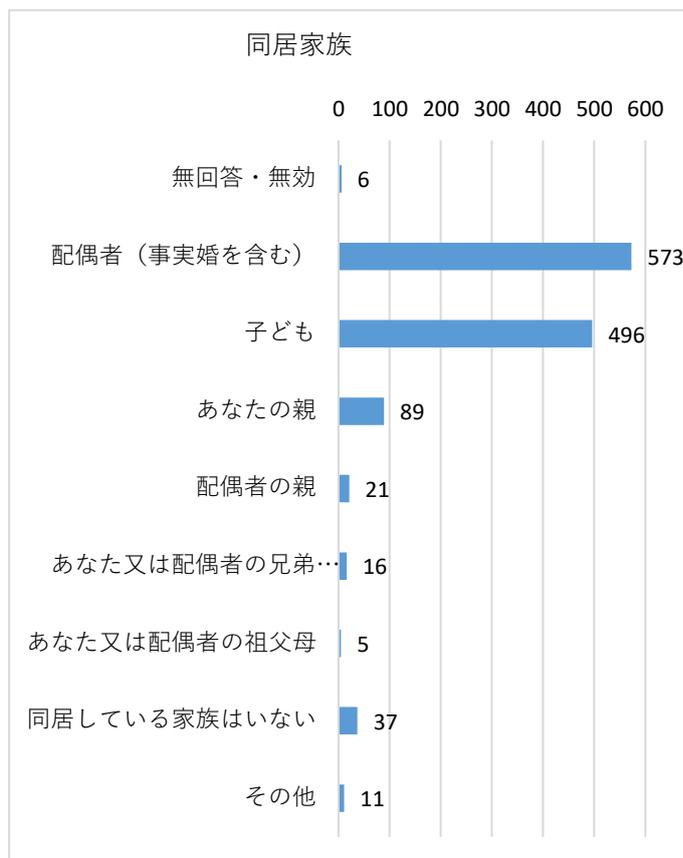
無回答・無効	8	1.13%
既婚（事実婚を含む）	580	81.58%
離別または死別	34	4.78%
未婚	89	12.52%



問 4 6 同居家族（複数回答）

全体（総数 1254 件）

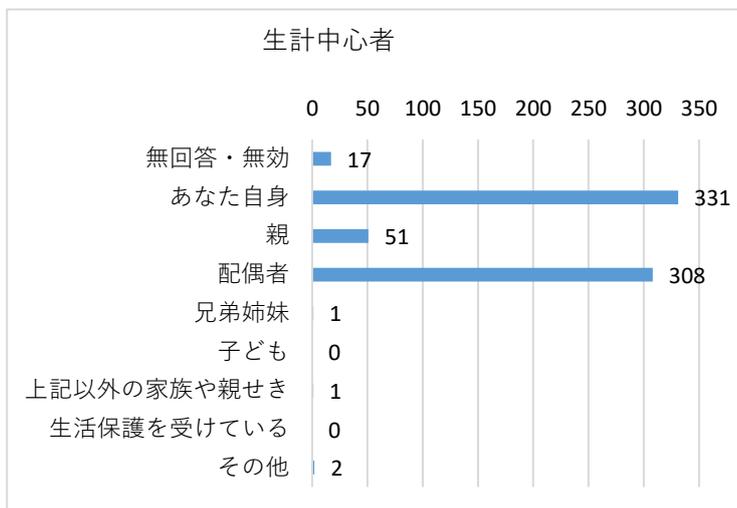
無回答・無効	6	0.48%
配偶者（事実婚を含む）	573	45.69%
子ども	496	39.55%
内訳		
(未就学児)	(154)	31.05%
(小学生)	(227)	147.40%
(中学生)	(136)	59.91%
(高校生以上の学生)	(158)	116.18%
(その他)	(33)	20.89%
あなたの親	89	7.10%
配偶者の親	21	1.67%
あなた又は配偶者の兄弟姉妹	16	1.28%
あなた又は配偶者の祖父母	5	0.40%
同居している家族はいない	37	2.95%
その他	11	0.88%



問47 生計中心者

全体（総数 711 件）

無回答・無効	17	2.39%
あなた自身	331	46.55%
親	51	7.17%
配偶者	308	43.32%
兄弟姉妹	1	0.14%
子ども	0	0.00%
上記以外の家族や親せき	1	0.14%
生活保護を受けている	0	0.00%
その他	2	0.28%



問48 介護

全体（総数 711 件）

無回答・無効	4	0.56%
している	46	6.47%
していない	661	92.97%



問49 個別相談の希望

全体（総数 711 件）

希望する	26	3.66%
希望しない	685	96.34%



問40 就職氷河期世代の就労支援に関するご意見

1	「就職氷河期世代」はマイナスのイメージが強いので、表現を変えた方が良い。「あなたはついてない人です」と繰り返し言われている気がする。
2	15年前に対策していただけたら、人生設計も変わったのですが、氷河期期間に努力をしていた人が救われる施策をしてほしい。キャリアの面では打たれ強さも能力もある人が多いと思います。また特に年齢が上がるにしたがって、プライドや今までの苦労があって、なかなか素直にできなかったり、心理的にいろいろあるので、心理的なサポートがあればやる気の方向などが整うのではと思います。
3	今更、という感じ。30代の方が結婚も子供を持つこともできずにいたら、我々の老後はだれが支えてくれるのか？誰も支えてくれそうにないのに、取るものだけは必要以上に取られ、資産形成もできない。今後が不安。
4	今更遅い。10年前に行うべき。
5	今さら感がある。
6	今更支援と言われても遅すぎる
7	今更の就職支援ではすでに遅すぎたと思います。希望者への支援金等、社会、組織への負担の少ない物が妥当かと思います。
8	遅すぎる。
9	現在46～50歳の方々が30代のころに十分な支援を受けられる状況であったらと思います。時期が遅すぎるのではと感じています。今後、更に充実していくことを期待しています。
10	この年齢になってからでは、いろいろな理由を考えると遅すぎます。
11	今後支援されても
12	せめてあと10年早く支援を始めてあげてほしかったと思う。一時的ではなく、継続的に住居の無い人への対応や貧困問題も含めて解決に向けて取り組みを期待します。
13	対応が遅いです。もっと早くしないといけないことだと思う。
14	着手が遅い。情報の発信をお願いしたい。
15	もっと前から取り組んでほしかった。私は結婚し、環境が変わってしまったが、結婚前にこのような取り組みがあれば、利用したかった。いまさらという感じがします。
16	夢も希望もなく時が経過したこの時に支援についてというのは、何か良い話でも逆にあるのですか？
17	何を今さらと思う。年齢とコロナ禍で厳しいのにより強力なサポートをお願い
18	年齢が若い時(20代～30代)に支援してもらいたかった。若い時に臨時職員をつなげていき、一番時間の余裕のある頃に充実した仕事に就けず、生まれた時期が悪いと言われ自分の実力が無いのもあるが納得いかない気持ちは今もある。

19	現在まで培った経験をもとに、氷河期世代の転職支援をしていただければうれしい。
20	こういった支援は継続してください。支援はありがたいです。
21	素晴らしい取り組み応援しております。ぜひよろしくをお願いします。
22	必要なことだと思います。取組に感謝します。
23	氷河期世代に限らず、全世代の就労支援を積極的に推進してください。
24	支援はありがたいが自分でできる範囲で行います。時代のせいにはしているのは言い訳だと思うので。
25	就職氷河期世代に就職活動をしたからといって、他世代に対して羨む気持ちもないし、特別に支援してほしいという気持ちもない。努力や選択の幅を広げる柔軟性によって他世代と変わらず人並みに暮らしていける方法はあると思う。ロスジェネ世代ではあるが、特別な支援の対象となることにもピンとこないし、特別扱いしてほしいしなかったり、むしろ厳しい時代を自分なりに生きてきた自負もある。
26	就職氷河期とはいえ、探せば必ず何かしら働く場所はありました。働こうという意欲が必要なだけで、働く場がないというのは、ただの言い訳だと思います。
27	職種を選びすぎると仕事はありませんが、収入のためと思うと仕事はたくさんあります
28	努力すれば職には就けると思います。甘えです。
29	効果があるのか不明。企業が40代以上の人材が欲しいわけがない。
30	氷河期のあおりは直に受けたが、切り替えたため大丈夫でした。切り替えが大事。
31	長時間労働が常態化している。休日出勤までシフトに入っている。働き続けることに不安を感じている。働きやすくなり、続けたいと思える環境を作してほしい。
32	同一労働同一賃金が施行されているにも関わらず、企業はパート扱いのまま、女性を正社員に登用もせず、逃げ道を作っているのが現状です。労基と連携をとって実態を調べていただきたいです。
33	就労支援よりも。全体的な賃金向上が必要かと思います。低賃金による離職、ブラック化が就労難の根本であり、幸福度の引き上げにもつながると考える。
34	コロナまでは小さな不満や不安があっても、あまり気になりませんでした。コロナの今、会社の形態は変わるし、縮小はされるしで、とても不安になりました。
35	コロナ禍の影響もありますが、受け入れ側も社員ではなく、派遣を募集している。派遣だと常に不安がある。企業側が正社員を募集してほしい。
36	いったん退職したら、正規の仕事を見つけることが難しい。自己都合であったが、正規で働ける場、機会があればよい。
37	今現在、派遣社員として働いているが、転職するため辞めたとして、その就職先が合わず、退職となった場合の不安が先に来るので、怖いと思うことがよくあります。(現在の職場は長く、雰囲気も良いので余計に)

38	自分の中では就職氷河期に比較的勝ち組で就職できたと思っています。(20社受けて1社のみ採用ですが) 出産のため退職し、子育ても落ち着いてきた今はパートですが、なかなか正規は難しい。一回道をそれると二度とは戻れない気がします。
39	年齢で派遣や正社員で断られる事があり、職を探すのが嫌になることが多い。
40	正社員等、安定的な職業からの募集は、ほとんど新卒がメインだと感じます。中途採用、子持ちの女性の採用は難しいと実感しています。女性は保険関係の需要はあると思いますが、安定しているとは言い難いと思います。
41	世代間格差は本人の努力だけではどうにもならない面があります。個人への支援はもちろん対象世代全体への支援も必要に思います。
42	子どもたちが技能や技術を取得するための支援(指導)を高等学校教育から取り入れて頂きたいです。家庭(保護者のみ)の働きかけでは限界があるため。
43	50歳以上を望んでいる企業を一覧で紹介して欲しい。
44	転職の情報を知りたい。
45	資格取得しているため自分自身で困ったことはないが、学童や子育てにまつわる支援が充実していないと就労の幅は広がらないのではないかと思う。
46	家族を養うため、収入が少ないので補助金が欲しいです。コロナの影響で収入が半分になって生活が厳しいです。
47	給付金
48	給料カットされた分を補填してほしい。就職した段階で人生の稼ぐお金がマイナスになっている。
49	収入について将来に不安を感じながら、転職する(探す)余裕がない。どんな仕事か人手を探していて、どんな資格が必要で(働きながら取れるといい)など、わかりやすいといい。
50	具体的にどのような支援を考えておられるのか? 実際本当に現実的なものなのか?
51	支援とはどこまでの支援なのですか。
52	資格をとれたり、資格を取るまでのセミナーがあればいいと思う(特に国家資格)。仕事をしながらの職業訓練制度など。資格を取りたいけれど、収入もなければ生活できないため。
53	資格をもっている為、就職に困った事はありません。子供達には「なりたい職業」があれば別ですが職に困らない様に「資格を必要とする」職業をすすめています。
54	転職意思の有無に関係なく、資格取得を望む人は多いと思うが、費用や時間の都合であきらめざるを得ない。これらの支援が充実すると、働く意欲へもつながるのではないか。
55	僕らの世代が現実的に働ける業種の紹介および資格取得の支援
56	資格取得のために、仕事、家事、育児しながら大学で勉強をしているが、学費の援助が欲しい。また、仕事、育児で勉強の時間がなかなか取れず負担がとても大きいので、男性も家事をするのが当たり前の世の中を作ってほしい。
57	トライアル雇用制度等のくわしい説明があればいいです。広報誌等に就職支援のインターネットサ

	イトの掲載。
58	思うようなキャリアを形成できなかった人へ別の道を積極的に選択できるような他の世代がうらやむような魅力的なチャンスを与えてほしい
59	社会全体が失敗を受け入れることが大切だと思う。 引きこもりの人が働いてみたいと思える職場づくりが必要
60	個人向けの起業等の支援があるとよい
61	非正規でも子育てができるように、そういった部分への補助を充実させる。特に子供が作れるように、学費0などの支援をやってほしい
62	支援すべき方に対して行政が積極的に情報を提供すべきだと思います。あまり現実的でない仕組みだけ作り、「あとは支援してほしい人が来るだけ（来ない場合は来ない人が悪い）」というような典型的な行政主観の取組はお金の無駄になると思います。箱だけつくれば評価されるのではなく、支援された人がどれだけ自立できたかで評価されるのが当たり前です。そう思わなければ感覚ずれていると思います。このアンケート（費用）でどこまで効果をだせたか、どこかで公表されますか。
63	支援するなら、1～100まで支援しないと就職しないのでは？また、職も多様化して楽に働ける場所も必要では？例えば、週5回勤務は無理だが、週3回で正社員になれる等。支援機関も上記の数あるとは知らなかったため、宣伝不足では？
64	市が、積極的に新規採用・中途採用している企業に支援しているのか。また、支援していないのであればすべき。
65	自治体が就職氷河期の正規雇用の政権を実施して話題になっていた。栗東市も実施してほしい。
66	企業が氷河期世代を採用するための行政支援（補助金）
67	就職氷河期世代より上の公務員で役に立っていない人を解雇又は減給し、その費用で『優秀な就職氷河期世代の人』を公的な職に採用する。
68	私は県立の学校で働いていますが、公的機関の正職員の採用が若い人に限られているのが残念です。50歳でもあと15年は働けるので、学校や市役所でも幅広く採用した方が即戦力にもなると思います。
69	再雇用等で高齢者が厚遇されていて、氷河期世代の雇用機会が失われているように思う。特に公務員系の組織はその傾向が強いと思う。若者の雇用や育成をしないと衰退していくと思う
70	企業に対して本当の就労実態。入社して形態が違ふことがある。離職率の高い企業に対して調査・指導。
71	アルバイトやパートの負担を軽くし、雇用の機会を増やす。その中から正社員の枠へ促す。
72	多くの職場で、多様な人を受け入れたり、ハラスメントやいじめ対策を講じたりするなど、働きやすい職場づくりがされることを願います。
73	雇用側からすれば、出来るだけ若い方を雇いたいのが本音だと思う。特に経験のない40歳以上の人は採用を得るのは難しいでしょう。生活保護等で現金を支給する方が現実的かと思います。あと日本は雇用の流動性が無さすぎる。

74	新卒の人たちと就職できない理由が違うと思う。具体性のある就職体験などができれいと思うが、コロナや不景気の影響で、そこまで体力のある企業が少ないことも懸念材料。
75	正規雇用に向けて長期的な支援。企業の積極的な働きかけ（新卒や若い世代とは別枠で。全体の採用人数が少なければ意味がない。）助成金の活用検討。書類では判断しにくい人物面、働きぶりをアピールできる機会づくり。
76	大学卒業時に正社員雇用の機会を全国的に絞り、その後景気が良くなったのに新卒採用を重視し続けている企業が多いことが問題。正社員でないと一定以上の福利厚生や就労条件に恵まれず、長期間同じ会社で就労できないので経験が積めず、安定した雇用に就けないということだと思うが、単に就労先を見つけてあっせんするだけでは足りない。各自治体がバラバラに対策をするのではなく、広く長期に渡って、就労と個人の経験値を育てるような予算が組めるようにしないと堂々めぐり。
77	自分は大学卒業時に就職氷河期ながら、運良く希望職に就職できたが、同様に高度な知識を習得していた同級生（女子）は、大卒であっても非常に就職に苦労していた。就職は社会状況に大きく左右されることから、新卒以外でも、就職しやすい環境になれば良いと思う。
78	学校卒業時、求人は消費者金融の窓口ばかりだったなあとか、学校推薦でも不採用など多くあったなあと思い出しました。
79	最初に就いた仕事を妊娠で退職したので、当時は雇用保険・失業保険を使うことができず執行してつらかったです。
80	新卒の求人によいものが無く仕方なく就職し、10年間を無駄にした。
81	大学に進学せず、高卒で公務員になったため私個人としては特にありませんが、世代としては割を食った世代だと思います。
82	当方は大学の前期博士課程修了で就職。当時は、前期博士課程修了者でも就職が厳しい時代だった。救いはネット環境が整い、あっせんサイトが増えていたこと。
83	年齢制限のある仕事が多く就職活動が困難でした。大卒以上という資格も多く残っています。私たち世代はほぼ短大卒なので厳しいです。
84	氷河期世代です。正職で探してなかったのが、契約社員や派遣などで働きながらお金を貯め、自分が取得できそうな資格をとりました。今の若い子にいえませんが、時間はあるのに、うまく活用できていない（自身のスキルアップなどの努力をしていない）子が多いと思います。
85	氷河期といえども、それなりのスキルを持ち、力のある人は就職できているように思います。私は今パートですが、女性なので育児を中心にすえないと家がまわっていかないので正社員で働く等フルタイムで働く等が出来ないことは仕方ないと諦めています。諦めようと、自分自身に言い聞かせています。
86	私が就職の際は、バブルがはじけて氷河期の真っ最中で内定が取れてもその企業が倒産したり、後から人が余っているとの理由で内定取り消しという話が日常茶飯事でした。私はたまたま学校の推薦枠があったので、入社できました。しかし就きたかった仕事ではなく、当時一番やりたくなかった職種でしたが、就職できただけ幸運と言われてました。しかしながら現在に至るまで、就職した会社は不景気で合併集約により3度社名が変わって、転勤を3度しました。地元で就職したのに今

	は滋賀県に住む羽目になっています。つぶれた会社の社員ということでひどく待遇も悪いので、正規ではありますが、失業しなかったぐらいしかメリットが思い浮かびません。
87	希望している就職先にはどこにも就社できずつらかった。自分では大学から学力上位で補助金もらって頑張ったが最終面接まで進んでもすべてダメだった。(後に女子は採用0と聞いたりした。)
88	私は卒業後一度正社員に就いたが労で追う条件がよくなかった。以後派遣登録し、様々な職種を経験したが正社員を募集しているところはほとんどがブラック企業、または女性蔑視が強い社風だった。社会経験が少なく自信もない人が良いように使われないよう人を大事に育てる企業を紹介してほしいと思う。
89	私は将来も仕事を安定にお勤めをしたいです。最近、コロナ禍で仕事が全然ないので今の仕事で長期で勤務したいです。
90	ブラック企業とよく言われるが、実際グレーな会社が多い。それを取り締ることもなく普通の会社を演じているだけで、そんな職場長続きしないし、それを労働者側の責にしないで欲しい。
91	実際今ハローワークに通っていますが、子育てしながらの就職はなかなか難しいのだと実感しています。今働いている所は環境が悪く転職したいのですがなかなか見つかりません。金銭面で辞める事は出来ません。
92	氷河期世代の求職者は求職意欲が薄く、企業も採用に結び付きにくい、多くの方がその傾向にあると感じる。
93	今まで意識していなかっただけでいろいろな支援があることを知りました。
94	失職してしまっても相談に乗っていただけると思うと安心できます。
95	デスクワークに拘らずブルーワーカーとしてキャリアを形成したことが幸いした。
96	就職が決まるまでの支援が少なすぎます。
97	就職氷河期世代ということも去年に初めて知った
98	無作為に選んでいただいたのですが、あまり考えたことがない内容でしたので正直、よくわかりません。すみません。
99	厳しい時代を生きてきたからこそ様々な社会経験を積み、柔軟でまじめな人が多い世代だと思います。だからこそ、しっかりした支援、チャンスを与えていただければ、社会貢献度の高い世代だと思います。
100	現在妊娠中のため就職活動はできないが、落ち着いたら支援をお願いしたいと思う。
101	現在病気で働けないが、医師の許可が出たら働きたい気持ちあり。

Ⅲ 支援対象者別の調査結果

支援対象者の考え方

支援を要すると考えられる方を整理し、集計・分析を行った。

なお、支援を要すると考えられる方（以下、支援対象者）とは、①無業状態にある方「無業者」、②不本意ながら非正規の職員・従業員として働いている方「不本意非正規」、③正規の職員・従業員でありながら年収が200万円以下である方「低収入正規職員」、④「潜在的な要支援者：非正規」、⑤「潜在的な要支援者：専業主婦」とし、本調査における各支援対象者の定義を以下の通りとした。

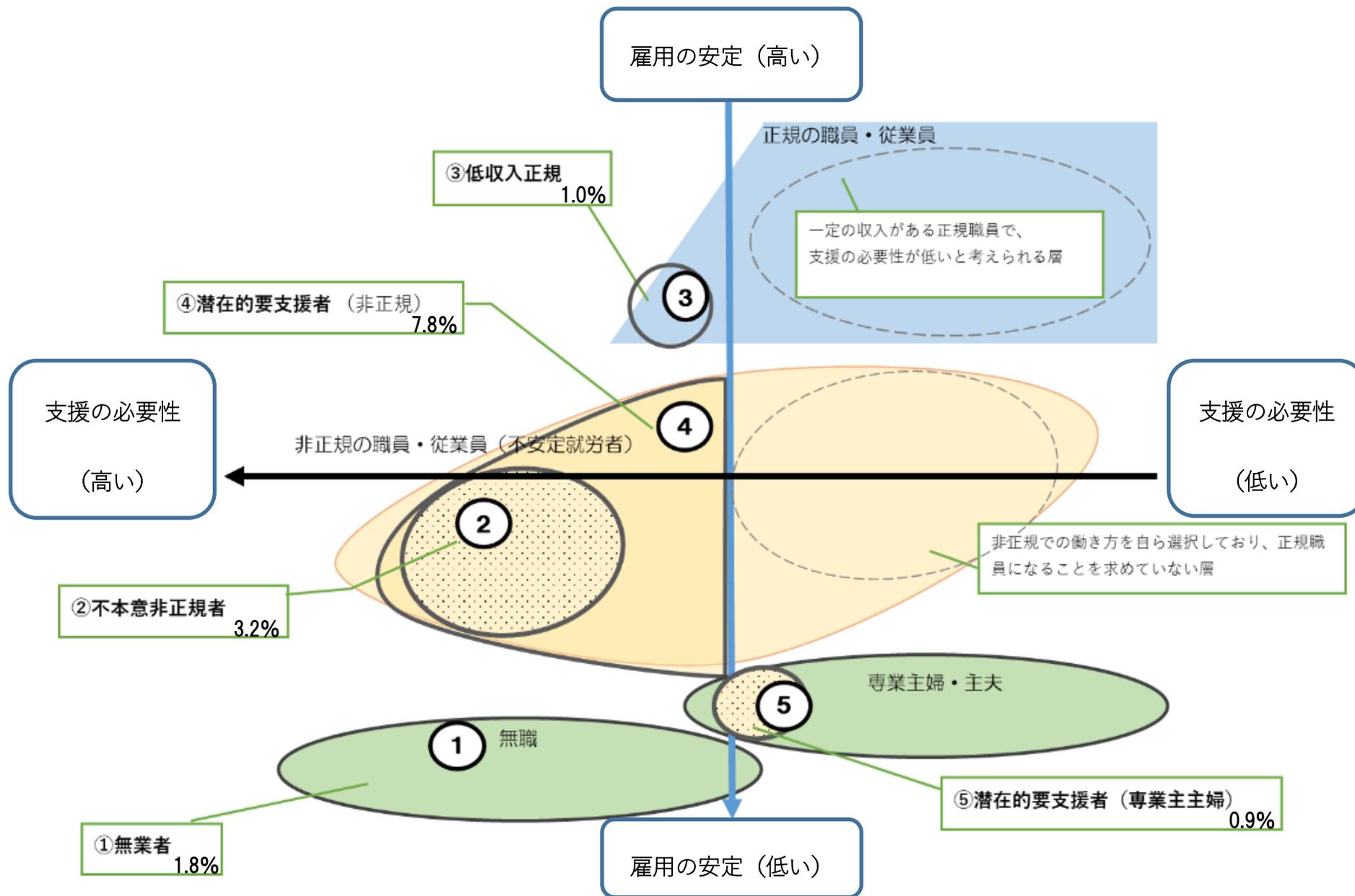
名称	定義	該当者割合	推定人数※
①「無業者」	現在、働いておらず、現在の職業を「無職」と回答した方。	1.8% (13名)	336名
②「不本意非正規」	現在の職業が「非正規の職員・従業員」であり、現在の仕事に就いた理由を「正規の職員・従業員の仕事につけなかった」と回答し、正規の職員・従業員での就労を希望している方。もしくは、現在の職業が「非正規の職員・従業員」であり、「正規の職員になるための活動をしている」と回答した方。	3.2% (23名)	598名
③「低収入正規職員」	正規の職員・従業員でありながら、年収200万円以下の方。	1.0% (7名)	187名
④「潜在的な要支援者：非正規」	非正規の職員・従業員であり、条件が整えば「正規の職員として働きたい」を回答した方。但し、②「不本意非正規」を除く。	7.8% (56名)	1459名
⑤「潜在的な要支援者：専業主婦」	専業主婦・専業主夫であり、条件が整えば「正規の職員として働きたい」と回答した方。	0.9% (6名)	168名

※8月1日時点の対象年齢人口18,704名にそれぞれの該当者割合を掛けて算出。

支援対象者別 就労相談希望者

支援対象①～⑤のうち、問49において就労相談を希望されたのは8名。(全体では26名)

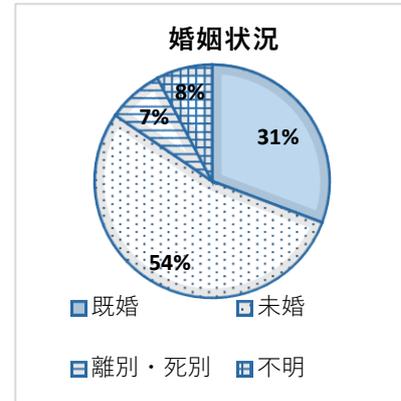
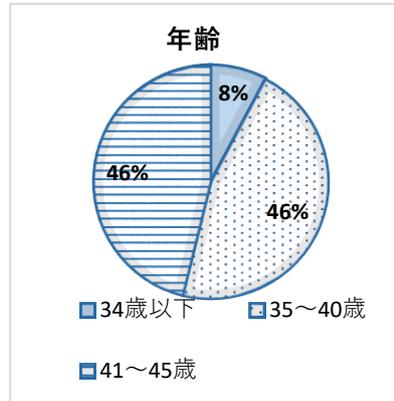
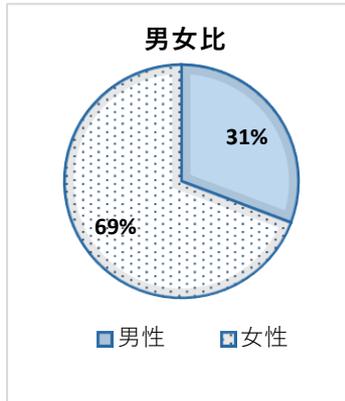
支援対象者	相談希望人数
①「無業者」	1名
②「不本意非正規」	3名
③「低収入正規職員」	1名
④「潜在的な要支援者：非正規」	3名
⑤「潜在的な要支援者：専業主婦」	0名



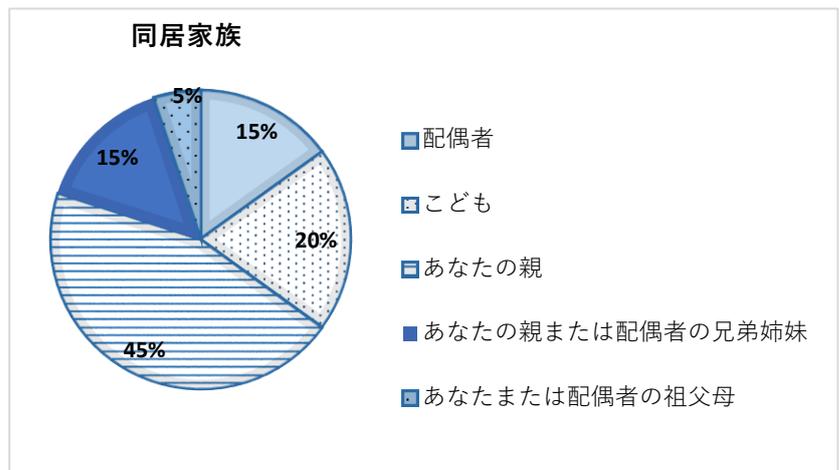
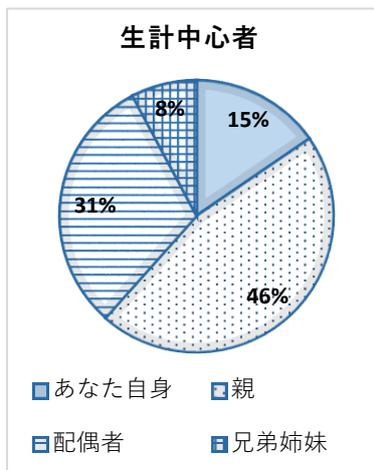
①【無業者】 無業である方の集計・分析

「無職」は13名。「全体」の1.8%、「働いていない人」の14%。

要旨



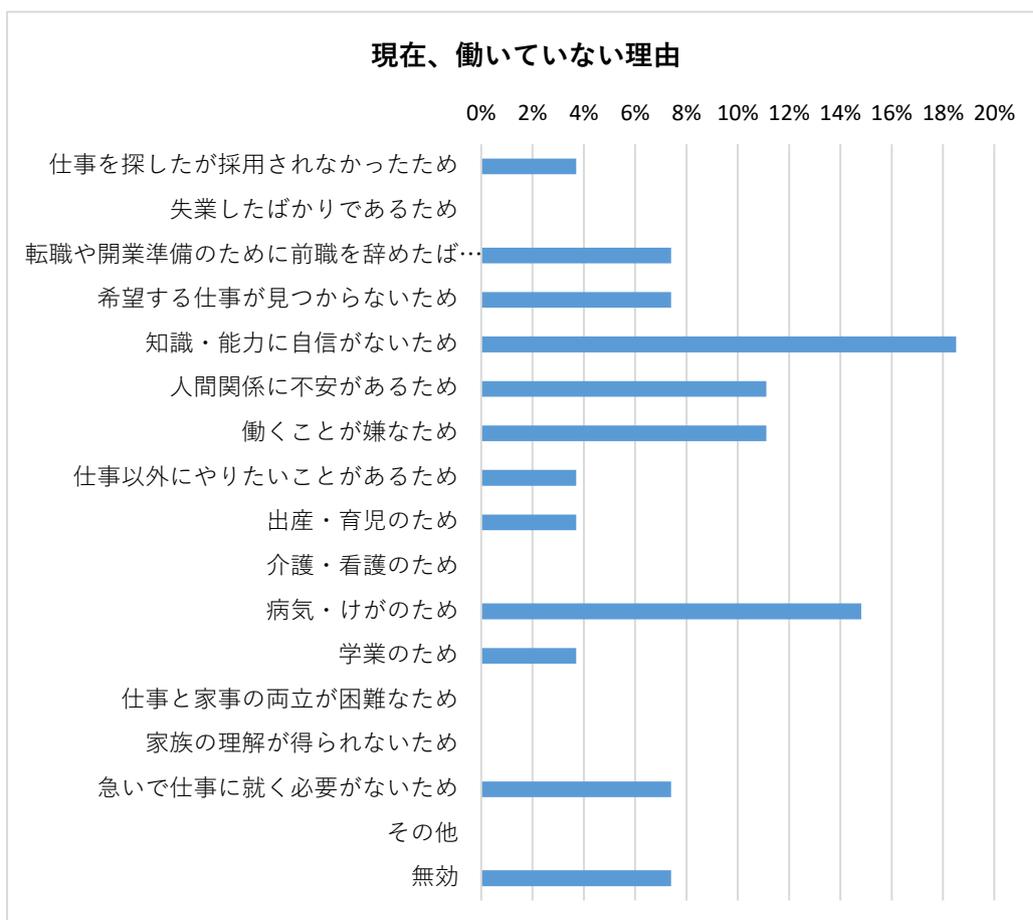
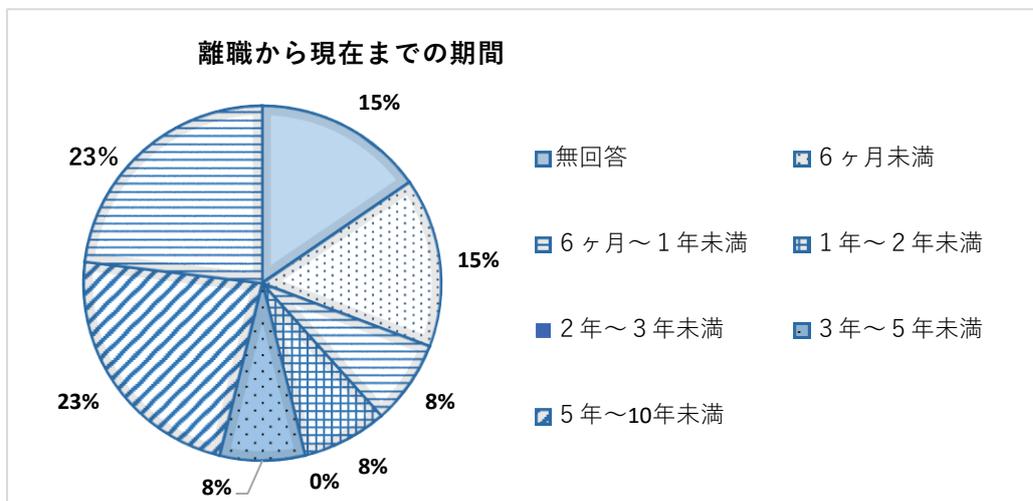
「全体」と比較すると、「未婚」の割合が高い。



「全体」と比較すると、「親」と同居している割合が高い。

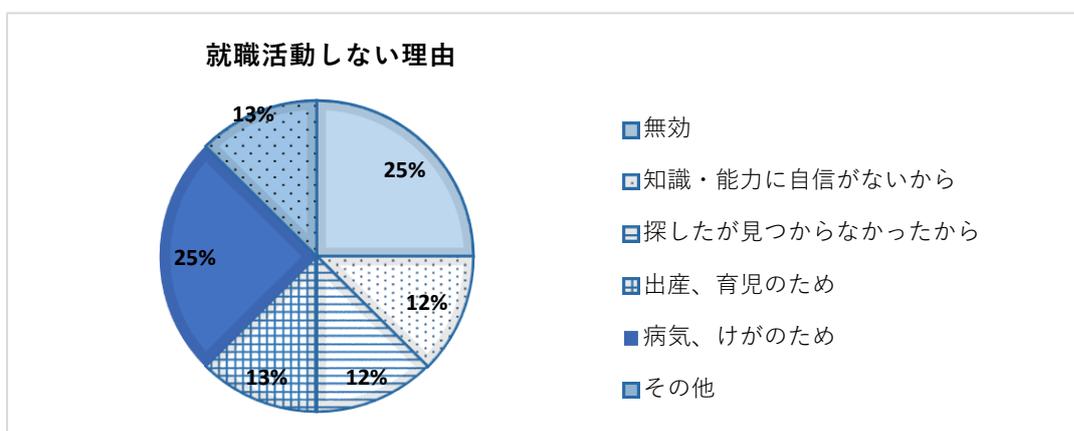
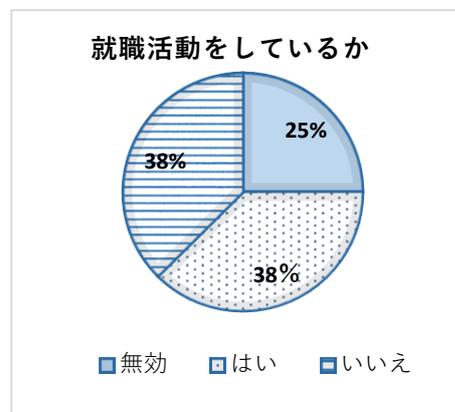
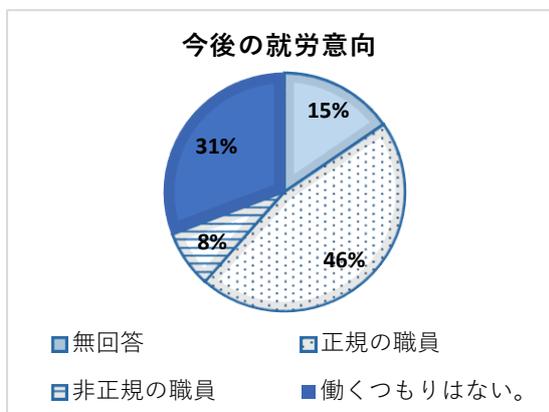
「全体」と比較すると、生計中心者が「親」である割合が高い。

働いていない現状について



現在働いていない理由に、特化した傾向はみられない

就労意向

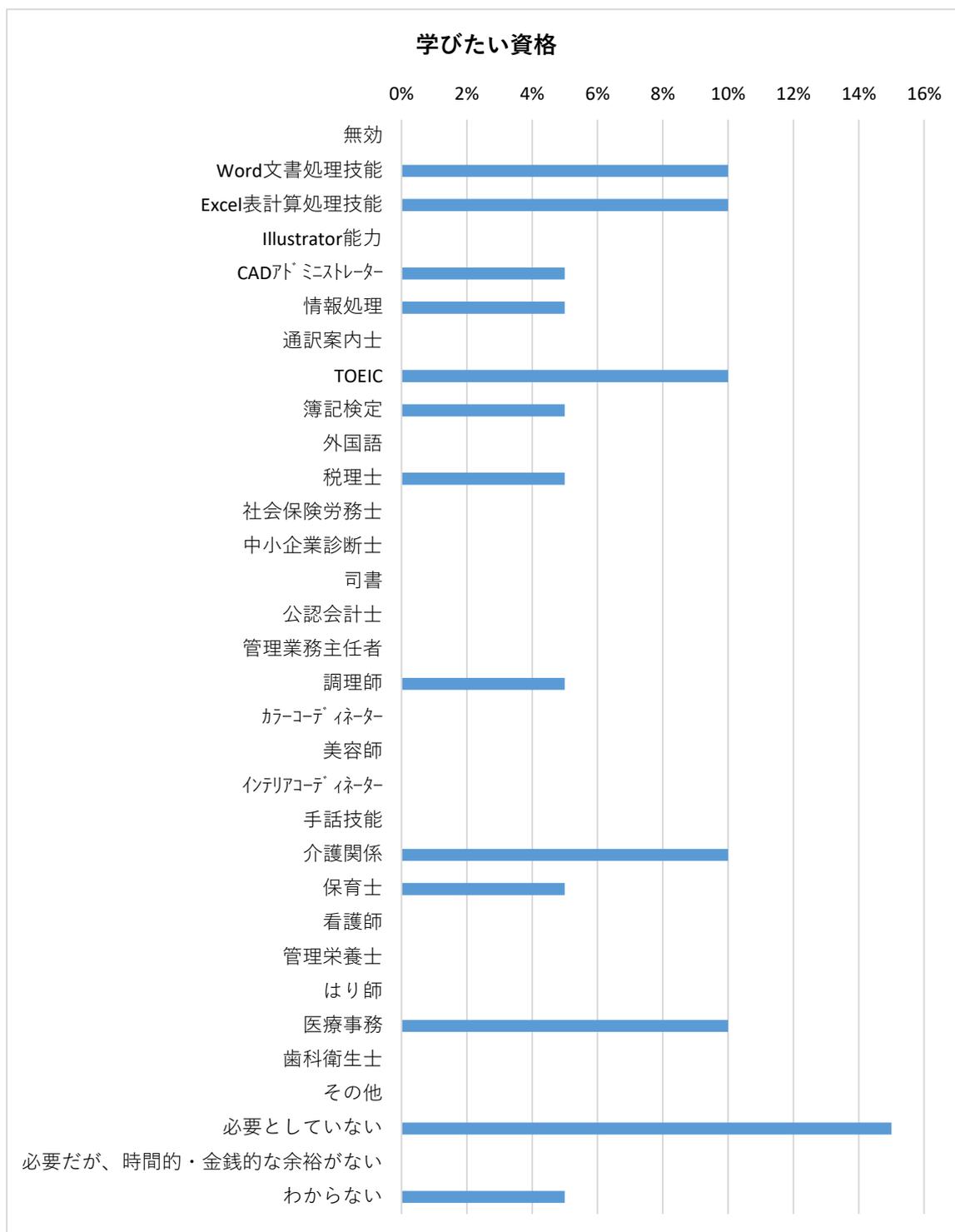


「正規の職員として働きたい」と回答した方のうち、38%はさまざまな事情により就職活動を行っていない。

将来への不安

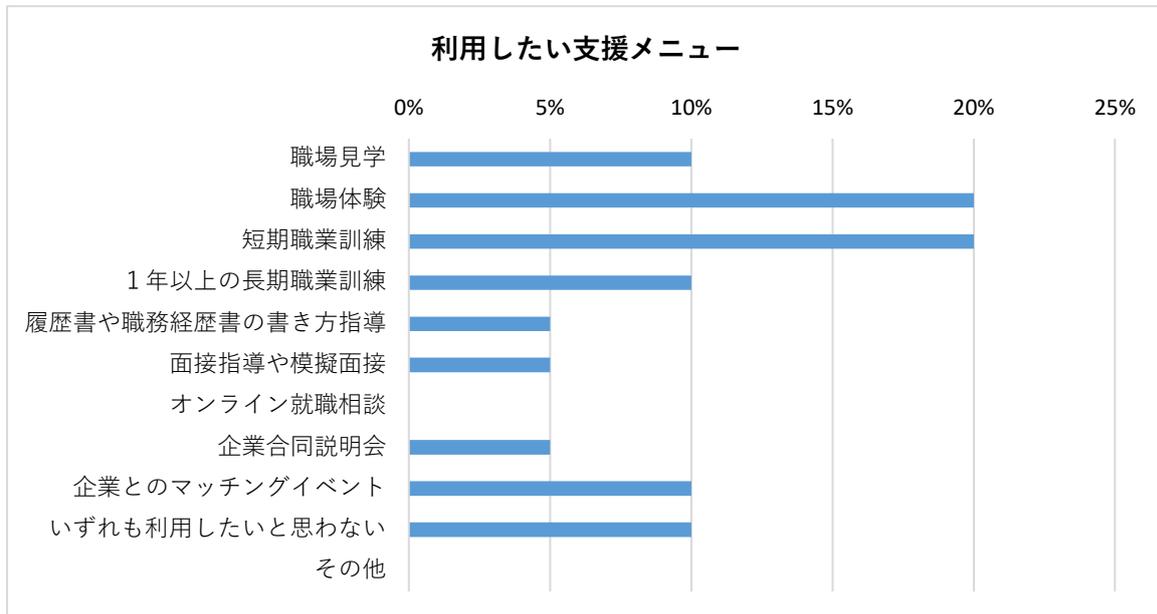
全体との比較で大きな相違点はない。

学びたい資格



取得を考えている資格について、特化した傾向はみられない。

利用したい支援メニュー



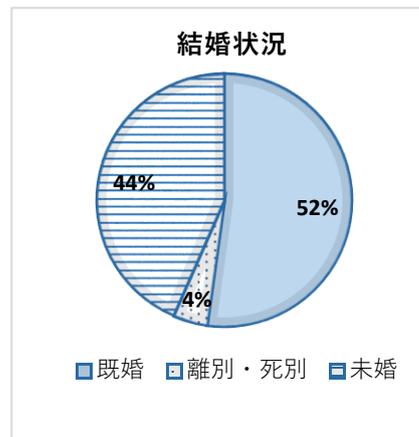
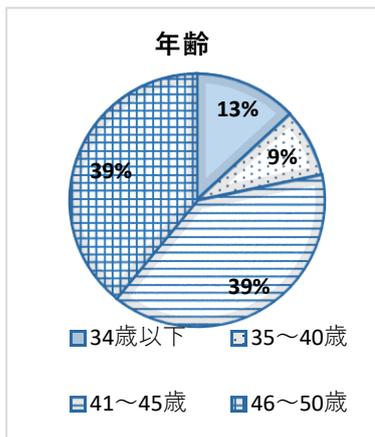
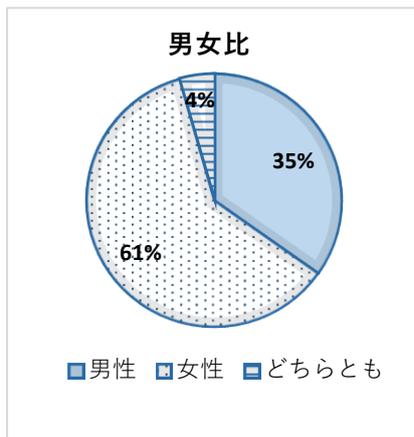
無業者の特徴と考察

就職活動をしているが正規の職に就けない、就労意欲がありながらも「自信がない」「見つからなかった」などの理由により就職活動していない方がいる。

就労のための支援を必要としていると思われる。

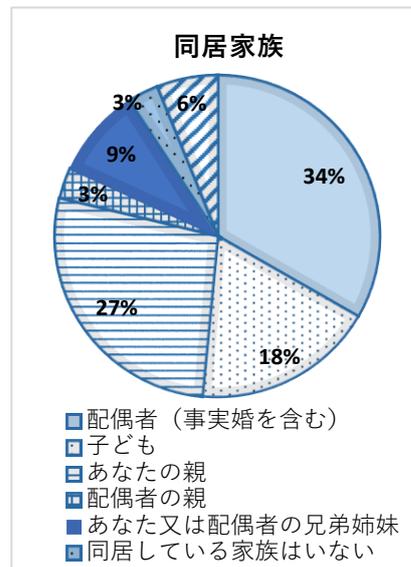
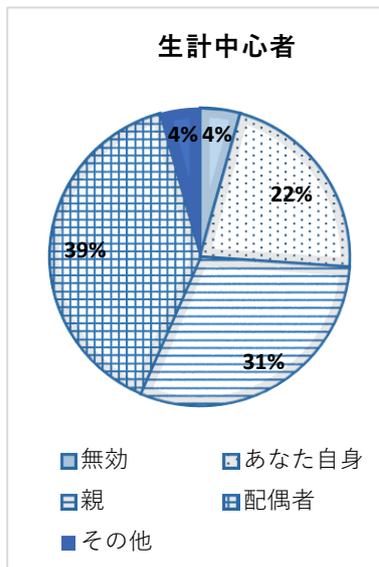
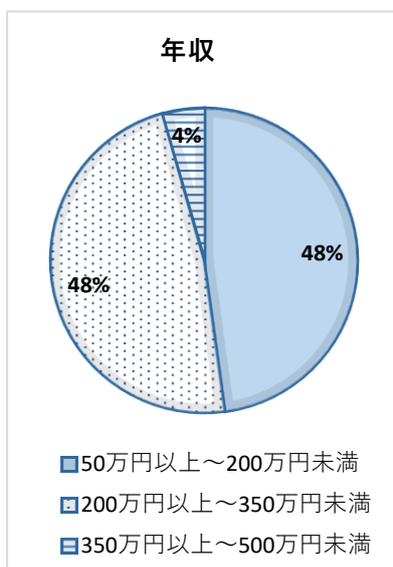
②【不本意非正規】 不本意ながら非正規の職員・従業員として働いている方についての集計・分析
「不本意非正規」は23名。全体の3.2%、非正規の職員・従業員（191名）の12%。

要旨



非正規の職員・従業員（全体）と同様、女性の割合が高い。

「全体」と比較すると未婚率が高い。

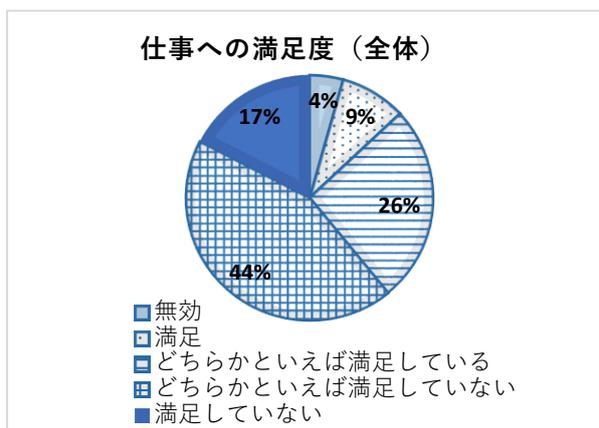
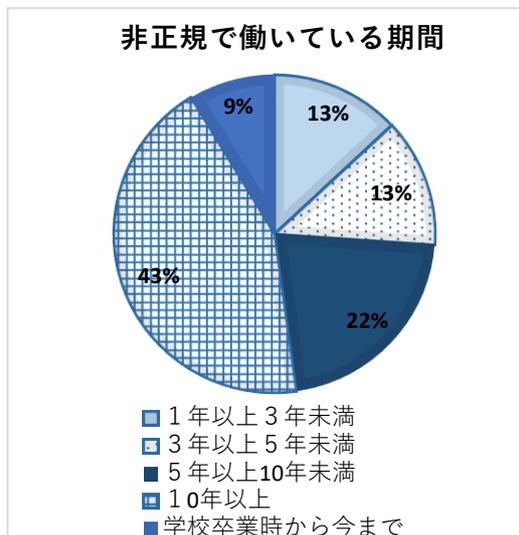
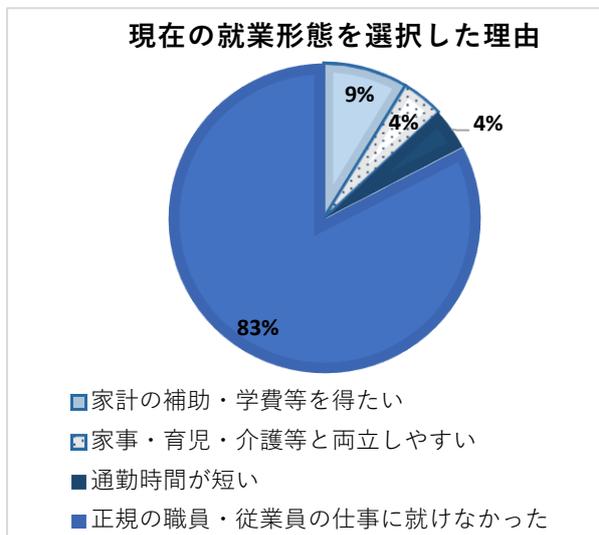


「非正規の職員・従業員全体」と比較すると、「200万円以上350万円未満」の割合が高い。

生計中心者「親」の割合について「全体」と比較すると、「全体」7%に対し「不本意非正規」は

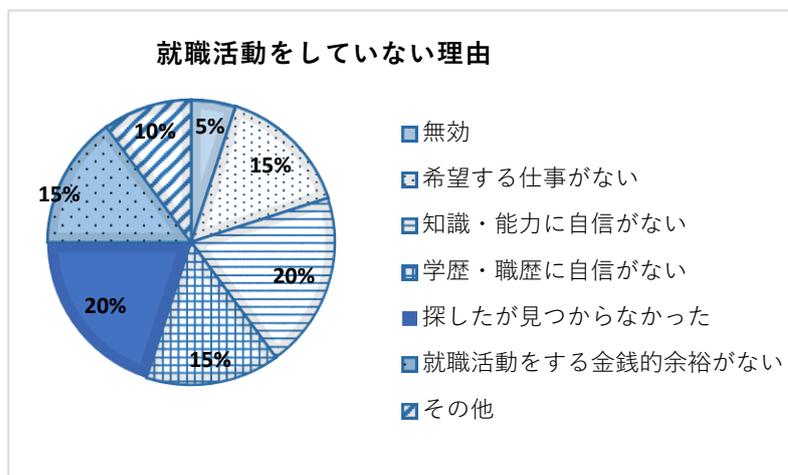
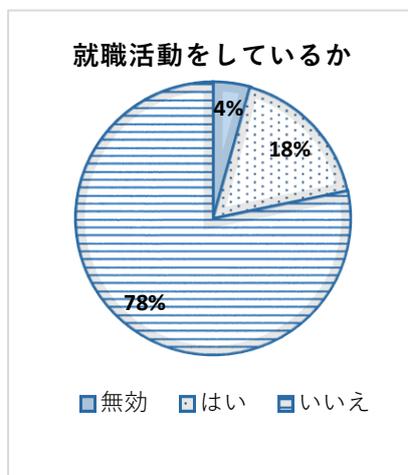
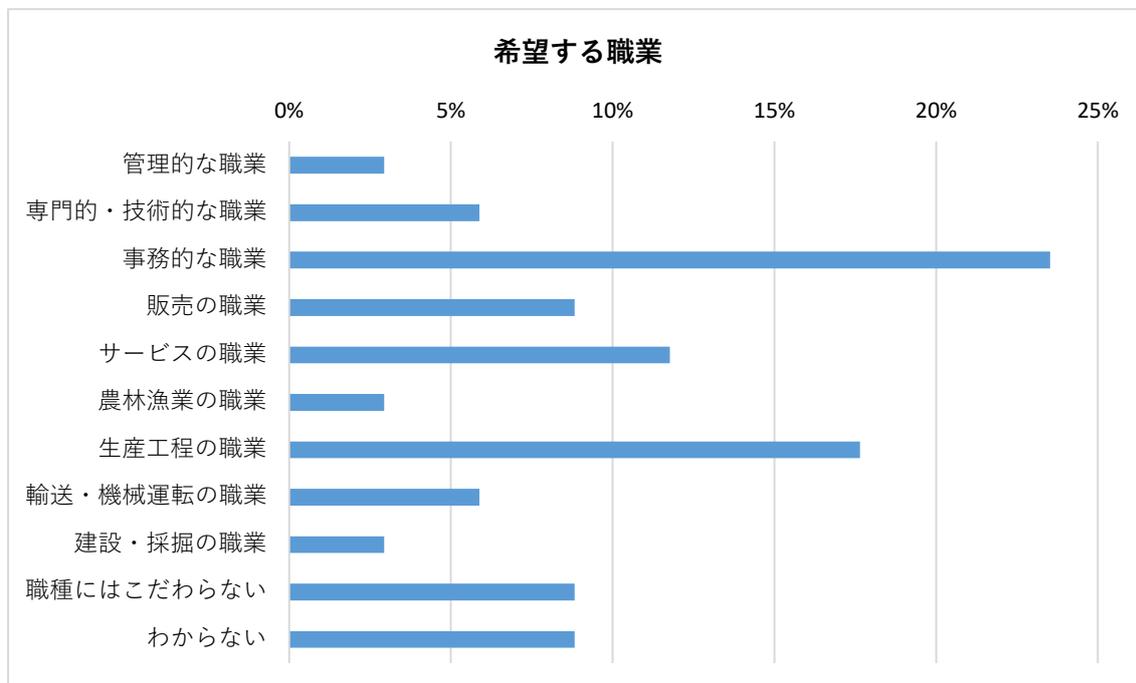
31%と割合が高い。同様に同居家族「親・配偶者の親」の割合について「全体」と比較すると、「全体」9%に対し、「不本意非正規」30%と割合が高い。

非正規の職員・従業員として働いている現状について



「非正規の職員従業員全体」比較すると、長期間に渡って非正規の職員・従業員として働いている割合が高い。（約74%が5年以上非正規で働いている）
 仕事への満足度は、「どちらかといえば満足していない・満足していない」の割合が高い。

就労意向



対象者 13 名全員が「正規の職員として働きたい」と回答している。しかし、「正規の職員・従業員として働くため就職活動をしている」と回答した方は 18%にとどまっている。

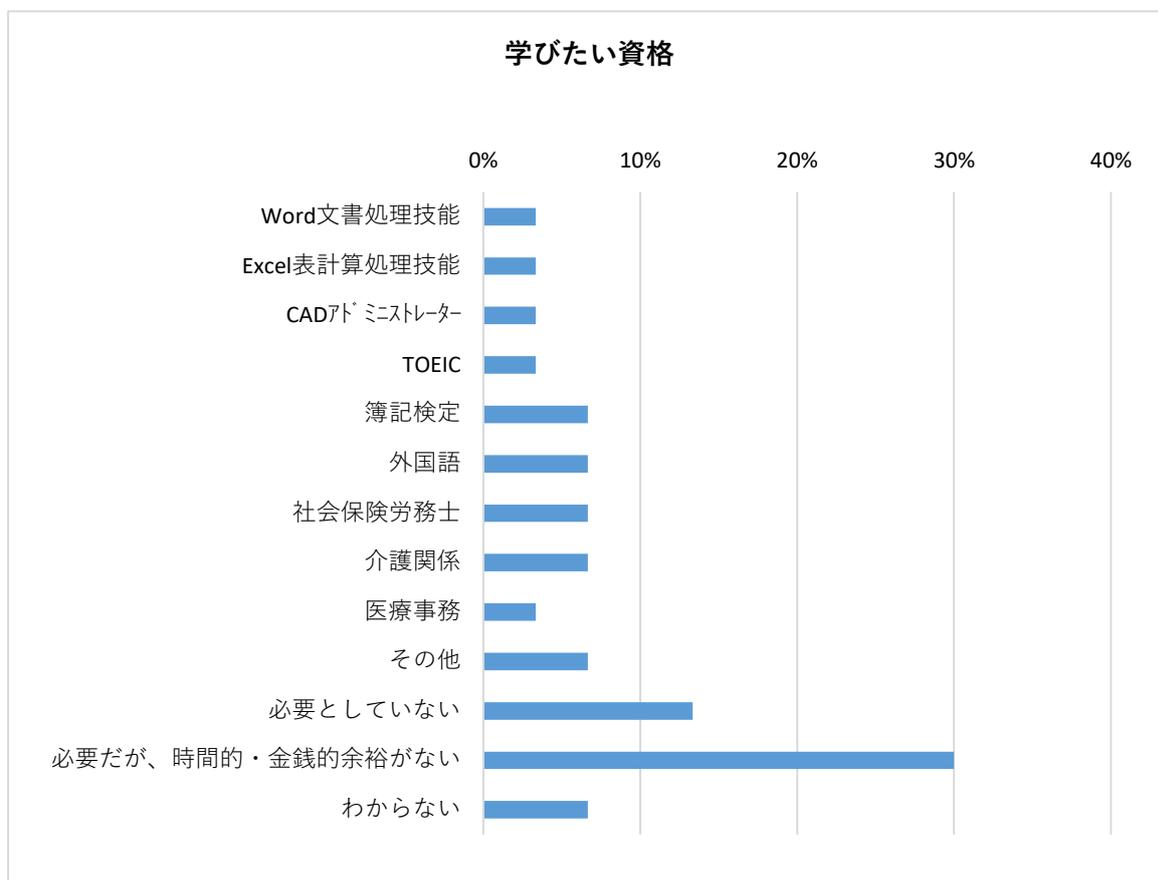
将来への不安

全体と比較して大きな相違点はない。

外出頻度

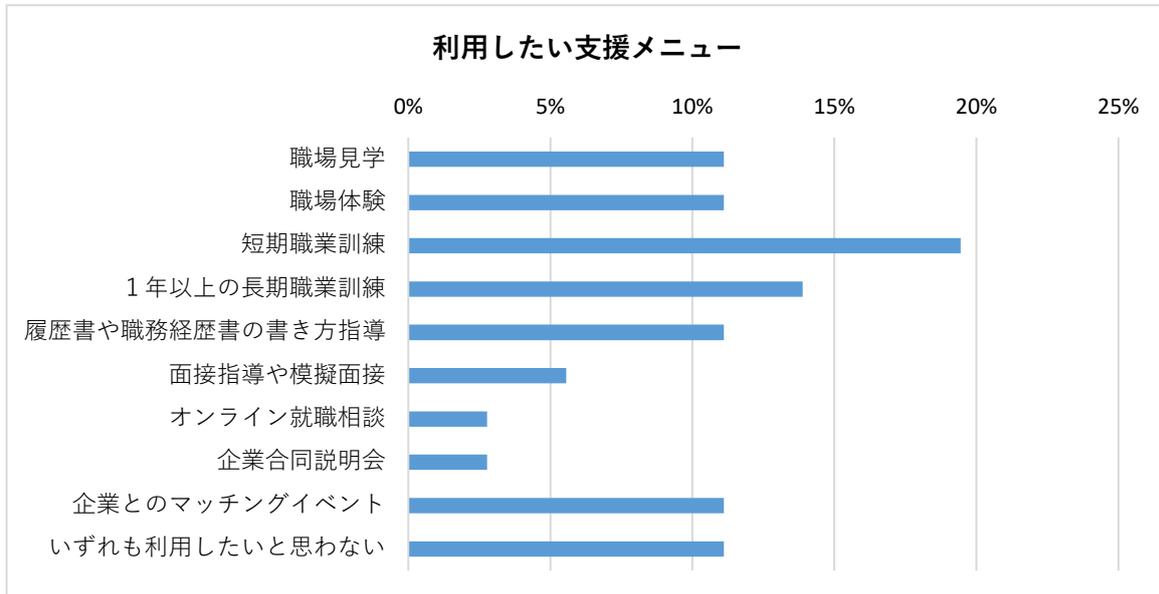
「仕事や学校で週5日程度は外出する」の割合が高い。

学びたい資格



「必要だと考えているが時間的・金銭的余裕がない」の割合が高い。

利用したい支援メニュー



不本意非正規の特徴と考察

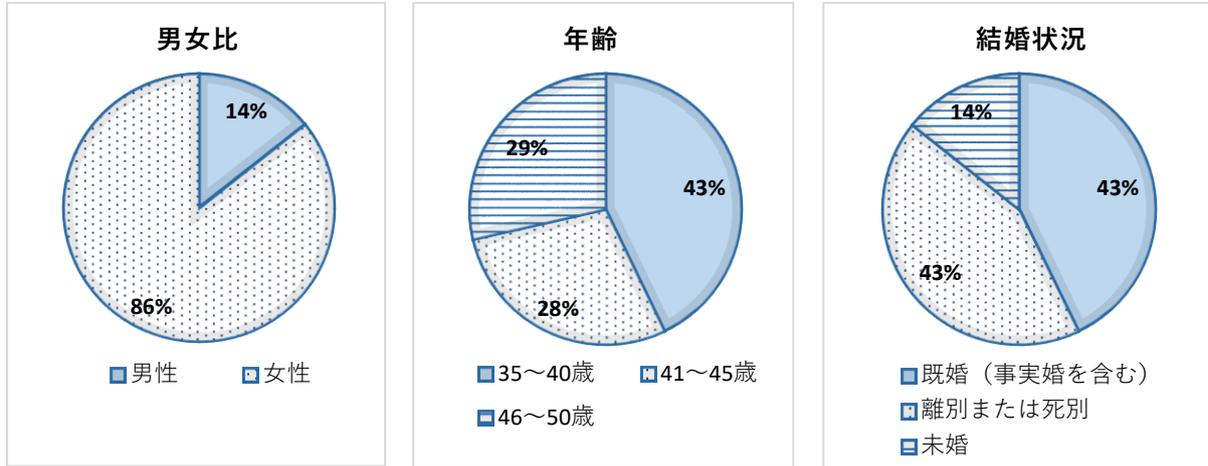
正規の職員として働きたい意向が高いが、諸事情のため就職活動をしておらず、正規の職に就くための支援を必要としていると思われる。

就職活動をしたくても金銭的余裕がない、資格等を学びたくても時間的・金銭的余裕がないという意見が一定あり、このため現在の生活から脱却することが難しいと思っている。

③【低収入正規職員】

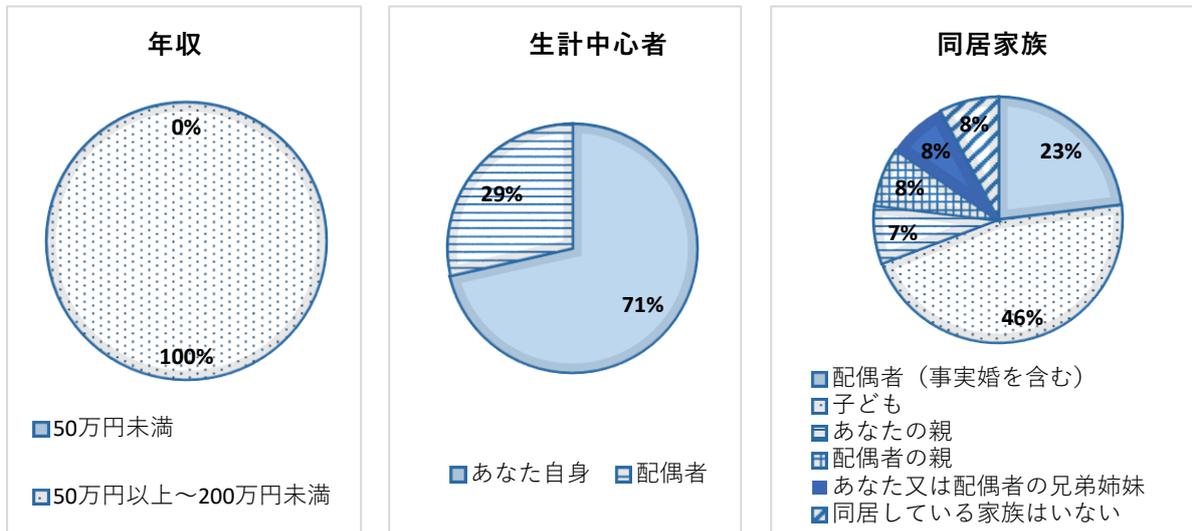
正規の職員・従業員でありながら年収が200万円以下である方についての集計・分析
対象者は7名。全体の0.9%、正規の職員・従業員（385名）の1.8%にあたる。

要旨



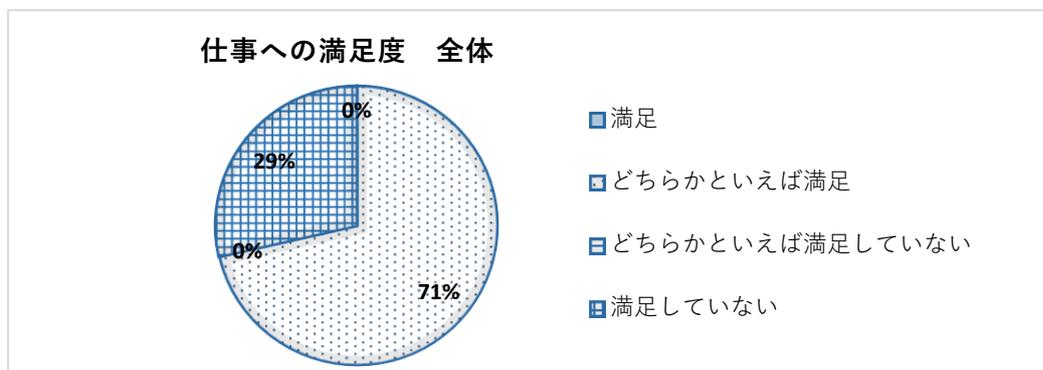
女性の割合が高い。

結婚状況は「全体」と比較して「離別または死別」の割合が高い。



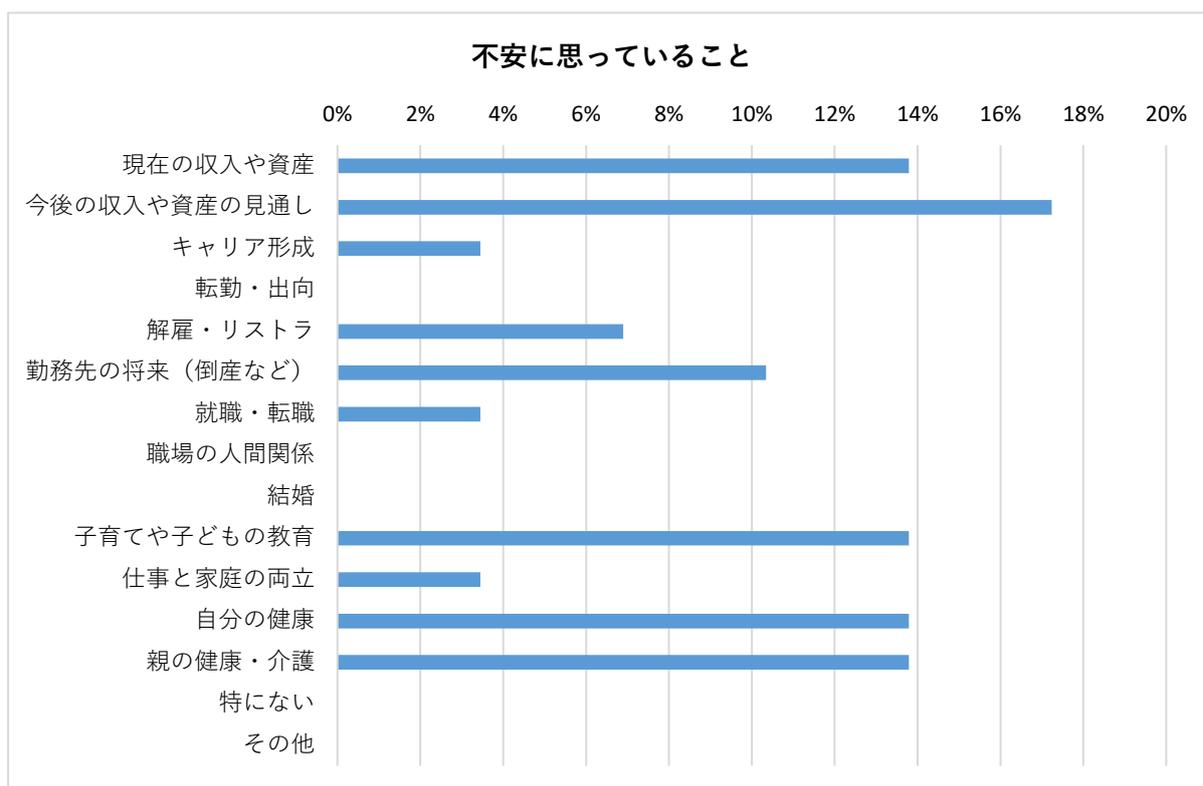
生計中心者は「あなた自身」の割合が高い。同居家族は「配偶者」の割合が低く、「子ども」の割合が高い。ひとり親家庭の割合が高いことが表れている。

正規の職員・従業員として働いている現状について



「どちらかといえば満足」の割合が高いが、「全体」と比較すると「満足していない」の割合が高い。

将来への不安

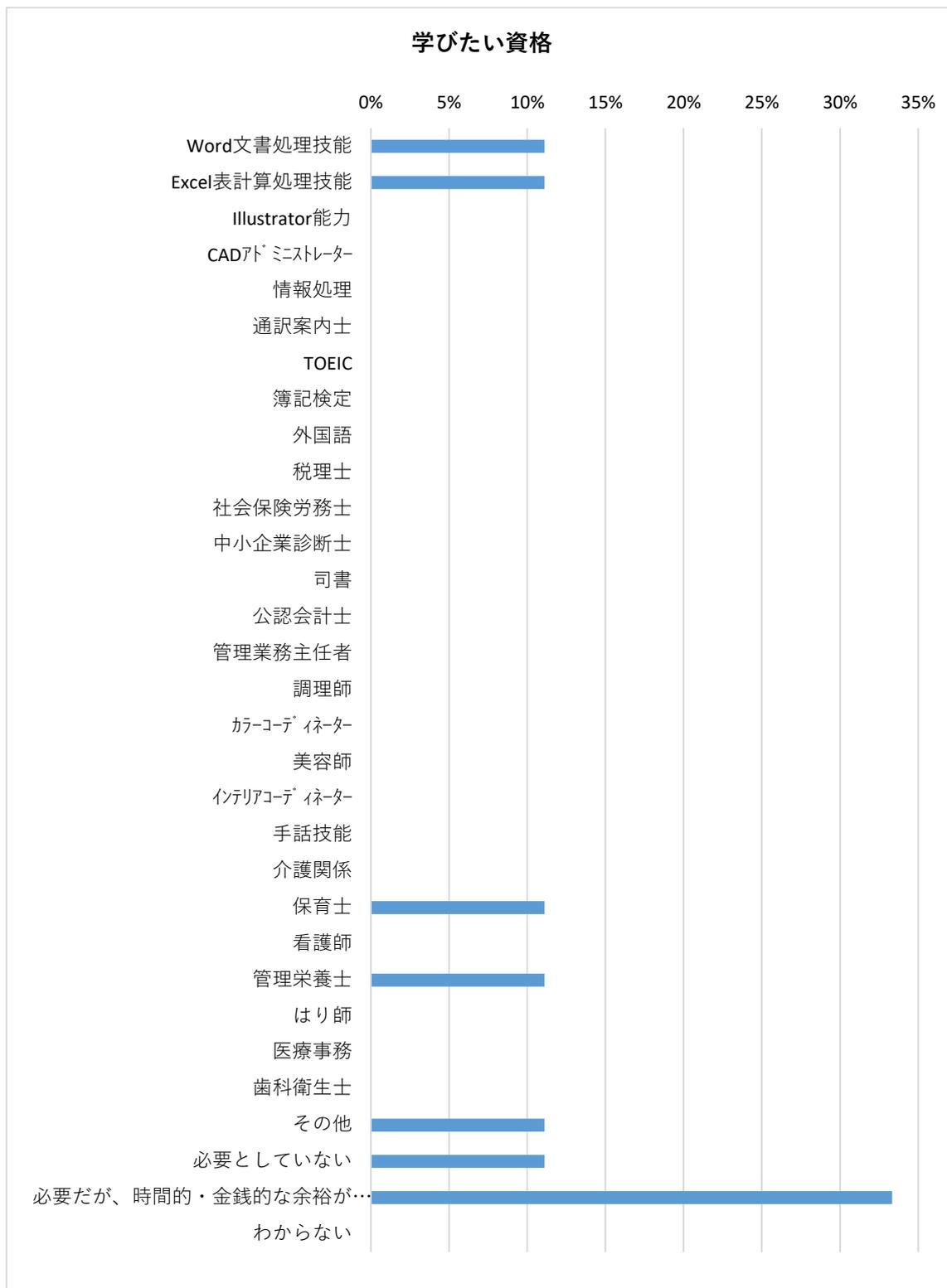


「全体」と比較すると、「子育てや子どもの教育」の割合が高い。

外出頻度

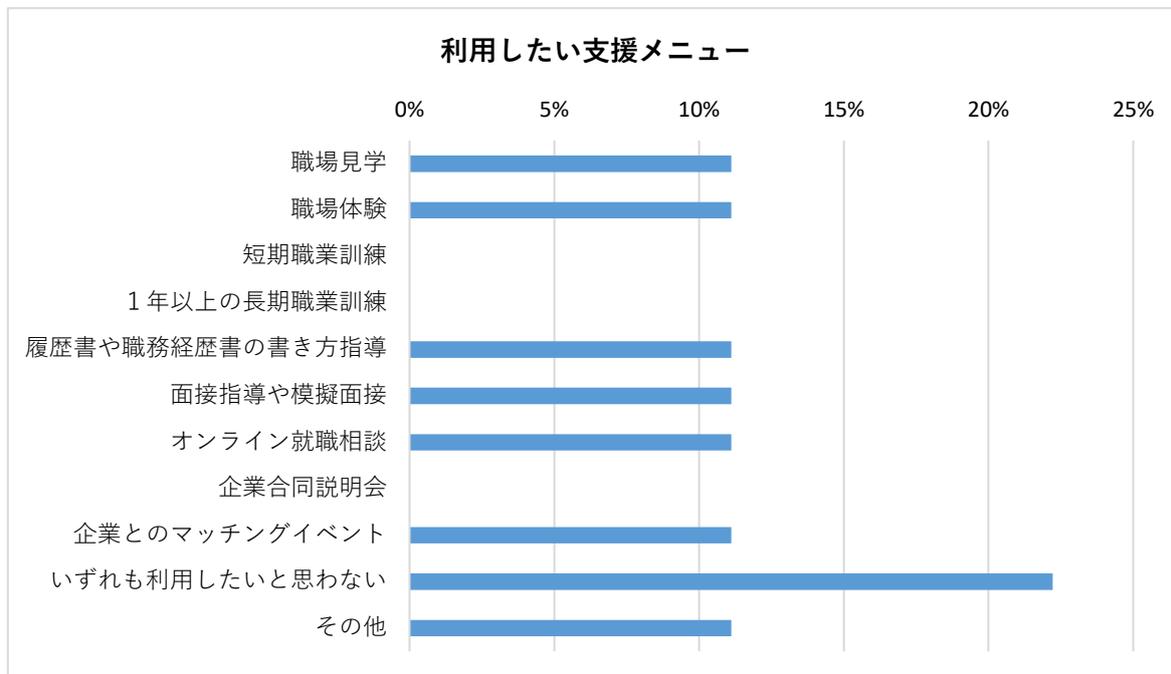
「仕事や学校で週3日～4日または5日程度は外出する」がすべてを占めている。

学びたい資格



「必要だが時間的・金銭的余裕がない」の割合が高い。

利用したい支援メニュー



「いずれも利用したいと思わない」の割合が高い。

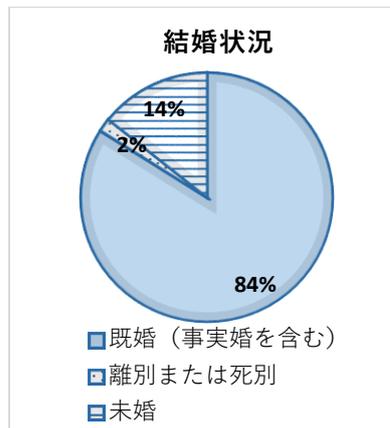
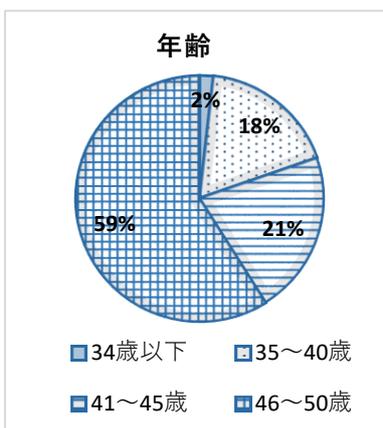
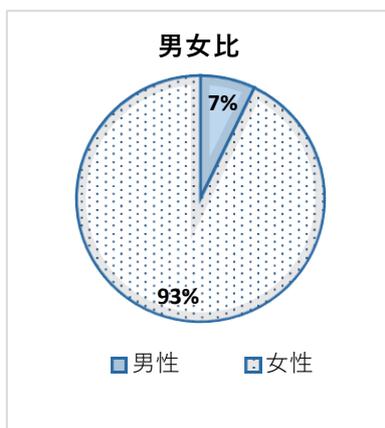
低収入正規職員の特徴と考察

自身が生計中心者である割合および結婚状況が離婚・死別の割合が高い。また、仕事への満足度を全体と比較すると「満足していない」の割合が高い。これらから、正規職員であるが収入面での不安定さがあると思われる。

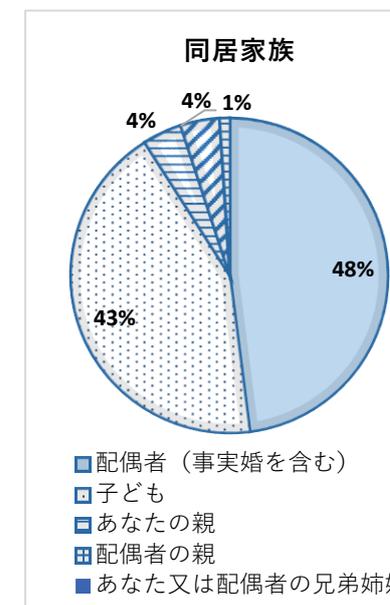
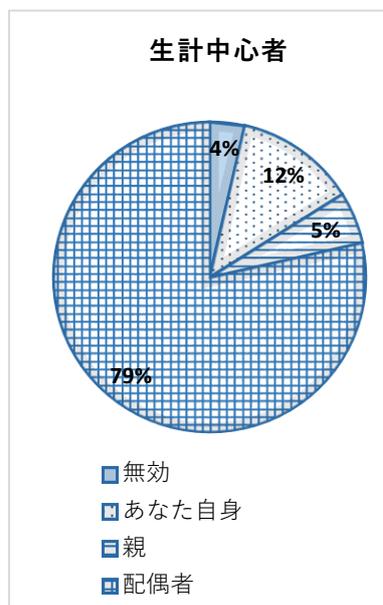
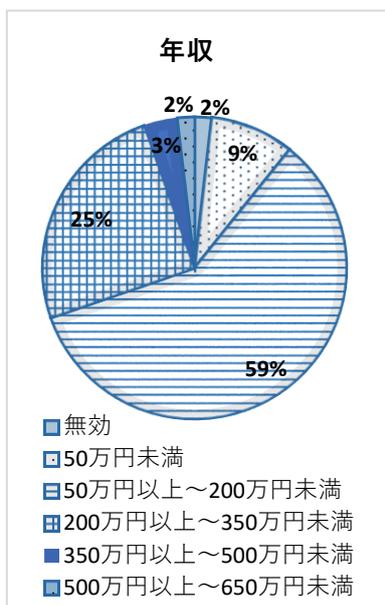
④非正規の職員・従業員のうち「正規の職員として働きたい」を選択した方についての集計・分析
【潜在的支援者（非正規の職員・従業員）】（就活している者を除く）

対象は56名、全体の7.8%、非正規の職員・従業員（191名）の29%にあたる。

属性

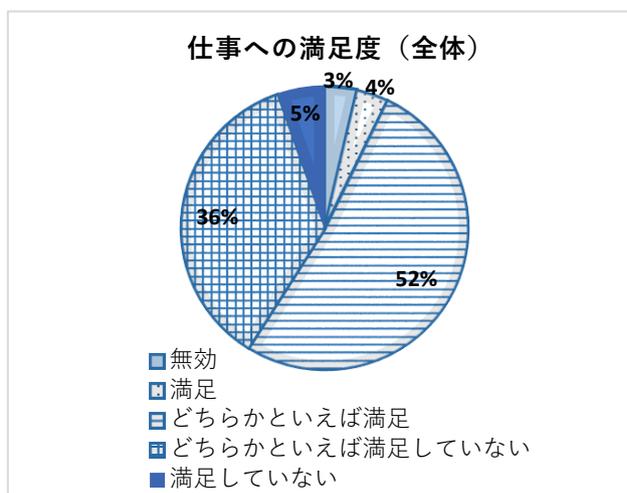
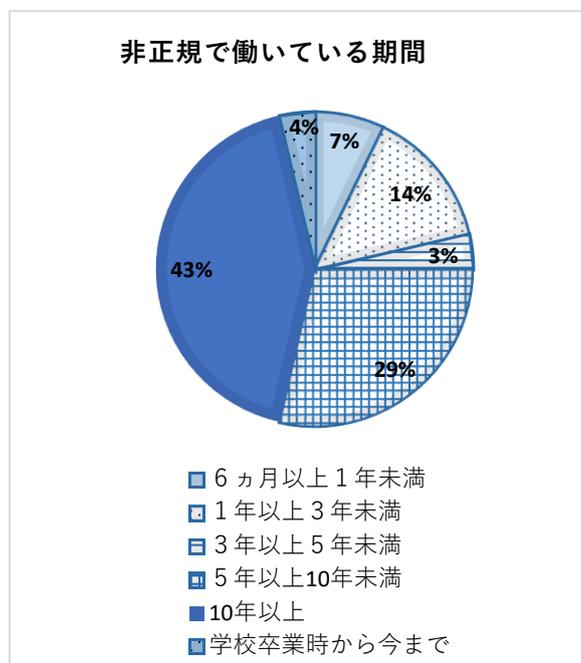
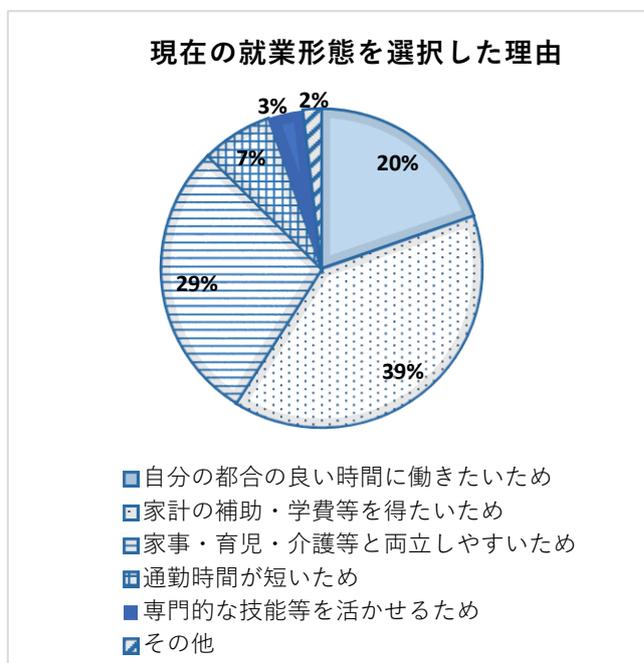


「非正規の職員・従業員（全体）」と同様、女性の割合が高い。



年収は「50万円以上200万円未満」の割合が高く、「非正規の職員従業員（全体）」と比較するとその割合は同等である。しかし、支援対象者②【不本意非正規】と比較すると、年収の低い層（50万円以上200万円未満）の割合が高い。

非正規の職員・従業員として働いている現状について

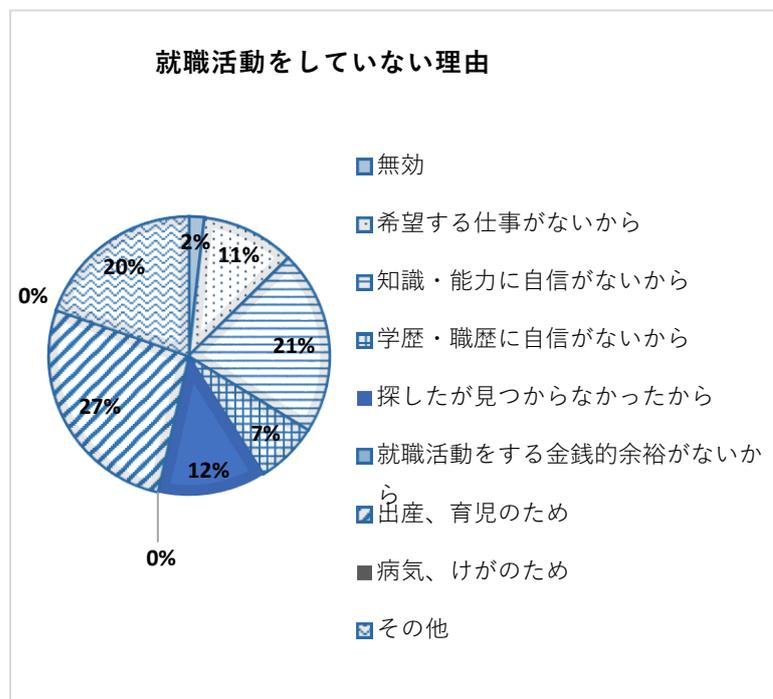
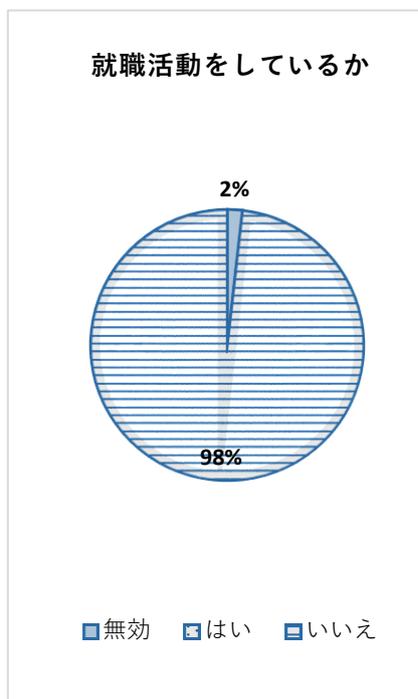
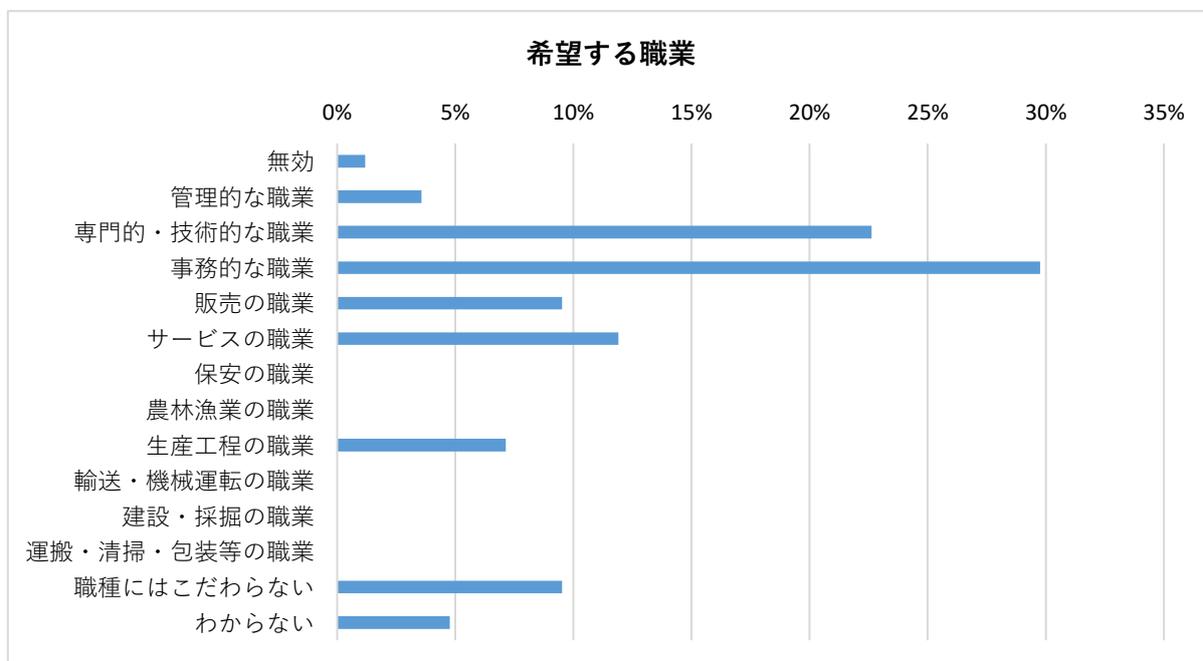


現在の就業形態に就いた理由は「家計の補助・学費等を得たい」、「家事・育児・介護等と両立しやすい」の割合が高い。

現在の就業形態として働いている期間は「10年以上」の割合が高い。

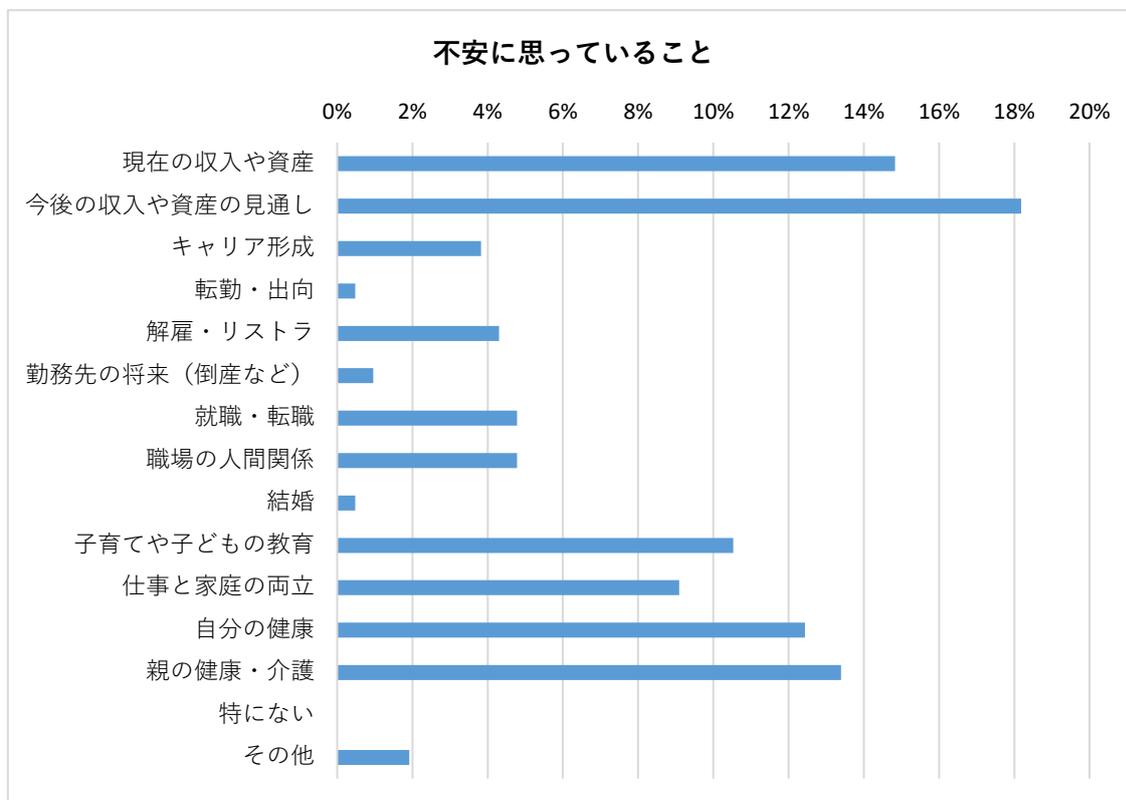
仕事の満足度（全体）、「どちらかといえば満足・満足していない」より、「満足・どちらかといえば満足」の割合がやや高いが、「非正規の職員従業員（全体）」と比較すると「どちらかといえば満足していない・満足していない」の割合が高い。

就労意向



「正規の職員として働きたい」と回答しながらも、さまざまな事情により就職活動を行えていない。

将来への不安

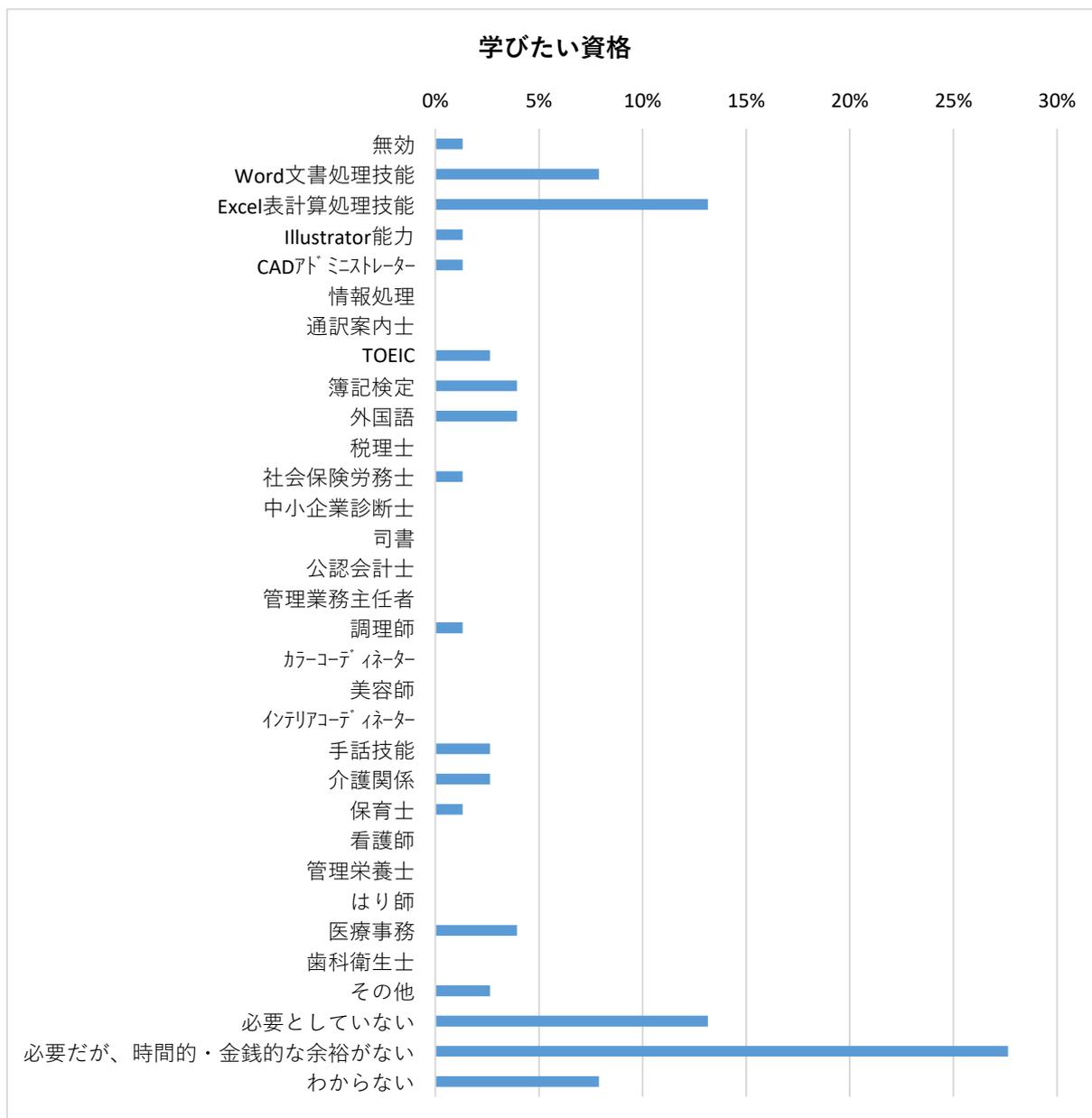


「全体」と比較して大きな相違点はない。

外出頻度

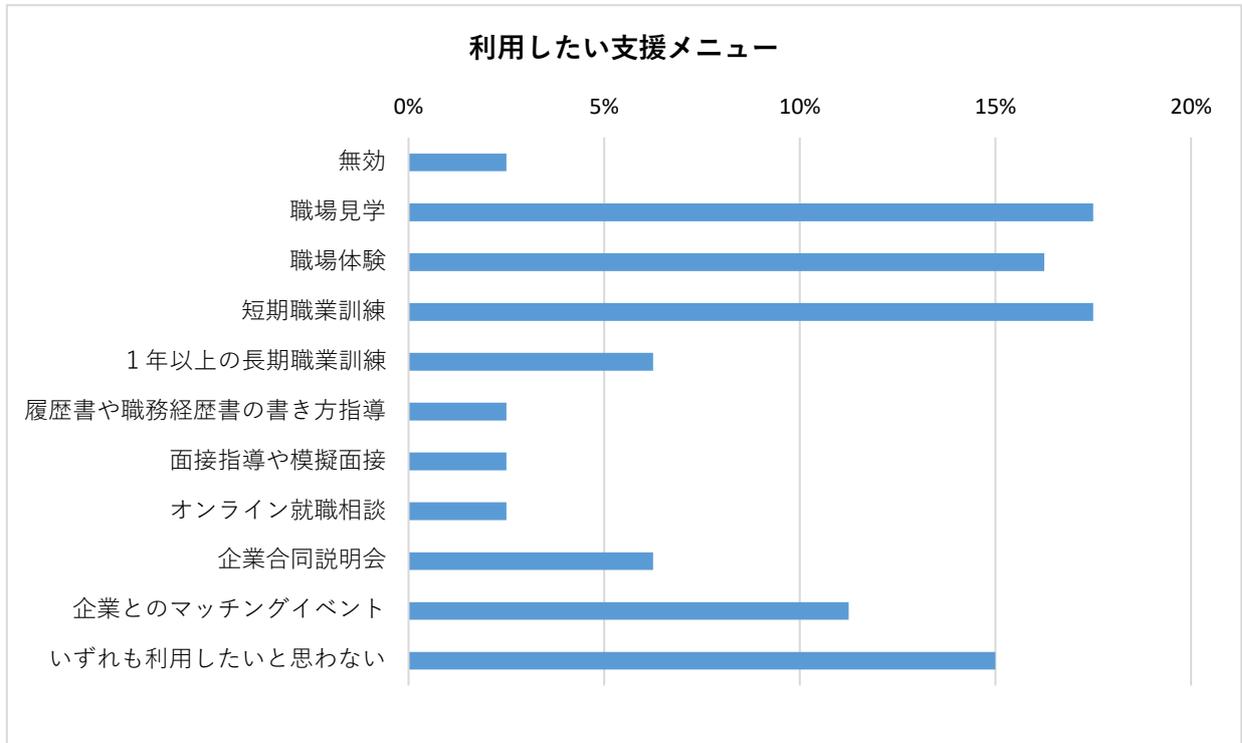
「仕事や学校で3～4日または週5日程度は外出する」94%（53名）が大部分を占めている。

学びたい資格



「必要だと考えているが時間的・金銭的な余裕がない」の割合が高い。

利用したい支援メニュー



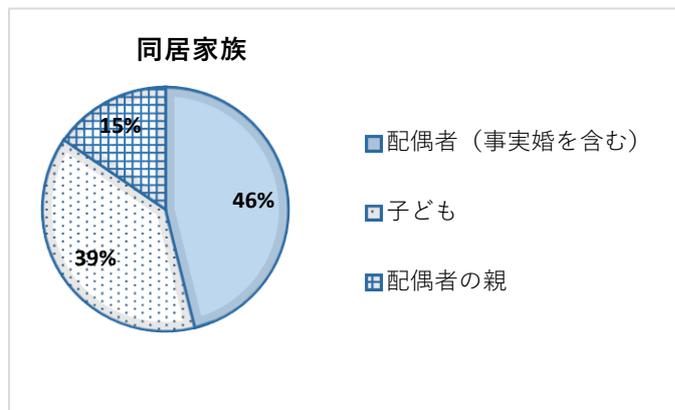
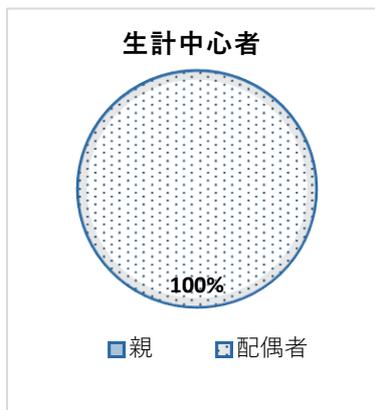
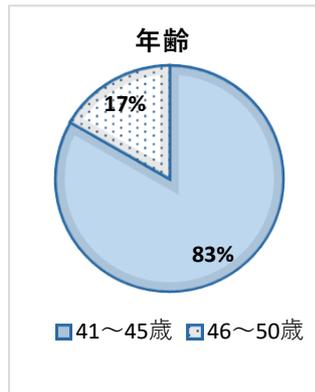
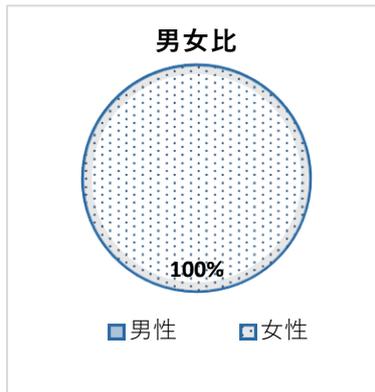
潜在的な要支援者（非正規の職員・従業員）の特徴と考察

結婚状況や生計中心者、就業形態を選択した理由から、支援の緊急性は高くないと思われる。しかし、条件が整えば正規の職員として働く意欲があり、専門的・技術的な職業や事務的な職業を希望していることから、一定の時間を要して知識や技術を習得することが有効だと考えられる。

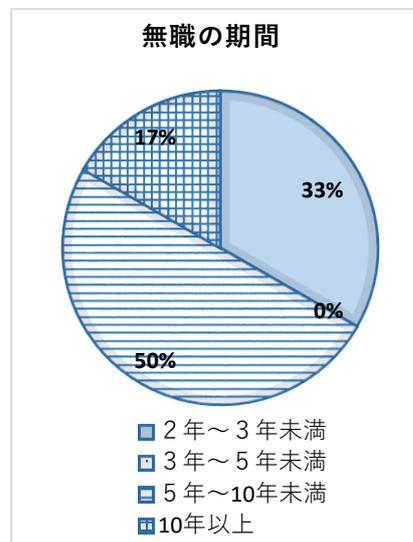
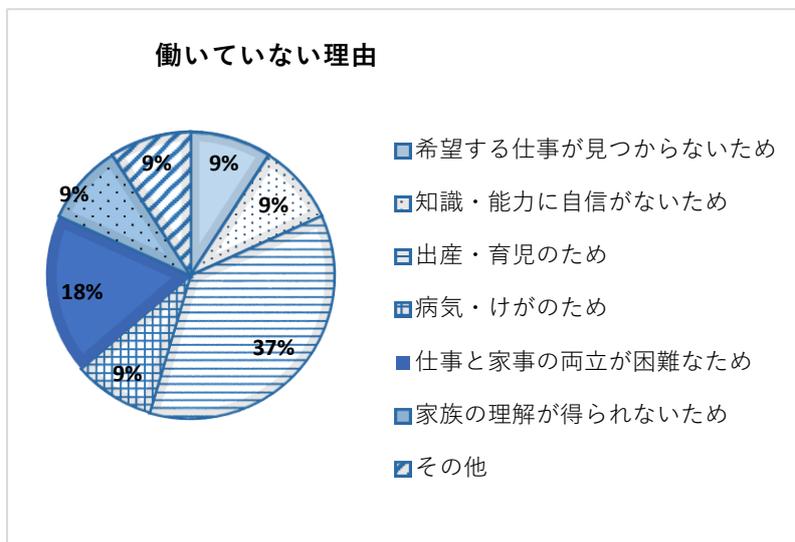
⑤専業主婦のうち「正規の職員として働きたい」を選択した方についての集計・分析
【潜在的支援者（専業主婦）】

対象は6名。全体の0.8%、専業主婦・専業主夫（79名）の8%にあたり、性別は「女性」のみ。

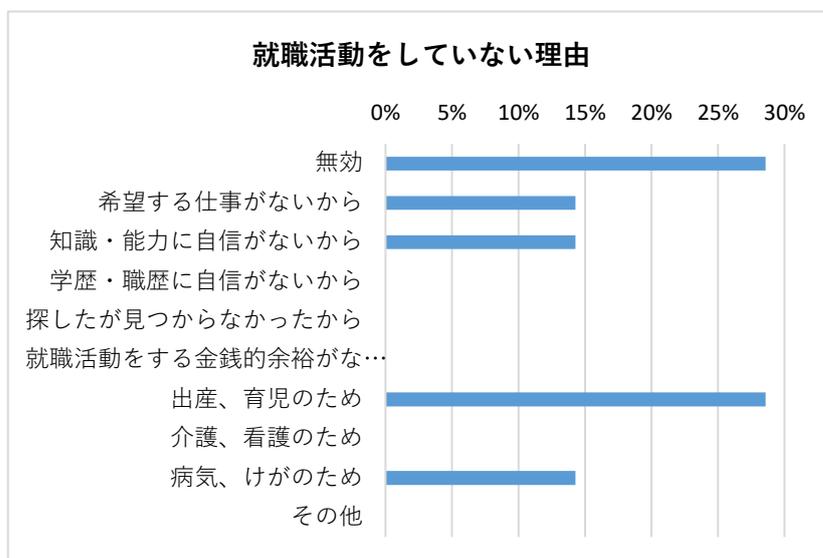
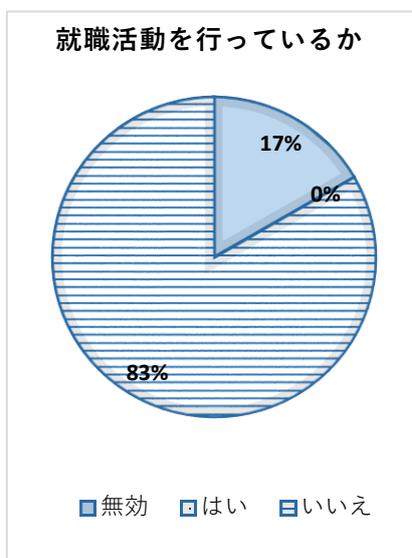
属性



働いていない現状について



就労意向



正規の職員として働きたいと回答しながらも、6名中5名がさまざまな事情により就職活動を行っていない。

将来への不安

全体との比較で大きな相違点はない。

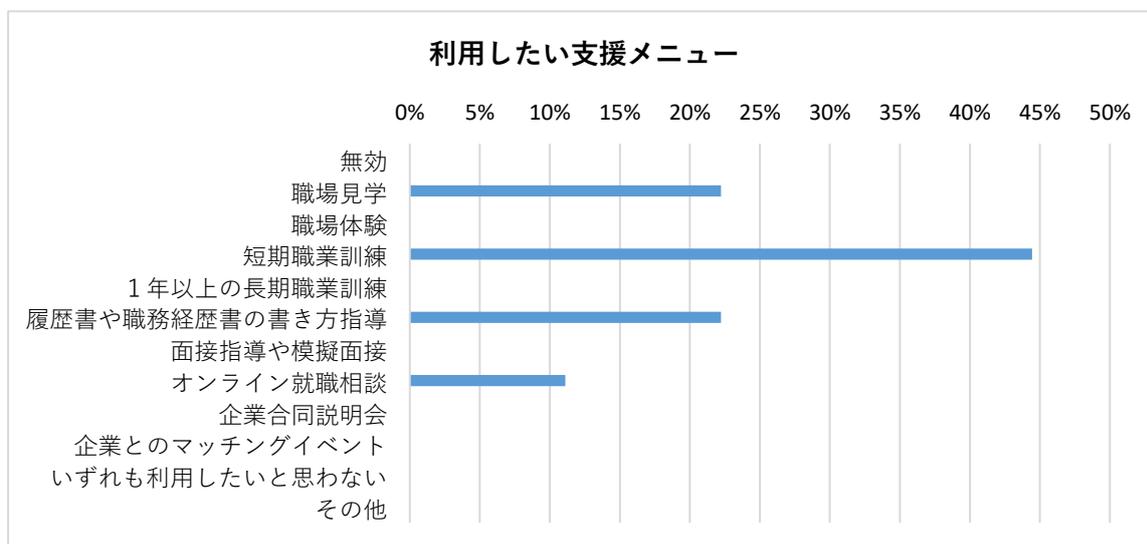
外出頻度

「普段は家にいるが、近所のコンビニやスーパーなどには出かける」の割合が高い。

学びたい資格

学びたい資格は「特になし（必要だと考えているが時間的・金銭的余裕がない）」の割合が高い。

利用したい支援メニュー



利用したい支援メニューは、「短期職業訓練」の割合が高い。

潜在的な要支援者（専業主婦）の特徴と考察

出産・育児、仕事と家事の両立など条件が整えば就労したいという意向から、急いで支援する必要性はないと思われる。しかし、条件が整えば就労したいという専業主婦層の就労意欲の表れであり、育児・出産によるブランクへの支援策は、一定の需要があると思われる。

栗東市就職氷河期世代 実態把握のためのアンケート調査
ご協力をお願い

栗東市では、令和3年度より就職氷河期世代[※]の方々の就労支援に取り組んでいます。
その一環として、栗東市に住居登録のある満34歳以上50歳以下の方から無作為に1,800人選
ばせていただき、アンケート調査へのご協力をお願いします。
就職氷河期世代の方々の生活状況や支援・事業ニーズを把握するため、就労や社会参画につ
いて課題や悩みを抱えている方はもちろん、あらゆる状況のみなさまよりご回答いただきま
すようお願いいたします。
アンケート調査の目的をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年7月 栗東市長 野村昌弘

※就職氷河期世代とは
概ね1993年（平成5年）から2004年（平成16年）に学校卒業期を迎えた世代を指します（2020年4月1日時点において大卒で概ね38歳から49歳、高卒で
概ね34歳から45歳に相当）。
〔厚生労働省就職氷河期世代活躍支援プラン（令和元年5月29日「2040年を展望した社会保障・働き方改革本部」とりまとめ）より〕

アンケート調査の概要

名称	就職氷河期世代支援事業 就職氷河期世代実態把握のためのアンケート調査
対象	無作為に選ばれた、満34歳以上50歳以下の方1,800人 (令和3年7月15日時点で住民基本台帳に登録のあった方)
目的	就労状況や生活状況、支援・事業ニーズの把握のため
調査方法	郵送調査
調査機関	栗東市産業経済部商工観光労政課
その他	この調査で知り得た個人情報等の取り扱いについては、本人の同意なく調査の 目的以外には使用しません。

記入に際してのお願い

- アンケートには、封筒の宛名の方ご本人がご回答ください。
(諸事情によりご本人の記入が困難な場合は、ご家族様等で代筆いただいて結構です)
- 選択肢の中からあてはまるものを選び、番号を○印で囲んでください。
- 記入後は、個別相談を希望する場合を除き、無記名のまま同封の返信用封筒に入れて、
令和3年8月18日(水)までにポストへ投函してください。(切手は不要です)

すべての方にお伺いします（問1～問2）

問1 あなたの現在の就業形態は何ですか。（○は1つだけ）

- ア 正規の職員・従業員
- イ 非正規の職員・従業員
(パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託)
- ウ 会社・団体等の役員（会社等の経営者を除く）
- エ 会社等の経営者
- オ 自営業主・フリーランス、家庭内の賃仕事（内職）^{※1}
- カ 自家営業の手伝い（家族従業員）^{※2}
- キ 専業主婦・専業主夫
- ク 学生^{※3}
- ケ 無職

問2へ

問2の後、問8へ

就業形態についての注記

- ※1 自営業主・フリーランスには、独立して自営で農林水産業をしている場合も含まれます。
- ※2 自家営業の手伝い（家族従業員）には、個人経営の事業所や農家で家族を手伝っている家族等が該当します。ただし
個人経営の事業所や農家で家業を手伝っている家族であっても、他の従業員等と同じく就業規則等で定められた労働
条件が適用されている場合には、選択肢ア～ウのうち、実態に最も近いものを選択してください。
- ※3 学生は、アルバイトをしている方も含まれます。

問2 あなたは現在、副業（内職等も含む）がありますか、または複数の職業に就いていま
すか。（○は1つだけ）

- ア はい ※問3以降の質問は、“主たる職業”についてご回答ください。
- イ いいえ

問3 あなたのお仕事の業種は何ですか。（○は1つだけ）

- ア 農業、林業
- イ 漁業
- ウ 鉱業、採石業、砂利採取業
- エ 建設業
- オ 製造業
- カ 電気・ガス・熱供給・水道業
- キ 情報通信業
- ク 運輸業、郵便業
- ケ 卸売業、小売業
- コ 金融業、保険業
- ク 不動産業、物品賃貸業
- シ 学術研究、専門・技術サービス業
- ス 宿泊業、飲食サービス業
- セ 生活関連サービス業、娯楽業
- ソ 教育、学習支援業
- タ 医療、福祉
- チ 複合サービス事業（郵便局・協同組合等）
- ツ サービス業（産廃処理業、自動車整備業、
宗教等の他に分類されないもの）
- テ 公務（国家公務、地方公務）
- ト その他（ ）

[日本標準産業分類]

問12 学校を卒業（または中退）して最初に就いた仕事以外であなたが経験した仕事のうち、「正規の職員・従業員」の仕事の数はいくつですか。（〇は1つだけ）

- ア なし ウ 2つ オ 4つ キ 6つ以上
イ 1つ エ 3つ カ 5つ

問13 あなたが、学校を卒業（または中退）して最初に就いた仕事を辞めた理由は何ですか。（〇はいくつでも）

- ア 会社倒産・事業所閉鎖のため キ 責任ある仕事が任されなかったため
イ 人員整理・退職勧奨のため シ ノルマや責任が重すぎたため
ウ 事業不振や先行き不安のため ス 賃金などの条件が良くなかったため
エ 雇用契約満了のため セ 職場の人間関係が良くなかったため
オ 結婚のため ソ 家業を継ぐ、または手伝うため
カ 出産、育児のため タ 家族の転職、転勤、事業所の移転のため
キ 介護、看護のため チ より良い条件の仕事が見つかったため
ク 病気、けがのため ツ キャリアアップをはかるため
ケ 自分に向かない仕事だったため テ 仕事以外にやりたいことがみつかったため
コ 一時的に就いた仕事だったため ト その他（ ）

問12で「キ」、「カ」、「ケ」を選んだ方 → **問22**へ
問12で「イ」を選んだ方 → **問14**へ
上記以外の方 → **問29**へ

現在、非正規の職員・従業員として働いている方（問12で、「イ」を選んだ方）にお伺いします（問14～問21）

問14 あなたが、現在の就業形態に就いた主な理由は何ですか。（〇は1つだけ）

- ア 自分の都合の良い時間に働きたいため オ 専門的な技能等を活かせるため
イ 家計の補助・学費等を得たいため カ 正規の職員・従業員の仕事に就けなかったため
ウ 家事・育児・介護等と両立しやすいため キ その他
エ 通勤時間が短いため （ ）

問15 あなたが、非正規の職員・従業員として働いてこられた期間の合計はどのくらいですか。（〇は1つだけ）

- ア 6ヵ月未満 エ 3年以上5年未満 キ 学校卒業時から今まで
イ 6ヵ月以上1年未満 オ 5年以上10年未満
ウ 1年以上3年未満 カ 10年以上

問16 あなたは、正規の職員・従業員として働きたいと思いますか。（〇は1つだけ）

- ア はい → **問17**へ イ いいえ → **問29**へ
（理由： ）

問17 あなたが、正規の職員・従業員として働きたい理由は何ですか。（〇はいくつでも）

- ア より多くの収入を得たいため キ キャリアを高めたいため
イ 福利厚生が充実したところで働きたいため ク 責任の大きい仕事をしたいため
ウ 労働条件や職場環境を改善したいため ケ 自分の意欲や能力を活かしたいため
エ 雇用が安定しているため コ 専門的な資格や技能を活かしたいため
オ 正規の職員・従業員の肩書きがほしいため キ 新しいスキルを得たいため
カ 健康保険、雇用保険、社会保険に加入したいため シ 家事・育児・介護などの制約がなくなったため
ス その他（ ）

問18 あなたが、希望する職種は何ですか。（〇はいくつでも）

- ア 管理的な職業 カ 保安の職業 キ 運搬・清掃・包装等の職業
イ 専門的・技術的な職業 キ 農林漁業の職業 シ 職種にはこだわらない
ウ 事務的な職業 ク 生産工程の職業 ス わからない
エ 販売の職業 ケ 輸送・機械運転の職業
オ サービスの職業 コ 建設・採掘の職業

【厚生労働省編職業分類】

問19 あなたが、正規の職員・従業員として職を選ぶときに、どのようなことを重要視しますか（〇はいくつでも）

- ア 仕事の内容 オ 就業時間 ケ 事業所の社会貢献度
イ 休日や休暇 カ 職場の雰囲気 コ 教育・研修制度
ウ 給与や手当 キ 福利厚生 キ 特にない
エ 勤務地 ク 事業所の将来性

問20 あなたは、正規の職員・従業員として働くための就職活動をしていますか。（〇は1つだけ）

- ア はい → **問29**へ イ いいえ → **問21**へ

問21 正規の職員・従業員の就労を希望しているが、就職活動をしていない理由は何ですか。（〇は1つだけ）

- ア 希望する仕事がないから カ 出産、育児のため
イ 知識・能力に自信がないから キ 介護、看護のため
ウ 学歴・職歴に自信がないから ク 病気、けがのため
エ 探したが見つからなかったから ケ 資格取得などの勉強をしているから
オ 就職活動をする金銭的余裕がないから コ その他（ ）

問29へ

問32 問31の「お〜」の状態となつて、どのくらい経ちますか。(〇は1つだけ)

- ア 6ヶ月未満 ウ 1年〜2年未満 オ 3年〜5年未満 キ 10年以上
 イ 6ヶ月〜1年未満 エ 2年〜3年未満 カ 5年〜10年未満

問33 問31の「お〜」の状態になつたきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

- ア 学生時代の不登校 キ 妊娠、出産したこと
 イ 受験に失敗したこと(高校・大学等) ケ 介護、看護を担うことになつたこと
 ウ 就職活動がうまくいかなかったこと ケ 退職したこと
 エ 職場になじめなかったこと コ 特にない
 オ 人間関係がうまくいかなかったこと キ わからない
 カ 病気、けがをしたこと シ その他()

問34 問31の「お〜」の状態について、だれか(支援機関含む)に相談したいと思いませんか。(〇は1つだけ)

- ア 非常に思う イ 思う ウ 少し思う エ 思わない

問35 問31の「お〜」の状態について、誰かに相談するとすれば、どのような人(支援機関含む)に相談したいと思いませんか。(〇はいくつでも)

- ア 親身にきてくれる人や機関 ケ 公共機関の人や医療の専門家ではなく、民間団体(NPO等)機関
 イ 医学的な助言をくれる人や機関 ケ 自宅に来てくれる専門家
 ウ 心理学の専門家 コ 自宅から近い機関
 エ 精神科医 キ オンラインで相談できる機関
 オ 同じ悩みを持つ人 シ あてはまるものがない
 カ 無料で相談できる機関 ス どのような人、機関にも相談したくない
 キ 匿名で(自分の名前を知られずに)相談できる機関 セ その他()

問36 あなたが、将来の生活も含めて今不安に思っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

- ア 現在の収入や資産 キ 就職・転職 ス 親の健康・介護
 イ 今後の収入や資産の見通し ケ 職場の人間関係 セ 特にない
 ウ キャリア形成 ケ 結婚 ソ その他
 エ 転勤・出向 コ 子育てや子どもの教育 ()
 オ 解雇・リストラ キ 仕事と家庭の両立
 カ 勤務先の将来(倒産など) シ 自分の健康

問37 あなたが、就職や転職、キャリア形成のため、学ぼうと考えている資格、取得しようと考えている資格等がありますか。(〇はいくつでも)

- ア Word文書処理技能 ク 簿記検定 ソ 管理業務主任者 ニ 保育士
 イ Excel表計算処理技能 ケ 外国語 タ 調理師 ネ 看護師
 ウ Illustrator能力 コ 税理士 チ カラコーディネーター ネ 管理栄養士
 エ CAD7D ミストレー キ 社会保険労務士 ツ 美容師 ノ はり師
 オ 情報処理 シ 中小企業診断士 テ インテリアコーディネーター ハ 医療事務
 カ 通訳案内士 ス 司書 ト 手話技能 ヒ 歯科衛生士
 キ TOEIC セ 公認会計士 ナ 介護関係
 フ その他()
 ハ 特にない(必要としていない)
 ネ 特にない(必要だと考えているが、時間的・金銭的な余裕がない)
 マ わからない(理由:)

問38 あなたが、就職や転職のために利用したいと思う支援メニューはありますか。

- ア 職場見学 キ オンライン就職相談
 イ 職場体験 ケ 企業合同説明会
 ウ 短期職業訓練 ケ 企業とのマッチングイベント
 エ 1年以上の長期職業訓練 コ いずれも利用したいと思わない
 オ 履歴書や職務経歴書の書き方指導 キ その他()
 カ 面接指導や模擬面接

問39 あなたは、以下の就労支援機関をご存知ですか。(〇はいくつでも)

- ア ハローワーク(職業安定所) オ シニアジョブステーション滋賀
 イ しがジョブパーク カ 栗東市役所内(商工観光労政課他)
 ウ 地域若者サポートステーション キ どれも知らない
 エ 滋賀マザーズジョブステーション

問40 就職氷河期世代の就労支援に関して、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

問41 あなたの性別をお答えください。(〇は1つだけ)

- ア 男性 イ 女性 ウ どちらともいえない、または答えたくない

栗東市就職氷河期世代 実態把握のためのアンケート調査

令和3（2021）年12月
栗東市 産業経済部 商工観光労政課

〒520-3088 滋賀県栗東市安養寺一丁目13番33号

Tel : 077-551-0104

FAX : 077-551-0148

E-Mail : shoukan@city.ritto.lg.jp